

(8) 都市計画・街づくり

- 20年後の目黒区の街の姿としては、「安全で快適に住み続けられる街（住環境、防災、防犯）」を希望する割合が最も高く57.9%であった。
- みどりのまちづくりに向けて協力できることとしては、「自宅の庭や玄関などで植物を育てる（39.7%）」、公園の魅力向上のために求めることとしては、「四季折々の花やみどりが感じられること（42.2%）」の割合が高かった。

①20年後の目黒区の将来の街として、最も望ましい姿

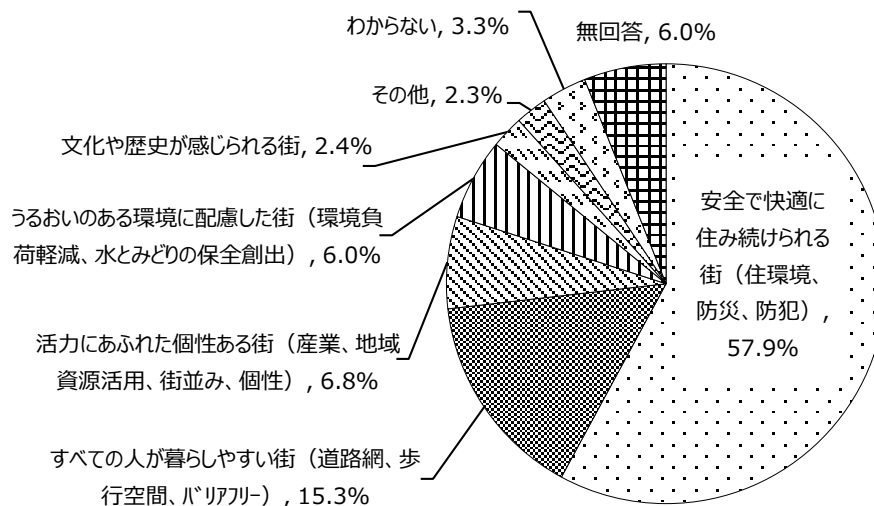
問28 区では、今後取り組むべき街づくりの基本的な方向性を示す「目黒区都市計画マスタープラン」の改定を予定しています。そこで、20年後の目黒区の将来の街の姿として、最も望ましいのはどのようなものだと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

1)全体

20年後の目黒区の街の姿として、望ましい姿を尋ねたところ、「安全で快適に住み続けられる街（住環境、防災、防犯）」の割合が最も高く57.9%となっている。次いで、「すべての人が暮らしやすい街（道路網、歩行空間、バリアフリー）」（15.3%）、「活力にあふれた個性ある街（産業、地域資源活用、街並み、個性）」（6.8%）となっている。

図表 142 20年後の目黒区の街の姿（複数回答）

(n=1506)



2) 性年齢別

いずれの性年齢でも、「安全で快適に住み続けられる街」の回答割合が最も高い。

10～40代男性で「活力にあふれた個性ある街」の割合が他の性年齢と比較して高くなっている。また、60代と80代以上の男性及び60代女性で「安全で快適に住み続けられる街」割合が、他の性年齢と比較してやや高くなっている。

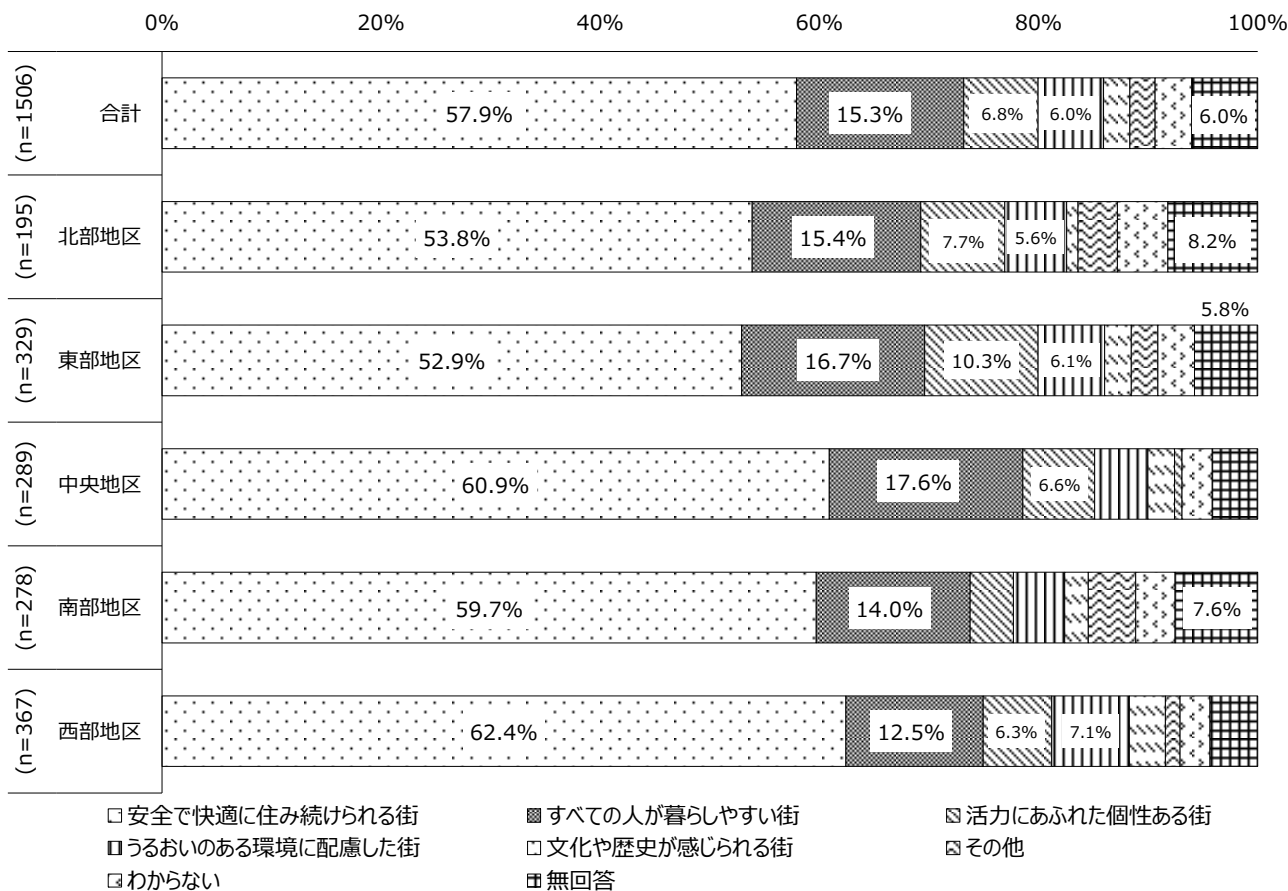
図表 143 20年後の目黒区の街の姿（性年齢別）

		安全で快適 に住み続け られる街	すべての人 が暮らしや すい街	活力にあふ れた個性あ る街	うるおいの ある環境に 配慮した街	文化や歴史 が感じられ る街	その他	わからない	無回答
(n=1506)	合計	57.9%	15.3%	6.8%	6.0%	2.4%	2.3%	3.3%	6.0%
(n=596)	男性計	57.0%	12.4%	9.2%	6.5%	2.9%	2.7%	3.9%	5.4%
(n=61)	10・20代男性	47.5%	11.5%	19.7%	8.2%	1.6%	0.0%	9.8%	1.6%
(n=90)	30代男性	46.7%	16.7%	14.4%	7.8%	5.6%	4.4%	3.3%	1.1%
(n=124)	40代男性	54.8%	13.7%	12.1%	7.3%	3.2%	3.2%	2.4%	3.2%
(n=114)	50代男性	60.5%	12.3%	7.9%	5.3%	1.8%	2.6%	1.8%	7.9%
(n=82)	60代男性	65.9%	13.4%	3.7%	4.9%	1.2%	3.7%	1.2%	6.1%
(n=81)	70代男性	59.3%	8.6%	2.5%	7.4%	3.7%	1.2%	6.2%	11.1%
(n=44)	80代以上男性	68.2%	6.8%	2.3%	4.5%	2.3%	2.3%	6.8%	6.8%
(n=867)	女性計	58.9%	17.1%	5.4%	5.3%	2.2%	2.1%	3.0%	6.0%
(n=90)	10・20代女性	56.7%	18.9%	8.9%	6.7%	1.1%	2.2%	2.2%	3.3%
(n=130)	30代女性	60.8%	13.1%	11.5%	6.2%	1.5%	2.3%	3.8%	0.8%
(n=183)	40代女性	57.9%	18.0%	6.0%	7.1%	1.6%	2.2%	2.7%	4.4%
(n=163)	50代女性	58.3%	19.0%	4.9%	5.5%	1.8%	1.2%	1.8%	7.4%
(n=102)	60代女性	67.6%	14.7%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	7.8%
(n=116)	70代女性	50.9%	20.7%	1.7%	6.0%	3.4%	4.3%	1.7%	11.2%
(n=83)	80代以上女性	62.7%	13.3%	1.2%	1.2%	4.8%	0.0%	8.4%	8.4%

3) 地区別

北部地区、東部地区で「安全で快適に住み続けられる街」の割合がやや低くなっている。

図表 144 20年後の目黒区の街の姿（地区別）



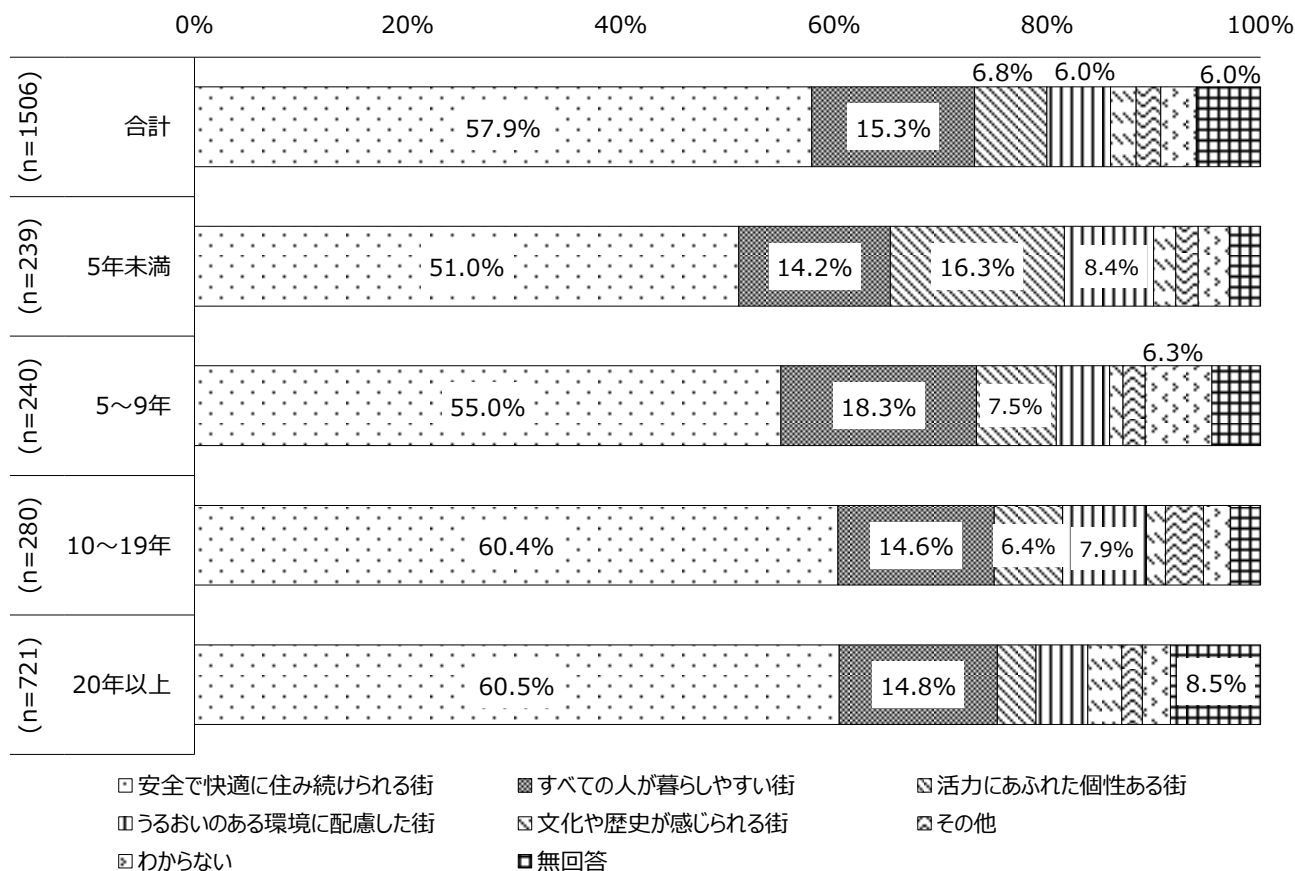
注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	安全で快適に住み続けられる街	すべての人が暮らしやすい街	活力にあふれた個性ある街	うるおいのある環境に配慮した街	文化や歴史が感じられる街	その他	わからない	無回答
(n=1506) 合計	57.9%	15.3%	6.8%	6.0%	2.4%	2.3%	3.3%	6.0%
(n=195) 北部地区	53.8%	15.4%	7.7%	5.6%	1.0%	3.6%	4.6%	8.2%
(n=329) 東部地区	52.9%	16.7%	10.3%	6.1%	2.4%	2.4%	3.3%	5.8%
(n=289) 中央地区	60.9%	17.6%	6.6%	4.8%	2.4%	0.7%	2.8%	4.2%
(n=278) 南部地区	59.7%	14.0%	4.0%	4.7%	2.2%	4.3%	3.6%	7.6%
(n=367) 西部地区	62.4%	12.5%	6.3%	7.1%	3.3%	1.4%	2.7%	4.4%

4) 居住年数別

居住年数「5年未満」で、「活力にあふれた個性ある街」の割合がやや高くなっている。

図表 145 20年後の目黒区の街の姿（居住年数別）



注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	安全で快適に住み続けられる街	すべての人が暮らしやすい街	活力にあふれた個性ある街	うるおいのある環境に配慮した街	文化や歴史が感じられる街	その他	わからない	無回答
(n=1506) 合計	57.9%	15.3%	6.8%	6.0%	2.4%	2.3%	3.3%	6.0%
(n=239) 5年未満	51.0%	14.2%	16.3%	8.4%	2.1%	2.1%	2.9%	2.9%
(n=240) 5～9年	55.0%	18.3%	7.5%	5.0%	1.3%	2.1%	6.3%	4.6%
(n=280) 10～19年	60.4%	14.6%	6.4%	7.9%	1.8%	3.6%	2.5%	2.9%
(n=721) 20年以上	60.5%	14.8%	3.6%	4.9%	3.2%	1.9%	2.6%	8.5%

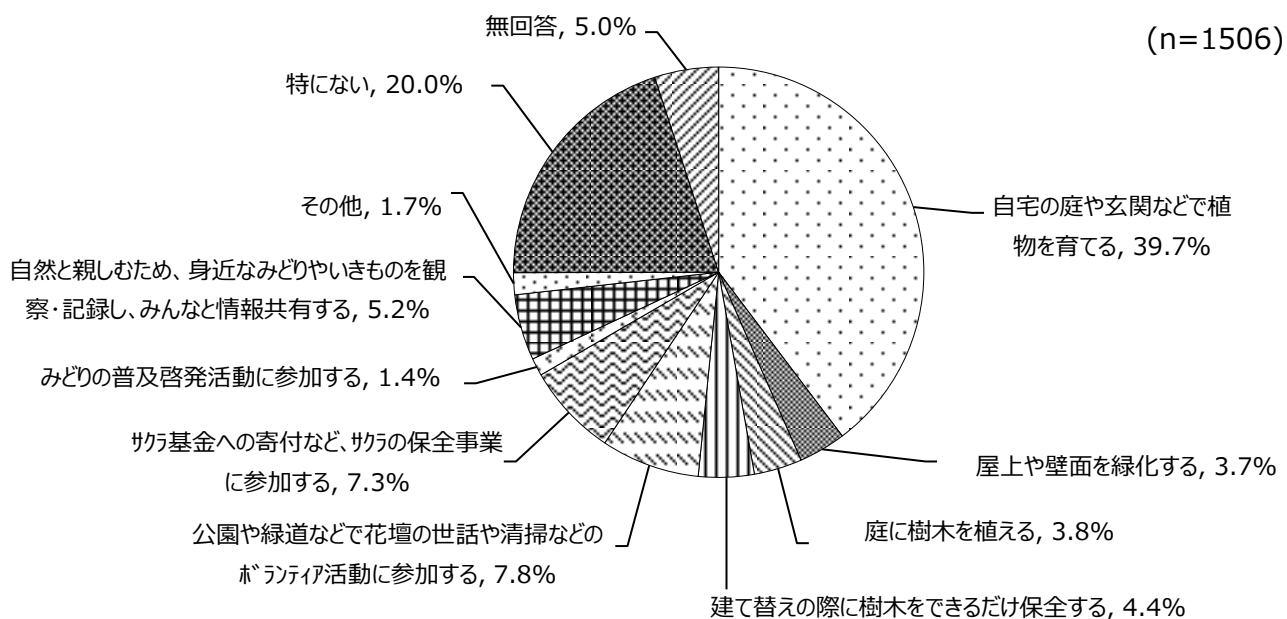
②みどりのまちづくりに向けて取り組みたいこと

問29 区では、「目黒区みどりの基本計画」を策定し、みどりの保全・創出・育成に努めています。そこで、魅力あるみどりのまちづくりのために、あなたが協力できること、やってみたいことは何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1)全体

みどりのまちづくりのために、協力できることややってみたいことがあるか尋ねたところ、「自宅の庭や玄関などで植物を育てる」の割合が最も高く39.7%となっている。次いで、「特にない(20.0%)」、「公園や緑道などで花壇の世話や清掃などのボランティア活動に参加する(7.8%)」となっている。

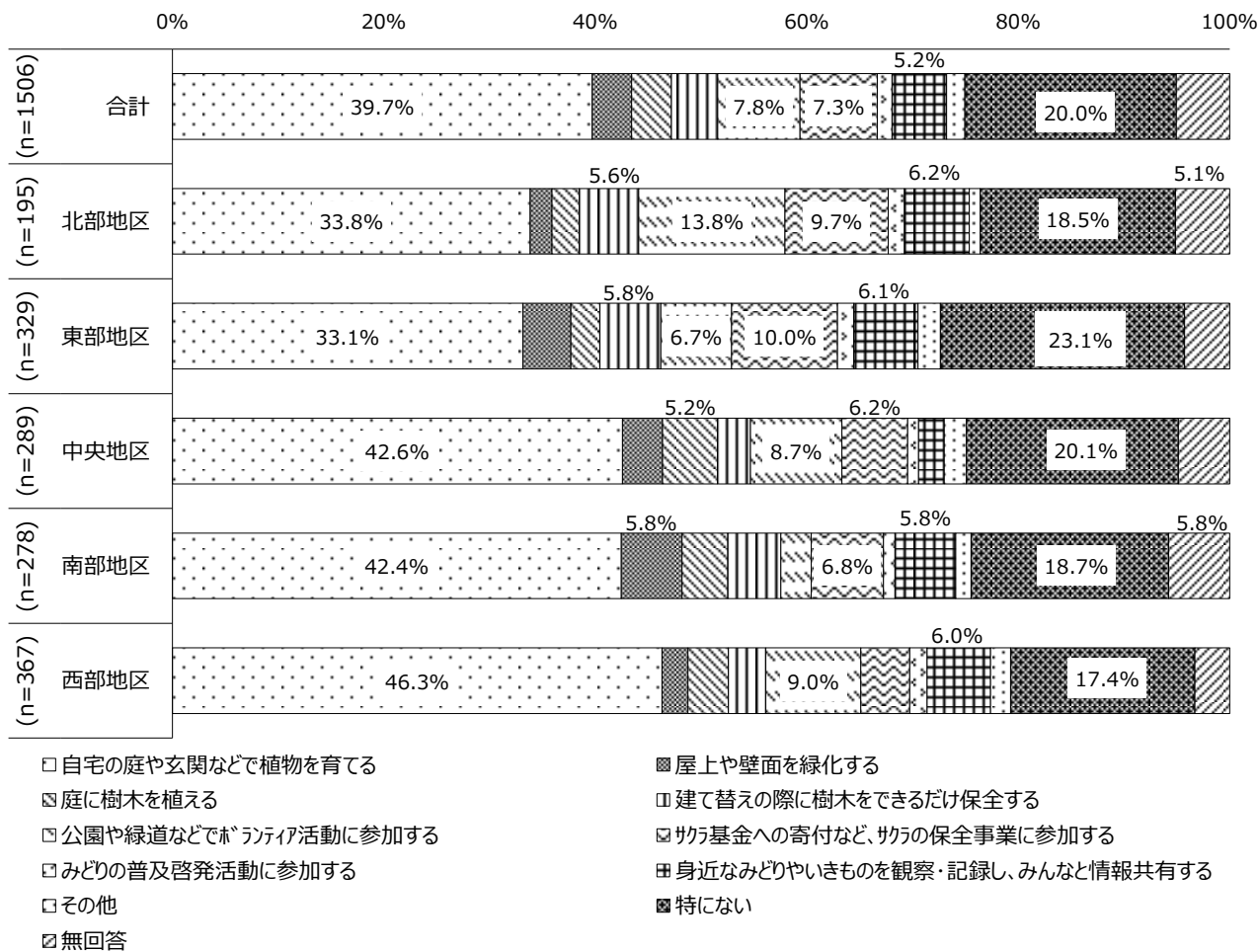
図表 146 みどりのまちづくりに向けて取り組みたいこと



2) 地区別

西部地区で「自宅の庭や玄関などで植物を育てる」、北部地区で「公園や緑道などでボランティア活動に参加する」の割合が他の地区と比較してやや高くなっている。

図表 147 みどりのまちづくりに向けて取り組みたいこと（地区別）



注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	自宅の庭や玄関などで植物を育てる	屋上や壁面を緑化する	庭に樹木を植える	建て替えの際に樹木をできるだけ保全する	公園や緑道などでボランティア活動に参加する	サガ基金への寄付など、サガの保全事業に参加する
(n=1506) 合計	39.7%	3.7%	3.8%	4.4%	7.8%	7.3%
(n=195) 北部地区	33.8%	2.1%	2.6%	5.6%	13.8%	9.7%
(n=329) 東部地区	33.1%	4.6%	2.7%	5.8%	6.7%	10.0%
(n=289) 中央地区	42.6%	3.8%	5.2%	3.1%	8.7%	6.2%
(n=278) 南部地区	42.4%	5.8%	4.3%	5.0%	2.9%	6.8%
(n=367) 西部地区	46.3%	2.5%	3.8%	3.5%	9.0%	4.6%

	みどりの普及啓発活動に参加する	身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する	その他	特にない	無回答
(n=1506) 合計	1.4%	5.2%	1.7%	20.0%	5.0%
(n=195) 北部地区	1.5%	6.2%	1.0%	18.5%	5.1%
(n=329) 東部地区	1.5%	6.1%	2.1%	23.1%	4.3%
(n=289) 中央地区	1.0%	2.4%	2.1%	20.1%	4.8%
(n=278) 南部地区	1.1%	5.8%	1.4%	18.7%	5.8%
(n=367) 西部地区	1.6%	6.0%	1.9%	17.4%	3.3%

3) 性年齢別

いずれの性年齢でも、「自宅の庭や玄関などで植物を育てる」の割合が最も高いが、特に80代以上男性において、その割合が高くなっている。

図表 148 みどりのまちづくりに向けて取り組みたいこと（性年齢別）

		自宅の庭や玄関などで植物を育てる	屋上や壁面を緑化する	庭に樹木を植える	建て替えの際に樹木をできるだけ保全する	公園や緑道などでボランティア活動に参加する	カー基金への寄付など、カーの保全事業に参加する
(n=1506)	合計	39.7%	3.7%	3.8%	4.4%	7.8%	7.3%
(n=596)	男性計	40.9%	3.7%	4.5%	3.2%	6.5%	6.4%
(n=61)	10・20代男性	39.3%	6.6%	4.9%	3.3%	4.9%	6.6%
(n=90)	30代男性	33.3%	6.7%	7.8%	2.2%	8.9%	7.8%
(n=124)	40代男性	40.3%	4.8%	2.4%	6.5%	10.5%	3.2%
(n=114)	50代男性	47.4%	1.8%	3.5%	1.8%	3.5%	8.8%
(n=82)	60代男性	39.0%	2.4%	3.7%	2.4%	6.1%	9.8%
(n=81)	70代男性	37.0%	0.0%	6.2%	2.5%	3.7%	6.2%
(n=44)	80代以上男性	54.5%	4.5%	4.5%	2.3%	6.8%	0.0%
(n=867)	女性計	39.7%	3.8%	3.2%	5.4%	8.8%	7.8%
(n=90)	10・20代女性	41.1%	7.8%	4.4%	6.7%	6.7%	8.9%
(n=130)	30代女性	41.5%	3.8%	0.8%	4.6%	10.8%	10.0%
(n=183)	40代女性	43.2%	4.9%	3.3%	6.0%	11.5%	9.8%
(n=163)	50代女性	33.7%	3.1%	5.5%	4.9%	10.4%	8.6%
(n=102)	60代女性	39.2%	1.0%	2.9%	6.9%	9.8%	3.9%
(n=116)	70代女性	39.7%	2.6%	2.6%	6.0%	5.2%	5.2%
(n=83)	80代以上女性	39.8%	3.6%	2.4%	2.4%	2.4%	6.0%

		みどりの普及啓発活動に参加する	身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する	その他	特にない	無回答
(n=1506)	合計	1.4%	5.2%	1.7%	20.0%	5.0%
(n=596)	男性計	1.3%	6.0%	1.7%	21.1%	4.5%
(n=61)	10・20代男性	0.0%	1.6%	0.0%	31.1%	1.6%
(n=90)	30代男性	2.2%	5.6%	1.1%	24.4%	0.0%
(n=124)	40代男性	0.8%	5.6%	1.6%	17.7%	6.5%
(n=114)	50代男性	1.8%	7.0%	0.0%	21.1%	3.5%
(n=82)	60代男性	2.4%	12.2%	2.4%	15.9%	3.7%
(n=81)	70代男性	1.2%	2.5%	3.7%	23.5%	13.6%
(n=44)	80代以上男性	0.0%	6.8%	4.5%	15.9%	0.0%
(n=867)	女性計	1.4%	4.7%	1.8%	18.8%	4.5%
(n=90)	10・20代女性	0.0%	4.4%	0.0%	18.9%	1.1%
(n=130)	30代女性	1.5%	5.4%	3.8%	16.9%	0.8%
(n=183)	40代女性	2.7%	3.3%	1.6%	10.4%	3.3%
(n=163)	50代女性	1.8%	5.5%	0.6%	20.9%	4.9%
(n=102)	60代女性	1.0%	3.9%	2.0%	25.5%	3.9%
(n=116)	70代女性	0.9%	4.3%	3.4%	19.8%	10.3%
(n=83)	80代以上女性	0.0%	7.2%	1.2%	26.5%	8.4%

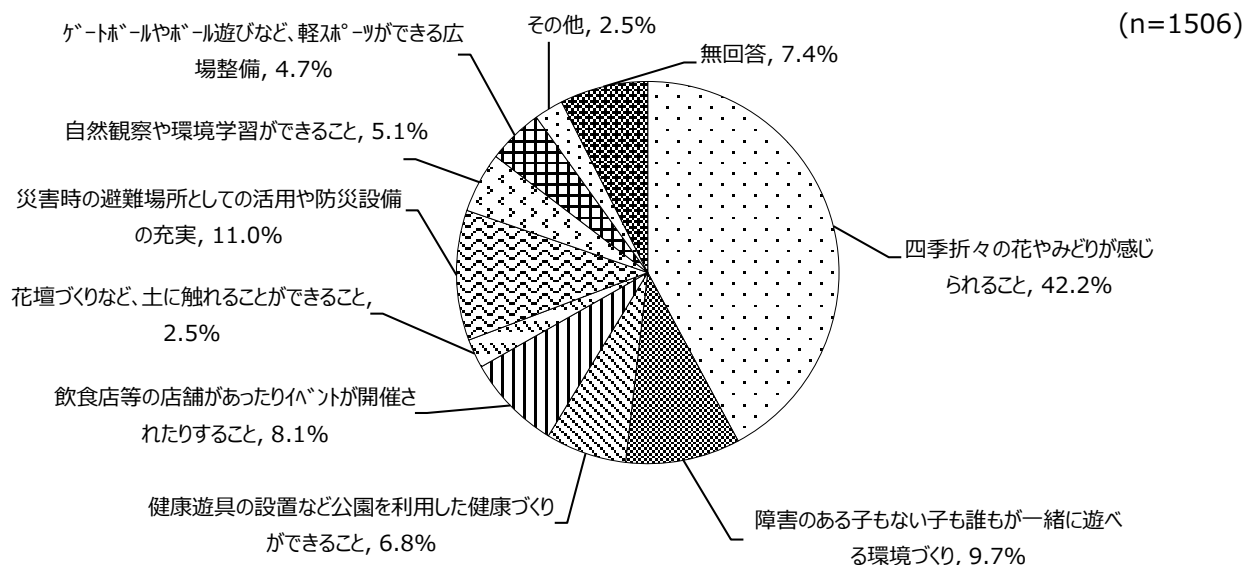
③公園の魅力向上のために必要だと思うこと

問30 公園の魅力向上させるために、あなたが必要だと思うことは何ですか。
(あてはまるもの1つに○)

1) 全体

公園の魅力向上させるために必要だと思うことを尋ねたところ、「四季折々の花やみどりを感じられること」の割合が最も高く42.2%となっている。次いで、「災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実(11.0%)」、「障害のある子どもない子ども誰もが一緒に遊べる環境づくり(9.7%)」となっている。

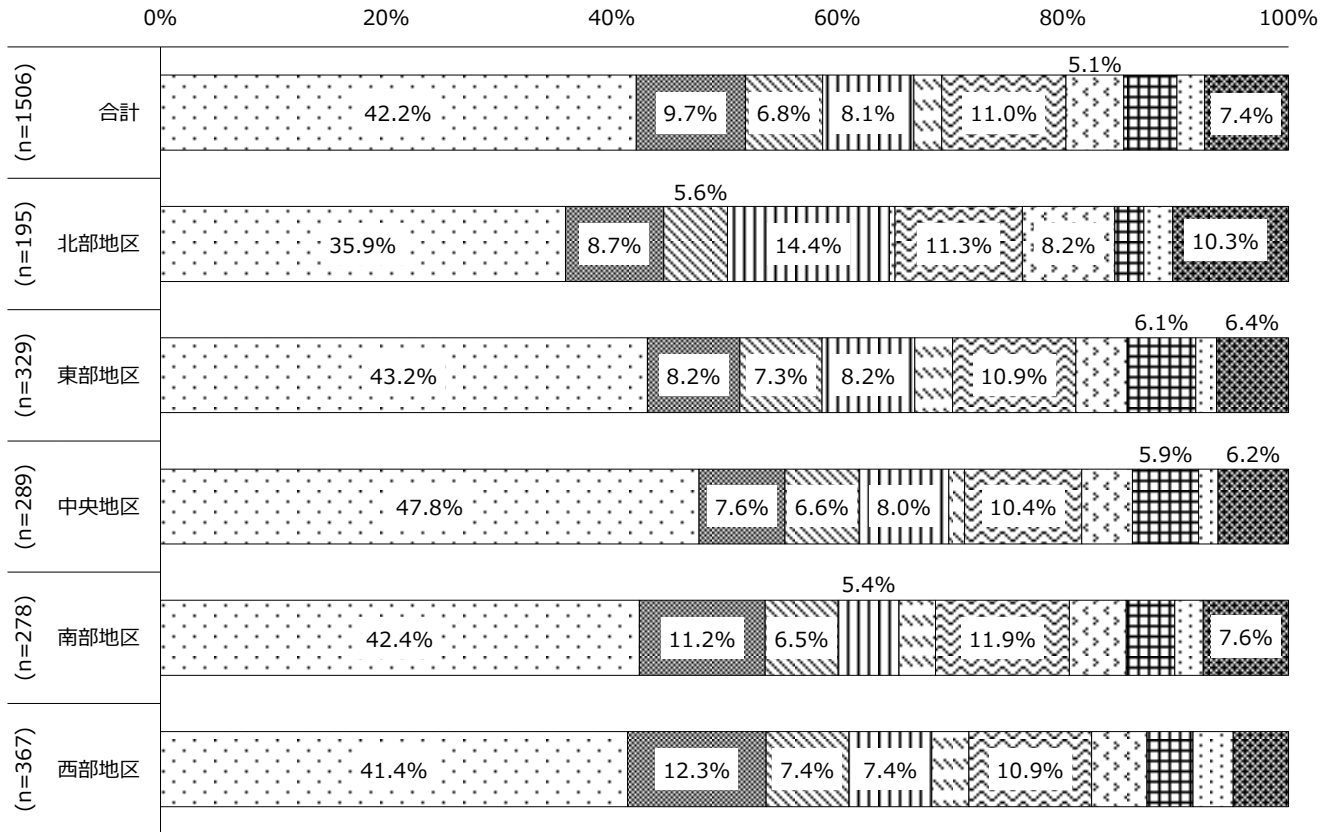
図表 149 公園の魅力向上に必要なと思うこと



2) 地区別

中央地区で「四季折々の花やみどりが感じられること」、北部地区で「飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること」の割合が他の地区と比較してやや高くなっている。

図表 150 公園の魅力向上に必要なと思うこと（地区別）



- 四季折々の花やみどりが感じられること
- 健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること
- 花壇づくりなど、土に触れることができること
- 自然観察や環境学習ができること
- その他
- 障害のある子もいない子も誰もが一緒に遊べる環境づくり
- 飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること
- 災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実
- ゲートボールやホール遊びなど、軽スポーツができる広場整備
- 無回答

注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

地区	四季折々の花やみどりが感じられること	障害のある子もいない子も誰もが一緒に遊べる環境づくり	健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること	飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること	花壇づくりなど、土に触れることができること	災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実	自然観察や環境学習ができること	ゲートボールやホール遊びなど、軽スポーツができる広場整備	その他	無回答
(n=1506) 合計	42.2%	9.7%	6.8%	8.1%	2.5%	11.0%	5.1%	4.7%	2.5%	7.4%
(n=195) 北部地区	35.9%	8.7%	5.6%	14.4%	0.5%	11.3%	8.2%	2.6%	2.6%	10.3%
(n=329) 東部地区	43.2%	8.2%	7.3%	8.2%	3.3%	10.9%	4.6%	6.1%	1.8%	6.4%
(n=289) 中央地区	47.8%	7.6%	6.6%	8.0%	1.4%	10.4%	4.5%	5.9%	1.7%	6.2%
(n=278) 南部地区	42.4%	11.2%	6.5%	5.4%	3.2%	11.9%	5.0%	4.3%	2.5%	7.6%
(n=367) 西部地区	41.4%	12.3%	7.4%	7.4%	3.3%	10.9%	4.9%	4.1%	3.5%	4.9%

3) 性年齢別

80代以上女性で「四季折々の花やみどりが感じられること」、80代以上男性で「災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実」、40代男性で「飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること」、30代男性で「健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること」、10・20代男性で「ゲートボールやボール遊びなど、軽スポーツができる広場整備」の割合が他の年代と比較して高くなっている。

図表 151 公園の魅力向上に必要なと思うこと（性年齢別）

		四季折々の花やみどりが感じられること	障害のある子どもが一緒に遊べる環境づくり	健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること	飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること	花壇づくりなど、土に触れることができること
(n=1506)	合計	42.2%	9.7%	6.8%	8.1%	2.5%
(n=596)	男性計	37.8%	9.1%	8.6%	11.4%	2.7%
(n=61)	10・20代男性	32.8%	4.9%	11.5%	11.5%	0.0%
(n=90)	30代男性	36.7%	10.0%	18.9%	15.6%	1.1%
(n=124)	40代男性	29.0%	15.3%	7.3%	19.4%	3.2%
(n=114)	50代男性	43.9%	4.4%	3.5%	11.4%	1.8%
(n=82)	60代男性	48.8%	9.8%	4.9%	4.9%	3.7%
(n=81)	70代男性	37.0%	9.9%	8.6%	4.9%	4.9%
(n=44)	80代以上男性	36.4%	4.5%	6.8%	4.5%	4.5%
(n=867)	女性計	46.0%	10.1%	5.5%	6.0%	2.4%
(n=90)	10・20代女性	42.2%	8.9%	6.7%	15.6%	1.1%
(n=130)	30代女性	46.2%	8.5%	6.9%	12.3%	3.8%
(n=183)	40代女性	42.1%	10.9%	3.8%	8.2%	2.7%
(n=163)	50代女性	50.3%	8.0%	6.1%	2.5%	4.3%
(n=102)	60代女性	40.2%	14.7%	8.8%	1.0%	0.0%
(n=116)	70代女性	47.4%	12.1%	3.4%	0.9%	0.9%
(n=83)	80代以上女性	55.4%	8.4%	3.6%	1.2%	2.4%

		災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実	自然観察や環境学習ができること	ゲートボールやボール遊びなど、軽スポーツができる広場整備	その他	無回答
(n=1506)	合計	11.0%	5.1%	4.7%	2.5%	7.4%
(n=596)	男性計	9.1%	5.0%	7.0%	2.5%	6.9%
(n=61)	10・20代男性	6.6%	4.9%	19.7%	3.3%	4.9%
(n=90)	30代男性	3.3%	3.3%	5.6%	4.4%	1.1%
(n=124)	40代男性	1.6%	8.1%	7.3%	4.0%	4.8%
(n=114)	50代男性	13.2%	7.0%	7.9%	1.8%	5.3%
(n=82)	60代男性	9.8%	3.7%	4.9%	0.0%	9.8%
(n=81)	70代男性	13.6%	2.5%	3.7%	2.5%	12.3%
(n=44)	80代以上男性	25.0%	2.3%	0.0%	0.0%	15.9%
(n=867)	女性計	12.5%	5.3%	3.1%	2.4%	6.6%
(n=90)	10・20代女性	6.7%	5.6%	5.6%	2.2%	5.6%
(n=130)	30代女性	3.8%	7.7%	5.4%	0.8%	4.6%
(n=183)	40代女性	13.1%	8.7%	3.8%	4.4%	2.2%
(n=163)	50代女性	14.1%	6.7%	1.2%	3.1%	3.7%
(n=102)	60代女性	19.6%	0.0%	1.0%	2.0%	12.7%
(n=116)	70代女性	13.8%	2.6%	2.6%	1.7%	14.7%
(n=83)	80代以上女性	16.9%	1.2%	2.4%	1.2%	7.2%

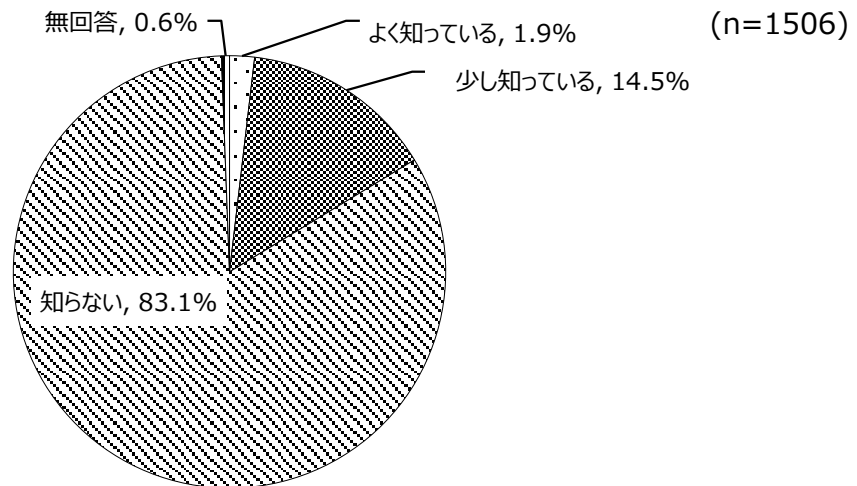
④「目黒のサクラ基金」の認知度

問3 | 「目黒のサクラ基金」について知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1) 全体

「目黒区のサクラ基金」を知っているか尋ねたところ、「知らない」の割合が最も高く83.1%となっている。次いで、「少し知っている(14.5%)」、「よく知っている(1.9%)」となっている。

図表 152 「目黒のサクラ基金」認知度



2) 性年齢別

「よく知っている」、「少し知っている」の合計割合は、80代以上男性、60代以上女性で高くなっている。一方、10・20代男性、10～30代女性で「知らない」割合が高くなっている。

図表 153 「目黒のサクラ基金」認知度 (性年齢別)

		よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
(n=1506)	合計	1.9%	14.5%	83.1%	0.6%
(n=596)	男性計	1.8%	13.6%	84.4%	0.2%
(n=61)	10・20代男性	0.0%	3.3%	96.7%	0.0%
(n=90)	30代男性	1.1%	11.1%	87.8%	0.0%
(n=124)	40代男性	0.0%	9.7%	90.3%	0.0%
(n=114)	50代男性	1.8%	12.3%	86.0%	0.0%
(n=82)	60代男性	6.1%	20.7%	72.0%	1.2%
(n=81)	70代男性	1.2%	18.5%	80.2%	0.0%
(n=44)	80代以上男性	4.5%	25.0%	70.5%	0.0%
(n=867)	女性計	1.8%	15.5%	82.5%	0.2%
(n=90)	10・20代女性	0.0%	4.4%	95.6%	0.0%
(n=130)	30代女性	0.8%	4.6%	94.6%	0.0%
(n=183)	40代女性	0.0%	11.5%	88.5%	0.0%
(n=163)	50代女性	3.1%	16.0%	81.0%	0.0%
(n=102)	60代女性	1.0%	25.5%	73.5%	0.0%
(n=116)	70代女性	5.2%	25.9%	68.1%	0.9%
(n=83)	80代以上女性	3.6%	25.3%	69.9%	1.2%

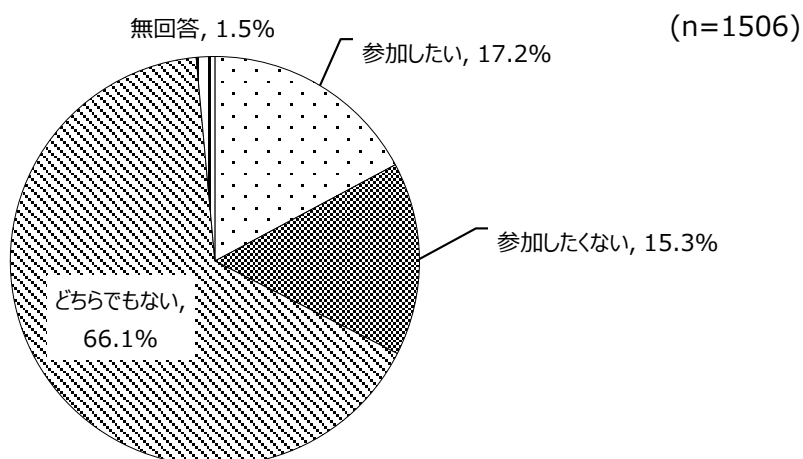
⑤桜の保全活動への参加意向

問32 地域での桜の保全活動に参加したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1)全体

地域で桜の保全活動へ参加したいか意向を尋ねたところ、「どちらでもない」の割合が最も高く66.1%となっている。次いで、「参加したい(17.2%)」、「参加したくない(15.3%)」となっている。

図表 154 桜の保全活動への参加意向



2)性年齢別

30~50代女性で「参加したい」の割合がやや高い。一方、「参加したくない」の割合は、10~30代男性で高く、60代男性でやや高くなっている。

図表 155 桜の保全活動への参加意向(性年齢別)

		参加したい	参加したくない	どちらでもない	無回答
(n=1506)	合計	17.2%	15.3%	66.1%	1.5%
(n=596)	男性計	15.6%	19.6%	64.4%	0.3%
(n=61)	10・20代男性	16.4%	26.2%	57.4%	0.0%
(n=90)	30代男性	16.7%	25.6%	57.8%	0.0%
(n=124)	40代男性	16.1%	19.4%	64.5%	0.0%
(n=114)	50代男性	14.0%	18.4%	67.5%	0.0%
(n=82)	60代男性	20.7%	20.7%	57.3%	1.2%
(n=81)	70代男性	9.9%	12.3%	76.5%	1.2%
(n=44)	80代以上男性	15.9%	13.6%	70.5%	0.0%
(n=867)	女性計	18.8%	12.2%	67.6%	1.4%
(n=90)	10・20代女性	17.8%	18.9%	63.3%	0.0%
(n=130)	30代女性	22.3%	11.5%	65.4%	0.8%
(n=183)	40代女性	21.3%	12.0%	66.7%	0.0%
(n=163)	50代女性	22.1%	14.1%	63.2%	0.6%
(n=102)	60代女性	12.7%	5.9%	81.4%	0.0%
(n=116)	70代女性	19.8%	8.6%	69.0%	2.6%
(n=83)	80代以上女性	8.4%	15.7%	67.5%	8.4%

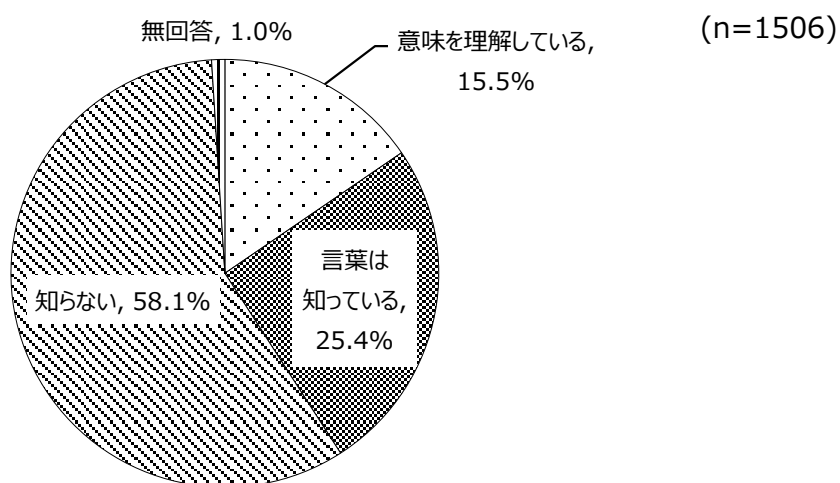
⑥「生物多様性」の認知度

問33 区では、野鳥をシンボルとした生物多様性豊かなまちづくりの基本計画である「ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画」を策定しています。あなたは「生物多様性」について知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

1) 全体

「生物多様性」という言葉を知っているか尋ねたところ、「知らない」の割合が最も高く 58.1%となっている。次いで、「言葉は知っている (25.4%)」、「意味を理解している (15.5%)」となっている。

図表 156 「生物多様性」の認知度



2) 性年齢別

40代と60代の女性で「知らない」の割合が高くなっている。「言葉を知っている」の割合は60代男性及び70代女性で高く、「意味を理解している」割合は、10・20代男性と80代以上の男性で高くなっている。

図表 157 「生物多様性」の認知度（性年齢別）

		意味を理解している	言葉は知っている	知らない	無回答
(n=1506)	合計	15.5%	25.4%	58.1%	1.0%
(n=596)	男性計	20.1%	26.2%	53.0%	0.7%
(n=61)	10・20代男性	32.8%	21.3%	44.3%	1.6%
(n=90)	30代男性	14.4%	20.0%	65.6%	0.0%
(n=124)	40代男性	22.6%	25.8%	51.6%	0.0%
(n=114)	50代男性	20.2%	24.6%	54.4%	0.9%
(n=82)	60代男性	12.2%	37.8%	48.8%	1.2%
(n=81)	70代男性	17.3%	28.4%	53.1%	1.2%
(n=44)	80代以上男性	27.3%	25.0%	47.7%	0.0%
(n=867)	女性計	12.2%	25.6%	61.6%	0.6%
(n=90)	10・20代女性	14.4%	20.0%	65.6%	0.0%
(n=130)	30代女性	13.1%	26.2%	60.8%	0.0%
(n=183)	40代女性	11.5%	20.2%	68.3%	0.0%
(n=163)	50代女性	14.7%	30.1%	55.2%	0.0%
(n=102)	60代女性	8.8%	21.6%	68.6%	1.0%
(n=116)	70代女性	12.9%	37.1%	48.3%	1.7%
(n=83)	80代以上女性	8.4%	22.9%	66.3%	2.4%

(9) 地球温暖化対策

- 地球温暖化の問題を意識している割合は66.1%であり、自身が行組みたいこととしては「ごみの減量、リサイクル(78.0%)」、「節電・節水などの省エネルギー行動(58.4%)」が高い割合を示した。
- また、区に取り組んでほしいこととしては、「新エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成(33.8%)」、「日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供(33.2%)」が高い割合を示した。

①地球温暖化問題を意識しているか

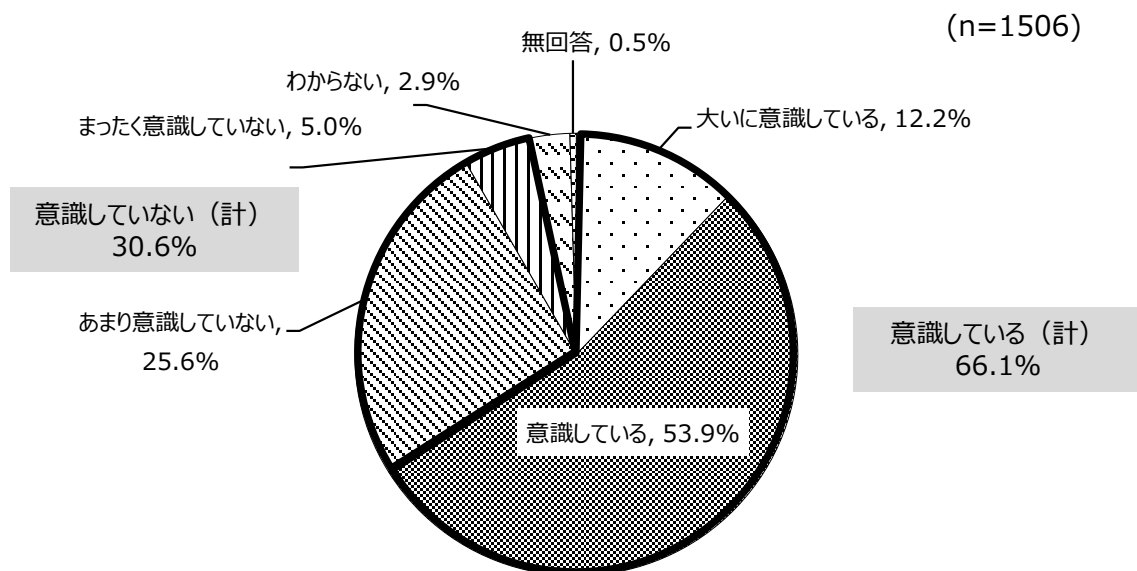
問34 あなたは、生活の中で地球温暖化の問題を意識していますか。
(あてはまるもの1つに○)

1) 全体

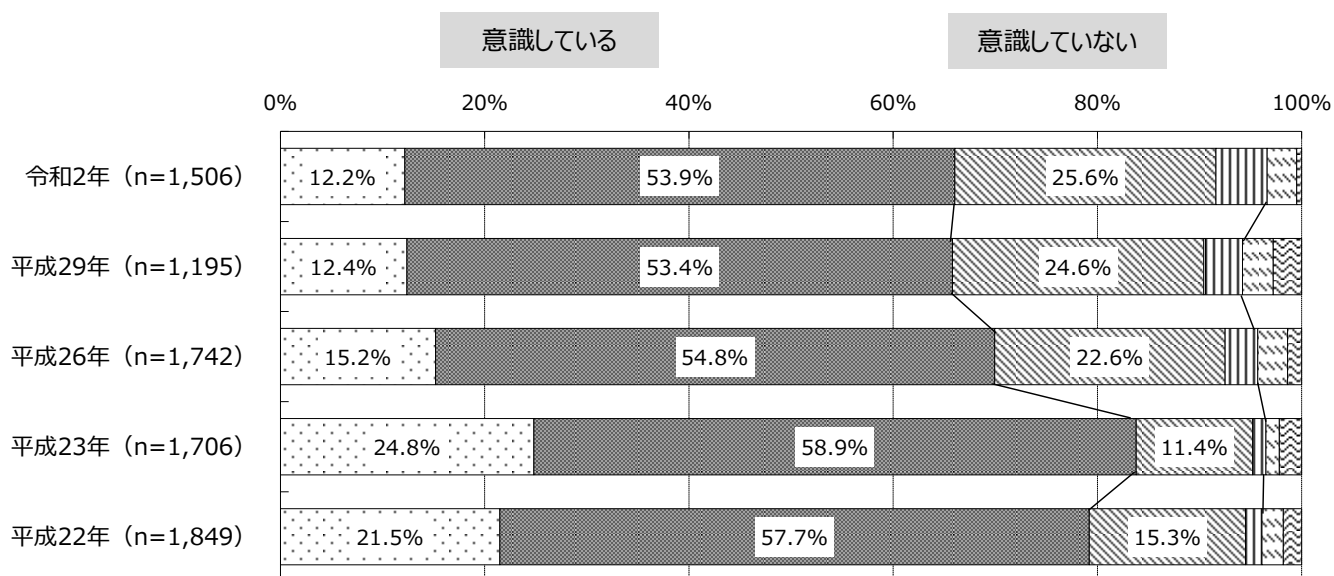
生活の中で地球温暖化の問題を意識しているか尋ねたところ、「意識している」の割合が最も高く53.9%となっている。次いで、「あまり意識していない(25.6%)」、「大いに意識している(12.2%)」となっている。

また、「大いに意識している」と「意識している」を合わせた『意識している』の割合が66.1%、「あまり意識していない」と「まったく意識していない」を合わせた『意識していない』の割合が30.6%となり、『意識している』割合は、全体のおよそ3分の2を占めている。

図表 158 地球温暖化問題を意識しているか



図表 159 地球温暖化問題を意識しているか（経年変化）



□大いに意識している ■意識している ▨あまり意識していない ▩まったく意識していない □わからない ▨無回答

注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	大いに意識している	意識している	あまり意識していない	まったく意識していない	わからない	無回答
令和2年 (n=1,506)	12.2%	53.9%	25.6%	5.0%	2.9%	0.5%
平成29年 (n=1,195)	12.4%	53.4%	24.6%	3.8%	3.0%	2.8%
平成26年 (n=1,742)	15.2%	54.8%	22.6%	3.2%	2.9%	1.4%
平成23年 (n=1,706)	24.8%	58.9%	11.4%	1.3%	1.3%	2.2%
平成22年 (n=1,849)	21.5%	57.7%	15.3%	1.6%	2.1%	1.8%

注釈) 平成 29 年以前は、選択肢「わからない」は「よくわからない」となっている。

2) 性年齢別

生活の中で地球温暖化の問題を「大いに意識している」と「意識している」を合わせた『意識している』の割合を見ると、男女ともに年代が上がるほど高くなる傾向がある。

また、「あまり意識していない」と「まったく意識していない」を合わせた『意識していない』の割合を見ると、10～30代男性で高くなっている。

図表 160 地球温暖化問題を意識しているか（性年齢別）

		意識している		意識していない			
		大いに意識している	意識している	あまり意識していない	まったく意識していない	わからない	無回答
(n=1506)	合計	12.2%	53.9%	25.6%	5.0%	2.9%	0.5%
(n=596)	男性計	11.7%	50.5%	27.7%	8.1%	1.8%	0.2%
(n=61)	10・20代男性	11.5%	29.5%	39.3%	19.7%	0.0%	0.0%
(n=90)	30代男性	8.9%	38.9%	33.3%	15.6%	3.3%	0.0%
(n=124)	40代男性	9.7%	51.6%	32.3%	5.6%	0.8%	0.0%
(n=114)	50代男性	13.2%	53.5%	26.3%	5.3%	0.9%	0.9%
(n=82)	60代男性	11.0%	62.2%	18.3%	7.3%	1.2%	0.0%
(n=81)	70代男性	12.3%	55.6%	25.9%	1.2%	4.9%	0.0%
(n=44)	80代以上男性	20.5%	61.4%	11.4%	4.5%	2.3%	0.0%
(n=867)	女性計	11.9%	56.5%	24.9%	3.1%	3.2%	0.3%
(n=90)	10・20代女性	8.9%	44.4%	34.4%	7.8%	4.4%	0.0%
(n=130)	30代女性	7.7%	50.0%	34.6%	6.9%	0.8%	0.0%
(n=183)	40代女性	8.2%	58.5%	27.9%	3.3%	2.2%	0.0%
(n=163)	50代女性	12.9%	62.6%	19.0%	3.1%	2.5%	0.0%
(n=102)	60代女性	12.7%	57.8%	26.5%	0.0%	2.0%	1.0%
(n=116)	70代女性	19.8%	62.1%	12.9%	0.0%	3.4%	1.7%
(n=83)	80代以上女性	15.7%	54.2%	19.3%	0.0%	10.8%	0.0%

②地球温暖化防止のため取り組みたいこと

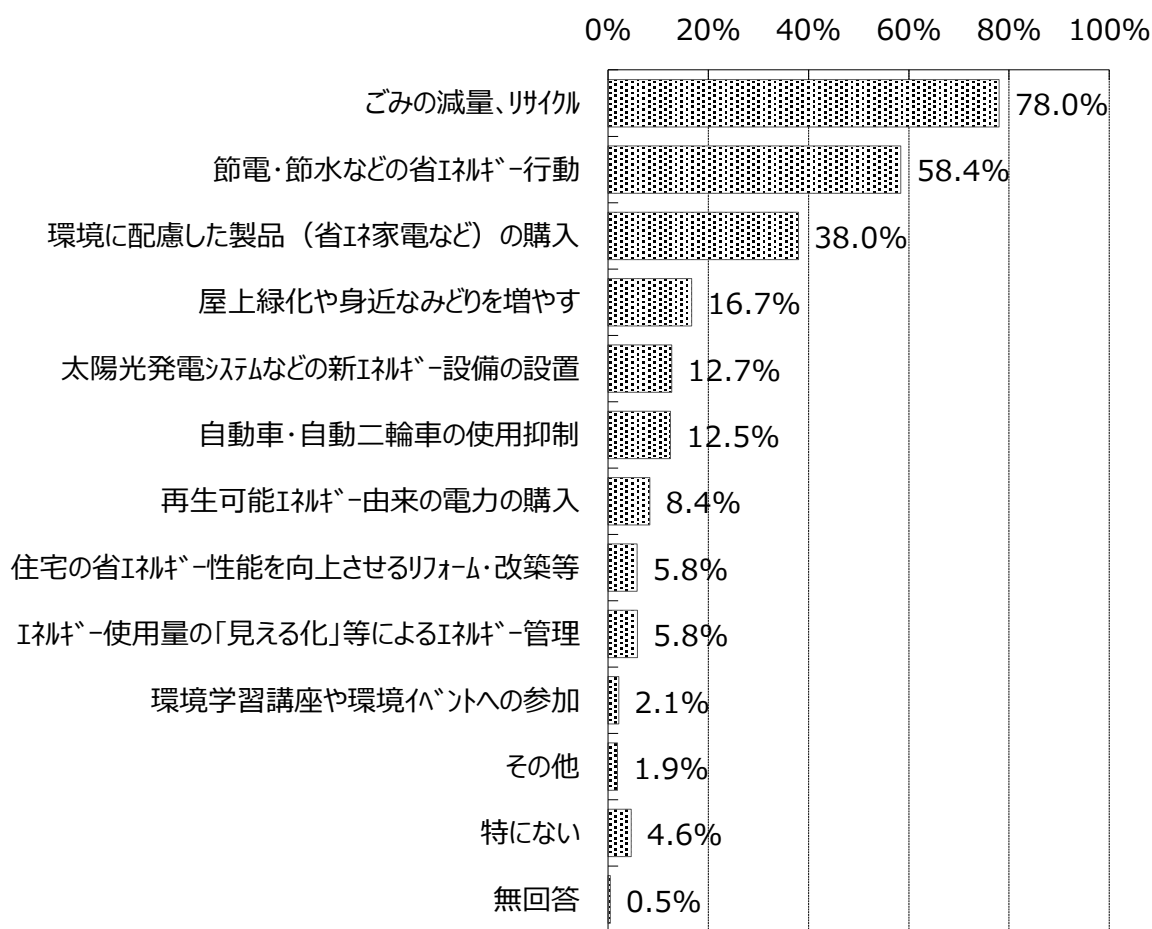
問35 あなたは、地球温暖化を防止するために、今後何を優先して行いたいと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

1)全体

地球温暖化を防止するために、今後何を優先して行いたいか尋ねたところ、「ごみの減量、リサイクル」の割合が最も高く78.0%となっている。次いで、「節電・節水などの省エネルギー行動(58.4%)」、「環境に配慮した製品（省エネ家電など）の購入（38.0%）」となっている。

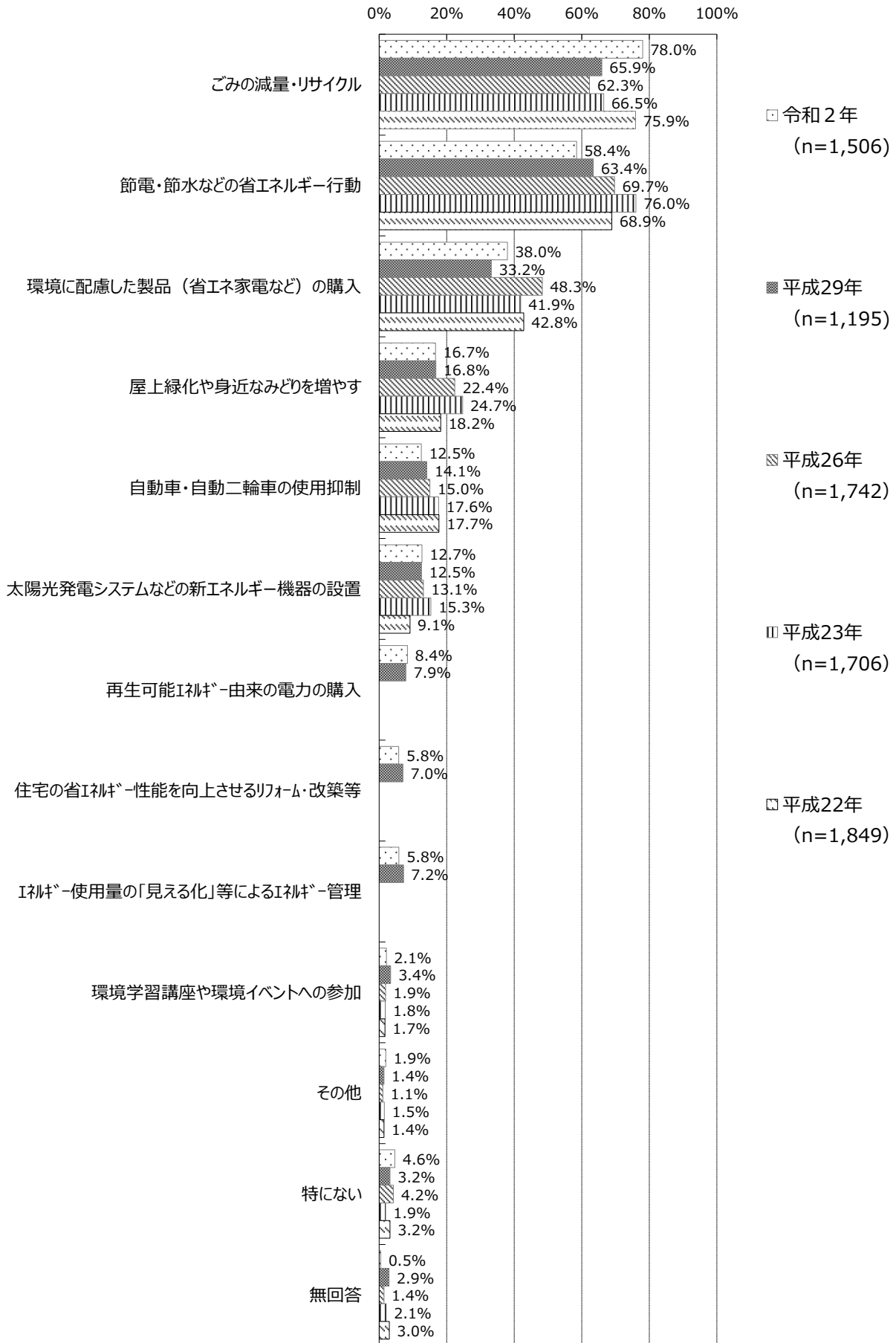
図表 161 地球温暖化防止のため取り組みたいこと（複数回答）

(n=1506)



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

図表 162 地球温暖化防止のため取り組みたいこと（経年変化）



注釈) 「再生エネルギー由来の電力の購入」、「エネルギー使用量の『見える化』等によるエネルギー管理」、
「住宅の省エネルギー性能を向上させるリフォーム・改築等」は平成29年調査より新設した選択肢である。

2) 性年齢別

70代男性や、40～70代の女性で「ごみの減量、リサイクル」の割合が他の性年齢と比較して高くなっている。また、50代女性で「節電・節水などの省エネルギー行動」、40代女性で「環境に配慮した製品の購入」の割合も高い。一方、10～30代男性では、「特にない」の割合が高くなっている。

図表 163 地球温暖化防止のため取り組みたいこと（性年齢別）

		ごみの減量、リサイクル	節電・節水などの省エネルギー行動	環境に配慮した製品の購入	屋上緑化や身近なみどりを増やす	自動車・自動二輪車の使用抑制	太陽光発電システムなどの新エネルギー設備の設置	住宅の省エネルギー性能を向上させるリフォーム・改築等
(n=1506)	合計	78.0%	58.4%	38.0%	16.7%	12.5%	12.7%	5.8%
(n=596)	男性計	73.5%	51.3%	35.7%	15.4%	14.8%	15.1%	8.4%
(n=61)	10・20代男性	59.0%	45.9%	32.8%	14.8%	13.1%	14.8%	13.1%
(n=90)	30代男性	67.8%	45.6%	38.9%	12.2%	13.3%	11.1%	8.9%
(n=124)	40代男性	74.2%	49.2%	33.9%	21.8%	15.3%	14.5%	5.6%
(n=114)	50代男性	77.2%	52.6%	38.6%	14.0%	14.0%	16.7%	8.8%
(n=82)	60代男性	72.0%	58.5%	42.7%	15.9%	13.4%	13.4%	7.3%
(n=81)	70代男性	84.0%	56.8%	32.1%	8.6%	17.3%	17.3%	8.6%
(n=44)	80代以上男性	77.3%	50.0%	25.0%	20.5%	18.2%	20.5%	9.1%
(n=867)	女性計	81.4%	63.8%	40.1%	17.1%	10.6%	11.1%	4.0%
(n=90)	10・20代女性	67.8%	58.9%	33.3%	11.1%	12.2%	11.1%	3.3%
(n=130)	30代女性	76.2%	56.2%	43.8%	16.2%	8.5%	9.2%	4.6%
(n=183)	40代女性	82.0%	66.7%	48.1%	17.5%	15.8%	11.5%	4.9%
(n=163)	50代女性	86.5%	69.9%	40.5%	17.8%	7.4%	6.1%	2.5%
(n=102)	60代女性	88.2%	63.7%	38.2%	20.6%	9.8%	11.8%	4.9%
(n=116)	70代女性	85.3%	62.1%	35.3%	17.2%	9.5%	21.6%	5.2%
(n=83)	80代以上女性	79.5%	65.1%	32.5%	18.1%	9.6%	7.2%	2.4%

		エネルギー使用量の「見える化」等によるエネルギー管理	再生可能エネルギー由来の電力の購入	環境学習講座や環境イベントへの参加	その他	特にない	無回答
(n=1506)	合計	5.8%	8.4%	2.1%	1.9%	4.6%	0.5%
(n=596)	男性計	7.4%	11.1%	2.0%	3.0%	6.5%	0.2%
(n=61)	10・20代男性	6.6%	13.1%	0.0%	1.6%	13.1%	0.0%
(n=90)	30代男性	6.7%	3.3%	1.1%	6.7%	11.1%	0.0%
(n=124)	40代男性	11.3%	10.5%	0.8%	3.2%	3.2%	0.0%
(n=114)	50代男性	8.8%	12.3%	4.4%	0.0%	6.1%	0.0%
(n=82)	60代男性	3.7%	12.2%	1.2%	6.1%	4.9%	0.0%
(n=81)	70代男性	6.2%	14.8%	4.9%	0.0%	4.9%	1.2%
(n=44)	80代以上男性	4.5%	13.6%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%
(n=867)	女性計	4.8%	6.8%	2.2%	1.3%	3.6%	0.3%
(n=90)	10・20代女性	6.7%	2.2%	0.0%	0.0%	7.8%	1.1%
(n=130)	30代女性	6.2%	4.6%	2.3%	3.1%	3.8%	0.0%
(n=183)	40代女性	3.8%	7.1%	3.3%	1.1%	2.2%	0.0%
(n=163)	50代女性	4.9%	8.0%	1.8%	1.2%	1.8%	0.0%
(n=102)	60代女性	4.9%	6.9%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%
(n=116)	70代女性	5.2%	12.1%	3.4%	2.6%	3.4%	1.7%
(n=83)	80代以上女性	2.4%	4.8%	3.6%	0.0%	7.2%	0.0%

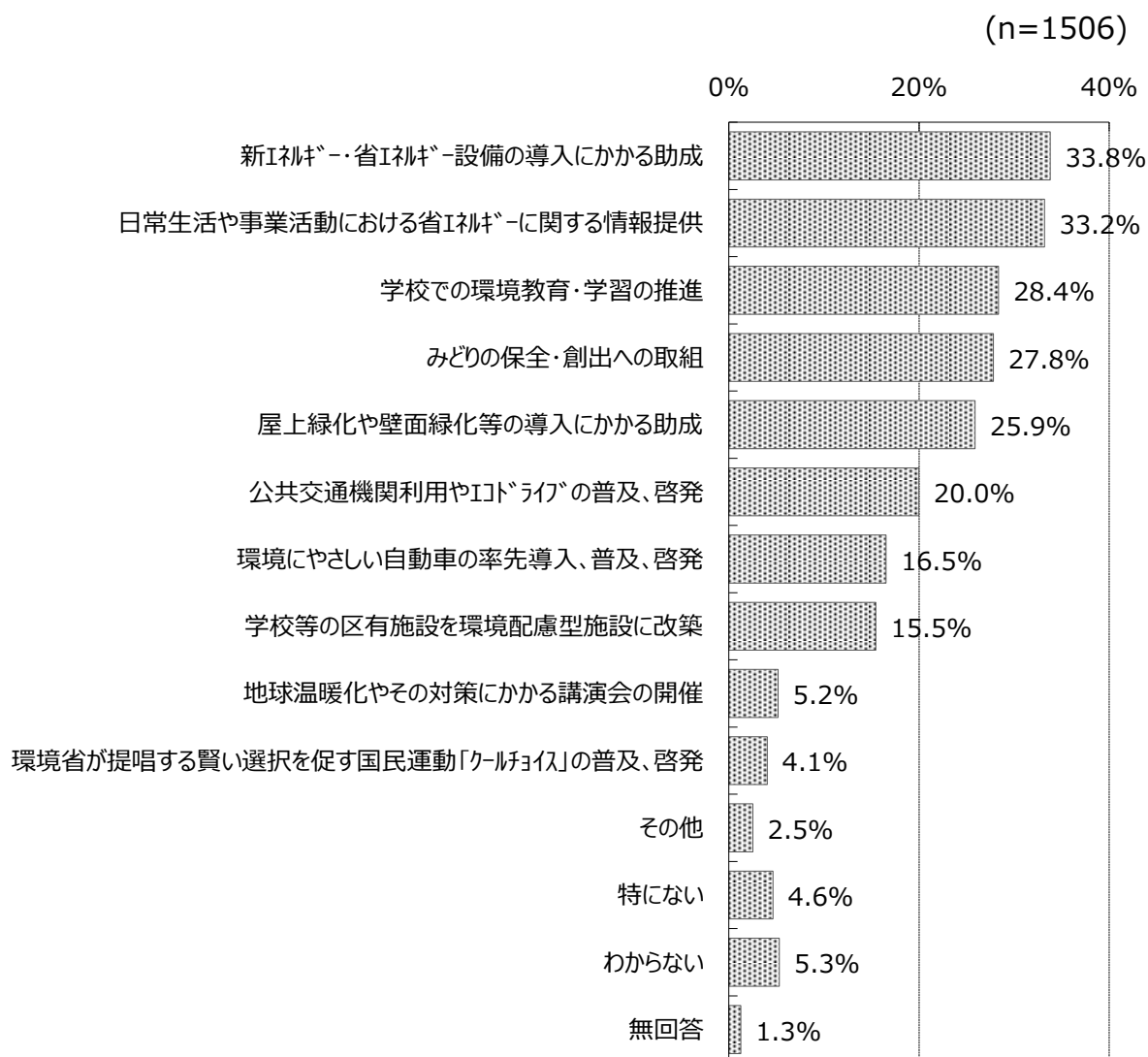
③地球温暖化防止のため区に取り組んでほしいこと

問36 地球温暖化を防止するために、区に特に力を入れて取り組んでほしいと思うことは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

1)全体

地球温暖化を防止するために、区に力を入れて取り組んでほしいと思うことを尋ねたところ、「新エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成」の割合が最も高く33.8%となっている。次いで、「日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供(33.2%)」、「学校での環境教育・学習の推進(28.4%)」となっている。

図表 164 地球温暖化防止のため区に取り組んでほしいこと



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 性年齢別

70代男性で「日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供」、30代及び50代の男性で「新エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成」、10～30代男性で「屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成」、60～70代男性及び60代女性で「みどりの保全・創出への取組」、80歳以上男性で「環境にやさしい自動車の率先導入、普及、啓発」の割合が高くなっている。

図表 165 地球温暖化防止のため区に取り組んでほしいこと（性年齢別）

		日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供	地球温暖化やその対策にかかる講演会の開催	屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成	新エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成	学校での環境教育・学習の推進	学校等の区有施設を環境配慮型施設に改築	公共交通機関利用やエコライフの普及、啓発
(n=1506)	合計	33.2%	5.2%	25.9%	33.8%	28.4%	15.5%	20.0%
(n=596)	男性計	33.2%	5.9%	27.7%	35.2%	26.0%	14.9%	19.6%
(n=61)	10・20代男性	32.8%	6.6%	41.0%	31.1%	21.3%	18.0%	14.8%
(n=90)	30代男性	22.2%	6.7%	36.7%	44.4%	21.1%	14.4%	17.8%
(n=124)	40代男性	29.8%	4.0%	33.1%	33.9%	28.2%	16.1%	25.0%
(n=114)	50代男性	36.8%	7.0%	22.8%	44.7%	27.2%	12.3%	16.7%
(n=82)	60代男性	34.1%	7.3%	26.8%	30.5%	25.6%	13.4%	24.4%
(n=81)	70代男性	43.2%	4.9%	11.1%	28.4%	30.9%	14.8%	13.6%
(n=44)	80代以上男性	36.4%	4.5%	20.5%	22.7%	25.0%	18.2%	25.0%
(n=867)	女性計	32.9%	4.7%	25.0%	33.2%	30.2%	16.3%	20.4%
(n=90)	10・20代女性	24.4%	2.2%	31.1%	26.7%	23.3%	12.2%	23.3%
(n=130)	30代女性	26.9%	2.3%	20.8%	38.5%	33.8%	18.5%	20.0%
(n=183)	40代女性	32.8%	2.2%	33.3%	38.8%	31.7%	18.0%	19.7%
(n=163)	50代女性	33.7%	3.7%	31.3%	38.0%	27.0%	19.6%	19.0%
(n=102)	60代女性	35.3%	3.9%	17.6%	34.3%	33.3%	13.7%	21.6%
(n=116)	70代女性	38.8%	11.2%	16.4%	24.1%	35.3%	17.2%	26.7%
(n=83)	80代以上女性	38.6%	10.8%	15.7%	21.7%	24.1%	8.4%	12.0%

		環境にやさしい自動車の率先導入、普及、啓発	みどりの保全・創出への取組	「クールジョイス」の普及、啓発	その他	特にない	わからない	無回答
(n=1506)	合計	16.5%	27.8%	4.1%	2.5%	4.6%	5.3%	1.3%
(n=596)	男性計	17.8%	28.2%	4.2%	3.4%	6.4%	3.4%	0.5%
(n=61)	10・20代男性	18.0%	23.0%	4.9%	1.6%	4.9%	6.6%	1.6%
(n=90)	30代男性	20.0%	16.7%	1.1%	4.4%	10.0%	0.0%	0.0%
(n=124)	40代男性	18.5%	21.8%	2.4%	4.0%	5.6%	0.8%	0.0%
(n=114)	50代男性	15.8%	31.6%	5.3%	1.8%	7.0%	3.5%	0.0%
(n=82)	60代男性	18.3%	37.8%	4.9%	6.1%	4.9%	2.4%	0.0%
(n=81)	70代男性	11.1%	38.3%	3.7%	3.7%	8.6%	6.2%	1.2%
(n=44)	80代以上男性	27.3%	31.8%	11.4%	0.0%	0.0%	9.1%	2.3%
(n=867)	女性計	15.6%	27.3%	4.0%	2.0%	3.7%	6.5%	1.4%
(n=90)	10・20代女性	22.2%	18.9%	2.2%	2.2%	4.4%	10.0%	1.1%
(n=130)	30代女性	23.1%	23.8%	3.1%	0.0%	3.8%	6.9%	0.0%
(n=183)	40代女性	10.4%	24.6%	3.3%	3.3%	2.7%	6.0%	0.0%
(n=163)	50代女性	12.3%	27.6%	3.7%	1.8%	3.1%	3.1%	0.6%
(n=102)	60代女性	11.8%	38.2%	5.9%	2.9%	2.9%	5.9%	0.0%
(n=116)	70代女性	19.0%	28.4%	6.9%	2.6%	3.4%	4.3%	5.2%
(n=83)	80代以上女性	14.5%	32.5%	3.6%	0.0%	7.2%	13.3%	4.8%

(10) 生涯学習

- 新型コロナウイルス感染拡大以前に生涯学習活動を行った割合は 17.6%にとどまった。内容としては、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、講演会など）（46.4%）」、「健康・スポーツ（水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など）（44.9%）」の割合が高い。
- 新型コロナウイルス感染拡大以前に、「これまで学校や社会で得た知識や経験」を生かした地域の活動（福祉施設でギターのコサートをを行う、児童館でベーゴマや編み物を教える等）を行った割合は、生涯学習活動を行った割合と比較してさらに低く、4.9%にとどまった。
- 過去1年間に区民図書館を利用した割合は 37.8%であった。区民が今後求めるサービスとしては、「図書資料の充実」が 46.3%で最も高い。

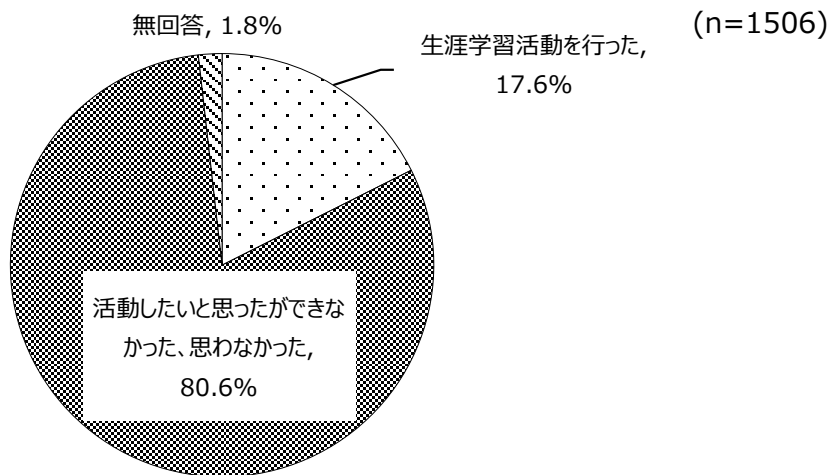
①新型コロナウイルス感染拡大以前の生涯学習活動

問37 あなたは、新型コロナ感染拡大前の1年間に、生涯学習活動を行いましたか。
(あてはまるもの1つに○)

1) 全体

新型コロナウイルス感染拡大前の1年間に、生涯学習活動を行ったか尋ねたところ、「生涯学習活動を行った」が 17.6%、「活動したいと思ったができなかった、思わなかった」が 80.6%となっている。

図表 166 コロナ前の生涯学習活動



2)性年齢別

10・20代男性で「生涯学習活動を行った」の割合が高くなっている。一方、50代男性及び60代女性で「活動したいと思ったができなかった、思わなかった」の割合が高くなっている。

図表 167 コロナ前の生涯学習活動（性年齢別）

		生涯学習活動を行った	活動したいと思ったができなかった、思わなかった	無回答
(n=1506)	合計	17.6%	80.6%	1.8%
(n=596)	男性計	18.8%	79.5%	1.7%
(n=61)	10・20代男性	29.5%	70.5%	0.0%
(n=90)	30代男性	14.4%	85.6%	0.0%
(n=124)	40代男性	20.2%	78.2%	1.6%
(n=114)	50代男性	12.3%	86.8%	0.9%
(n=82)	60代男性	19.5%	78.0%	2.4%
(n=81)	70代男性	21.0%	74.1%	4.9%
(n=44)	80代以上男性	20.5%	77.3%	2.3%
(n=867)	女性計	17.5%	81.2%	1.3%
(n=90)	10・20代女性	18.9%	81.1%	0.0%
(n=130)	30代女性	19.2%	80.0%	0.8%
(n=183)	40代女性	17.5%	82.0%	0.5%
(n=163)	50代女性	19.0%	81.0%	0.0%
(n=102)	60代女性	8.8%	90.2%	1.0%
(n=116)	70代女性	22.4%	74.1%	3.4%
(n=83)	80代以上女性	14.5%	80.7%	4.8%

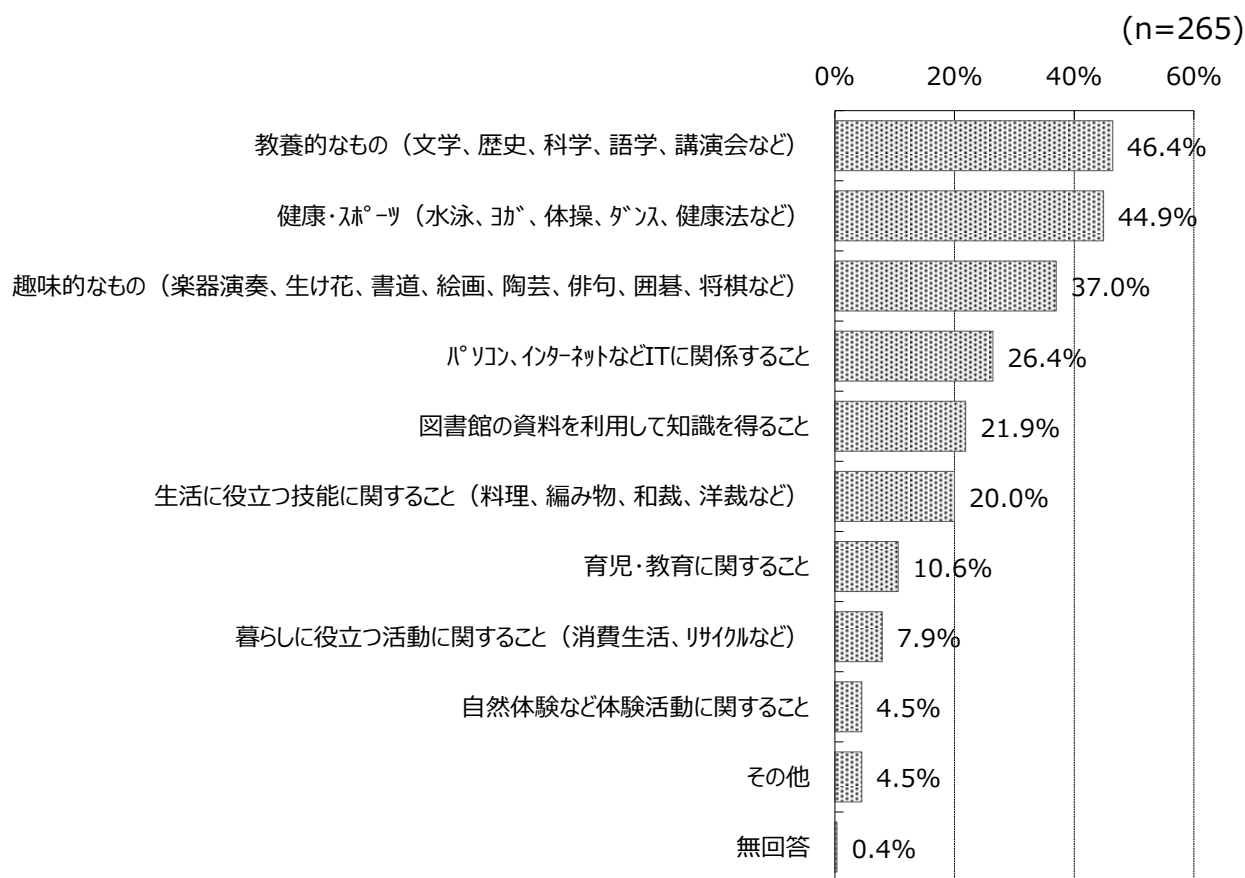
②新型コロナウイルス感染拡大以前の生涯学習活動の内容

問37-1 どのような生涯学習活動を行いましたか。(あてはまるものすべてに○)

1) 全体

新型コロナウイルス感染拡大以前に「生涯学習活動を行った」と回答した人に、その活動内容を尋ねたところ、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、講演会など）」の割合が最も高く46.4%となっている。次いで、「健康・スポーツ（水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など）（44.9%）」、「趣味的なもの（楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、俳句、囲碁、将棋など）（37.0%）」となっている。

図表 168 コロナ前の生涯学習活動の内容



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 性年齢別

10～30代男性及び60代男性では、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、講演会など）」の割合が選択肢の中で最も高くなっている。

活動内容ごとに各性年齢の割合を見ると、「趣味的なもの（楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、俳句、囲碁、将棋など）」は70代男性及び60～70代女性で、「パソコン、インターネットなどITに関係すること」は10・20代男性で、「生活に役立つ技能に関すること（料理、編み物、和裁、洋裁など）」は50代及び70代の女性で、「図書館の資料を利用して知識を得ること」は50代及び80代以上の女性で、他の性年齢と比較して割合が高くなっている。

図表 169 コロナ前の生涯学習活動の内容（性年齢別）

		健康・スポーツ	趣味的なもの	教養的なもの	パソコン、インターネットなどITに関係すること	生活に役立つ技能に関すること	暮らしに役立つ活動に関すること
(n=265)	合計	44.9%	37.0%	46.4%	26.4%	20.0%	7.9%
(n=112)	男性計	39.3%	28.6%	50.9%	30.4%	11.6%	8.0%
(n=18)	10・20代男性	22.2%	11.1%	66.7%	55.6%	27.8%	5.6%
(n=13)	30代男性	30.8%	15.4%	69.2%	30.8%	15.4%	15.4%
(n=25)	40代男性	52.0%	28.0%	52.0%	32.0%	8.0%	8.0%
(n=14)	50代男性	42.9%	21.4%	35.7%	14.3%	14.3%	7.1%
(n=16)	60代男性	50.0%	25.0%	68.8%	31.3%	6.3%	18.8%
(n=17)	70代男性	29.4%	58.8%	29.4%	23.5%	5.9%	0.0%
(n=9)	80代以上男性	44.4%	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
(n=152)	女性計	48.7%	42.8%	43.4%	23.7%	26.3%	7.9%
(n=17)	10・20代女性	35.3%	35.3%	52.9%	35.3%	29.4%	5.9%
(n=25)	30代女性	52.0%	32.0%	36.0%	24.0%	24.0%	0.0%
(n=32)	40代女性	53.1%	37.5%	37.5%	9.4%	18.8%	6.3%
(n=31)	50代女性	51.6%	38.7%	51.6%	35.5%	41.9%	16.1%
(n=9)	60代女性	44.4%	66.7%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%
(n=26)	70代女性	46.2%	61.5%	53.8%	26.9%	30.8%	7.7%
(n=12)	80代以上女性	50.0%	41.7%	16.7%	25.0%	16.7%	8.3%

		育児・教育に関すること	自然体験など体験活動に関すること	図書館の資料を利用して知識を得ること	その他	無回答
(n=265)	合計	10.6%	4.5%	21.9%	4.5%	0.4%
(n=112)	男性計	8.0%	2.7%	19.6%	5.4%	0.9%
(n=18)	10・20代男性	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
(n=13)	30代男性	15.4%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%
(n=25)	40代男性	24.0%	8.0%	16.0%	4.0%	0.0%
(n=14)	50代男性	7.1%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%
(n=16)	60代男性	0.0%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%
(n=17)	70代男性	0.0%	0.0%	29.4%	11.8%	5.9%
(n=9)	80代以上男性	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%
(n=152)	女性計	12.5%	5.9%	23.0%	3.9%	0.0%
(n=17)	10・20代女性	29.4%	5.9%	17.6%	0.0%	0.0%
(n=25)	30代女性	12.0%	0.0%	16.0%	4.0%	0.0%
(n=32)	40代女性	12.5%	6.3%	15.6%	3.1%	0.0%
(n=31)	50代女性	19.4%	9.7%	35.5%	3.2%	0.0%
(n=9)	60代女性	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
(n=26)	70代女性	0.0%	7.7%	26.9%	7.7%	0.0%
(n=12)	80代以上女性	0.0%	8.3%	33.3%	8.3%	0.0%

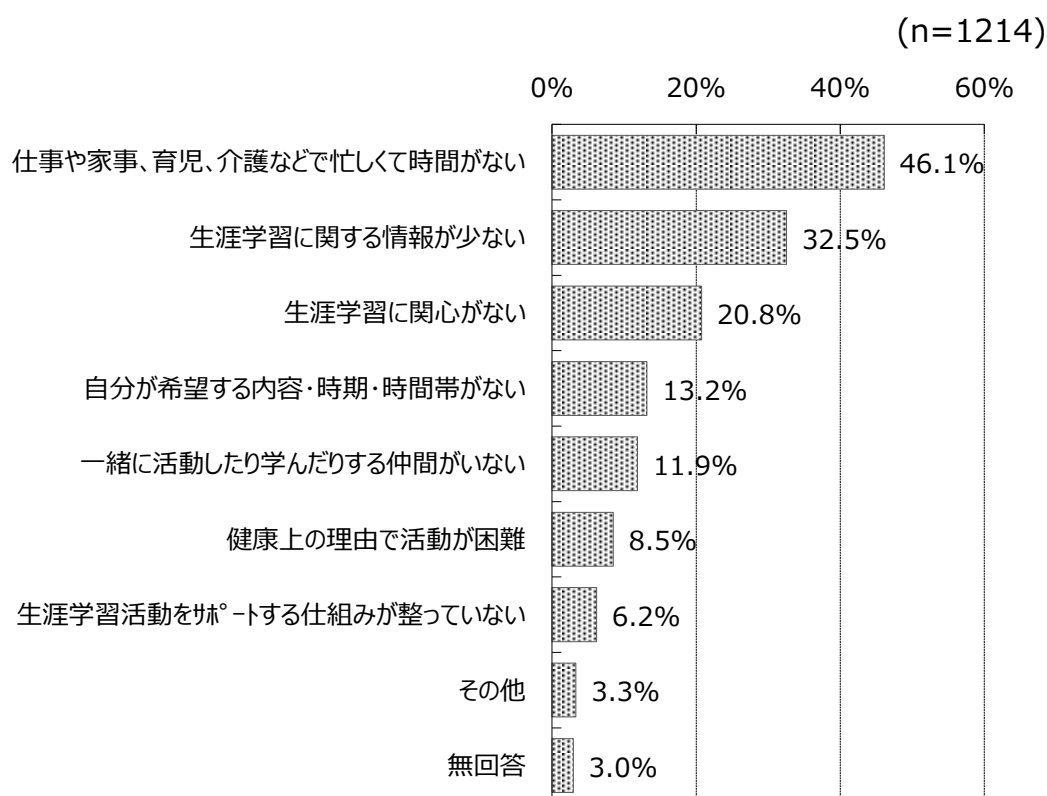
③生涯学習活動を行わなかった理由

問37-2 あなたが生涯学習活動をできなかった、またはしなかった理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1)全体

新型コロナウイルス感染拡大以前に「活動したいと思ったができなかった、思わなかった」と回答した人に、行わなかった理由を尋ねたところ、「仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない」の割合が最も高く46.1%となっている。次いで、「生涯学習に関する情報が少ない(32.5%)」、「生涯学習に関心がない(20.8%)」となっている。

図表 170 コロナ前に生涯学習活動を行わなかった理由



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 性年齢別

30～50代女性で「仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない」の割合が最も高くなっている。

行わなかった理由ごとに各性年齢の割合を見ると、「仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない」は40～50代女性で、「自分が希望する内容・時期・時間帯がない」は70代女性で、「一緒に活動したり学んだりする仲間がない」は70代以上の男性で、「健康上の理由で活動が困難」は80歳以上の男性及び70代以上の女性で、「生涯学習に関心がない」は10・20代の男女で、他の性年齢と比較して割合が高くなっている。

図表 171 コロナ前に生涯学習活動を行わなかった理由（性年齢別）

		仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない	生涯学習活動をサポートする仕組みが整っていない	自分が希望する内容・時期・時間帯がない	生涯学習に関する情報が少ない	一緒に活動したり学んだりする仲間がない
(n=1214)	合計	46.1%	6.2%	13.2%	32.5%	11.9%
(n=474)	男性計	43.0%	8.0%	11.2%	34.2%	15.2%
(n=43)	10・20代男性	30.2%	2.3%	4.7%	25.6%	14.0%
(n=77)	30代男性	49.4%	10.4%	9.1%	31.2%	10.4%
(n=97)	40代男性	53.6%	7.2%	8.2%	34.0%	9.3%
(n=99)	50代男性	53.5%	7.1%	14.1%	32.3%	12.1%
(n=64)	60代男性	50.0%	12.5%	18.8%	42.2%	18.8%
(n=60)	70代男性	18.3%	6.7%	13.3%	38.3%	25.0%
(n=34)	80代以上男性	14.7%	8.8%	5.9%	35.3%	29.4%
(n=704)	女性計	49.9%	5.1%	14.8%	31.0%	9.7%
(n=73)	10・20代女性	31.5%	2.7%	6.8%	27.4%	11.0%
(n=104)	30代女性	57.7%	3.8%	9.6%	30.8%	7.7%
(n=150)	40代女性	69.3%	5.3%	11.3%	28.0%	8.0%
(n=132)	50代女性	65.9%	3.8%	17.4%	35.6%	9.8%
(n=92)	60代女性	45.7%	6.5%	21.7%	39.1%	6.5%
(n=86)	70代女性	30.2%	7.0%	24.4%	34.9%	15.1%
(n=67)	80代以上女性	13.4%	7.5%	11.9%	16.4%	11.9%

		健康上の理由で活動が困難	生涯学習に関心がない	その他	無回答
(n=1214)	合計	8.5%	20.8%	3.3%	3.0%
(n=474)	男性計	5.5%	25.5%	3.8%	2.1%
(n=43)	10・20代男性	0.0%	44.2%	7.0%	0.0%
(n=77)	30代男性	1.3%	28.6%	1.3%	1.3%
(n=97)	40代男性	2.1%	27.8%	1.0%	1.0%
(n=99)	50代男性	1.0%	25.3%	1.0%	2.0%
(n=64)	60代男性	6.3%	14.1%	6.3%	3.1%
(n=60)	70代男性	16.7%	28.3%	3.3%	3.3%
(n=34)	80代以上男性	23.5%	5.9%	17.6%	5.9%
(n=704)	女性計	10.1%	17.6%	3.1%	3.0%
(n=73)	10・20代女性	0.0%	43.8%	4.1%	4.1%
(n=104)	30代女性	0.0%	19.2%	6.7%	1.9%
(n=150)	40代女性	0.0%	15.3%	0.0%	1.3%
(n=132)	50代女性	4.5%	13.6%	3.0%	1.5%
(n=92)	60代女性	14.1%	15.2%	2.2%	2.2%
(n=86)	70代女性	20.9%	9.3%	1.2%	4.7%
(n=67)	80代以上女性	50.7%	13.4%	7.5%	9.0%

④生涯学習推進のために必要なこと

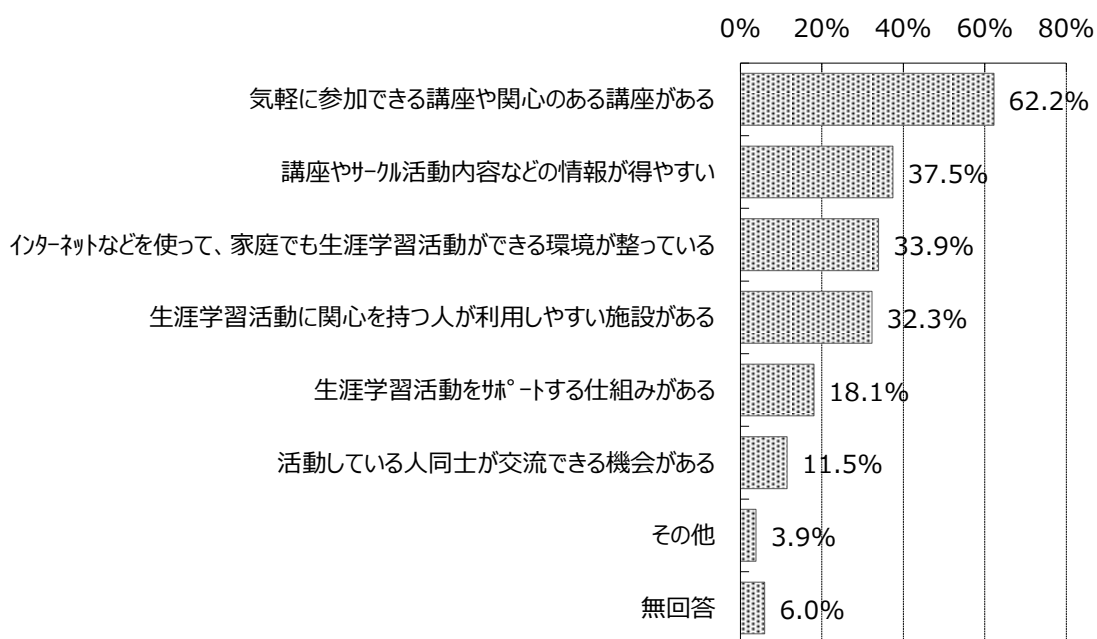
問38 あなたは、生涯学習の推進のために、どんなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1)全体

生涯学習の推進のために必要だと思うことを尋ねたところ、「気軽に参加できる講座や関心のある講座がある」の割合が最も高く62.2%となっている。次いで、「講座やサークル活動内容などの情報が得やすい(37.5%)」、「インターネットなどを使って、家庭でも生涯学習活動ができる環境が整っている(33.9%)」となっている。

図表 172 生涯学習活動の推進のための必要なこと

(n=1506)



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 性年齢別

50代女性では、「気軽に参加できる講座や関心のある講座がある」、「講座やサークル活動内容などの情報が得やすい」の割合が他の性年齢と比較して高くなっている。また、10・20代の男女、及び40代の男女では、「家庭でも生涯学習活動ができる環境が整っている」の割合が高くなっている。さらに、60代男性で「生涯学習活動に関心を持つ人が利用しやすい施設がある」、「活動している人同士が交流できる機会がある」の割合が高くなっている。

図表 173 生涯学習活動の推進のための必要なこと（性年齢別）

		気軽に参加できる講座や関心のある講座がある	講座やサークル活動内容などの情報が得やすい	生涯学習活動に関心を持つ人が利用しやすい施設がある	生涯学習活動をサポートする仕組みがある
(n=1506)	合計	62.2%	37.5%	32.3%	18.1%
(n=596)	男性計	59.4%	33.1%	32.2%	22.0%
(n=61)	10・20代男性	54.1%	23.0%	24.6%	23.0%
(n=90)	30代男性	64.4%	35.6%	31.1%	15.6%
(n=124)	40代男性	63.7%	37.9%	25.0%	24.2%
(n=114)	50代男性	59.6%	35.1%	36.8%	20.2%
(n=82)	60代男性	61.0%	29.3%	48.8%	22.0%
(n=81)	70代男性	53.1%	35.8%	30.9%	23.5%
(n=44)	80代以上男性	52.3%	25.0%	25.0%	29.5%
(n=867)	女性計	65.1%	41.3%	32.9%	15.7%
(n=90)	10・20代女性	45.6%	28.9%	22.2%	12.2%
(n=130)	30代女性	67.7%	43.8%	37.7%	16.2%
(n=183)	40代女性	68.9%	45.4%	27.3%	17.5%
(n=163)	50代女性	73.6%	51.5%	35.0%	14.1%
(n=102)	60代女性	65.7%	40.2%	32.4%	17.6%
(n=116)	70代女性	64.7%	32.8%	40.5%	12.1%
(n=83)	80代以上女性	56.6%	34.9%	34.9%	20.5%

		活動している人同士が交流できる機会がある	家庭でも生涯学習活動ができる環境が整っている	その他	無回答
(n=1506)	合計	11.5%	33.9%	3.9%	6.0%
(n=596)	男性計	14.4%	34.6%	4.7%	4.5%
(n=61)	10・20代男性	13.1%	47.5%	1.6%	1.6%
(n=90)	30代男性	12.2%	43.3%	1.1%	0.0%
(n=124)	40代男性	17.7%	45.2%	5.6%	2.4%
(n=114)	50代男性	9.6%	43.0%	4.4%	0.9%
(n=82)	60代男性	22.0%	18.3%	7.3%	6.1%
(n=81)	70代男性	12.3%	16.0%	4.9%	13.6%
(n=44)	80代以上男性	13.6%	11.4%	9.1%	13.6%
(n=867)	女性計	9.7%	34.1%	3.3%	5.5%
(n=90)	10・20代女性	16.7%	50.0%	3.3%	2.2%
(n=130)	30代女性	6.9%	37.7%	3.8%	0.8%
(n=183)	40代女性	8.7%	44.3%	4.4%	1.1%
(n=163)	50代女性	8.0%	41.1%	2.5%	1.8%
(n=102)	60代女性	3.9%	30.4%	4.9%	3.9%
(n=116)	70代女性	19.0%	15.5%	0.9%	15.5%
(n=83)	80代以上女性	6.0%	6.0%	3.6%	21.7%

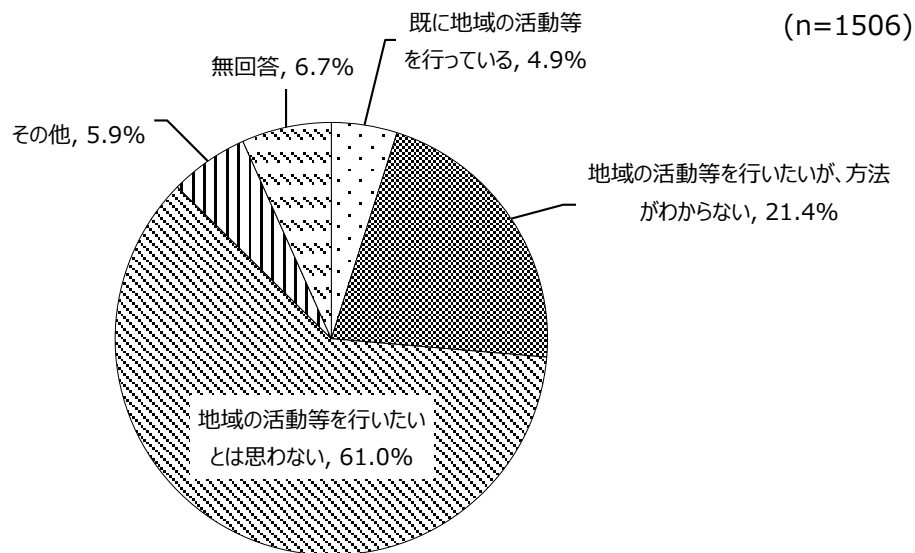
⑤新型コロナウイルス感染拡大前の知識や経験を活かした地域の活動等

問39 あなたは、新型コロナ感染拡大前の1年間に、「これまで学校や社会で得た知識や経験」を生かした地域の活動等（例：福祉施設でギターコンサートをを行う、児童館でベーゴマや編み物を教える等）を行っていましたか。
(あてはまるもの1つに○)

1)全体

新型コロナウイルス感染拡大前の1年間に、「これまで学校や社会で得た知識や経験」を生かした地域の活動等（例：福祉施設でギターコンサートをを行う、児童館でベーゴマや編み物を教える等）を行っていたか尋ねたところ、「地域の活動等を行いたいとは思わない」の割合が最も高く61.0%となっている。次いで、「地域の活動等を行いたい方法がわからない(21.4%)」となっている。

図表 174 コロナ前の知識や経験を活かした地域の活動



2)性年齢別

10・20代男性、10～30代の女性で「地域の活動等を行いたいとは思わない」の割合が高くなっている。また、30代・60代・80代以上の男性で「地域の活動等を行いたい、方法がわからない」の割合がやや高くなっている。

図表 175 コロナ前の知識や経験を活かした地域の活動（性年齢別）

		既に地域の活動等を行っている	地域の活動等を行いたい、方法がわからない	地域の活動等を行いたいとは思わない	その他	無回答
(n=1506)	合計	4.9%	21.4%	61.0%	5.9%	6.7%
(n=596)	男性計	5.5%	22.7%	63.4%	5.2%	3.2%
(n=61)	10・20代男性	1.6%	9.8%	86.9%	1.6%	0.0%
(n=90)	30代男性	2.2%	27.8%	68.9%	1.1%	0.0%
(n=124)	40代男性	4.0%	22.6%	65.3%	4.8%	3.2%
(n=114)	50代男性	4.4%	22.8%	66.7%	5.3%	0.9%
(n=82)	60代男性	9.8%	28.0%	58.5%	1.2%	2.4%
(n=81)	70代男性	11.1%	18.5%	50.6%	9.9%	9.9%
(n=44)	80代以上男性	6.8%	27.3%	38.6%	18.2%	9.1%
(n=867)	女性計	4.7%	21.7%	59.4%	6.6%	7.6%
(n=90)	10・20代女性	4.4%	20.0%	72.2%	2.2%	1.1%
(n=130)	30代女性	3.1%	20.0%	73.8%	2.3%	0.8%
(n=183)	40代女性	2.7%	24.6%	64.5%	4.9%	3.3%
(n=163)	50代女性	2.5%	23.3%	66.9%	4.9%	2.5%
(n=102)	60代女性	4.9%	23.5%	53.9%	8.8%	8.8%
(n=116)	70代女性	12.1%	20.7%	32.8%	13.8%	20.7%
(n=83)	80代以上女性	6.0%	15.7%	41.0%	12.0%	25.3%

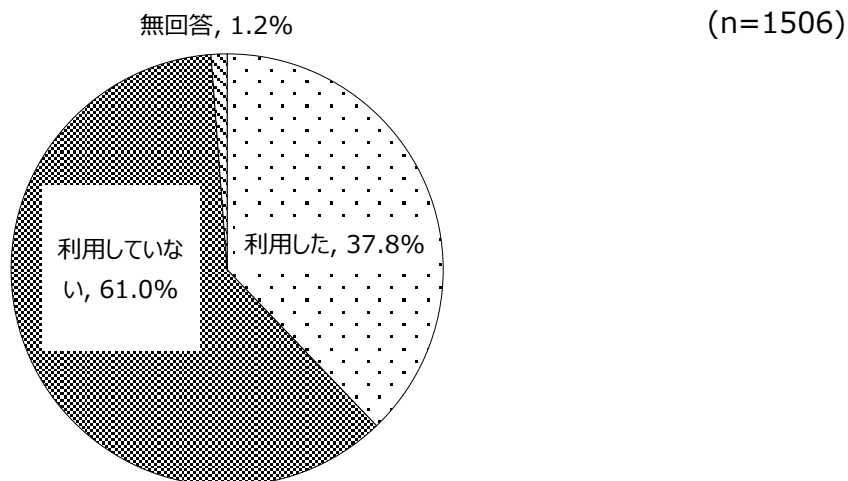
⑥過去1年の間に区立図書館を利用したか

問40 あなたは、この1年間に、目黒区立の図書館を利用しましたか。

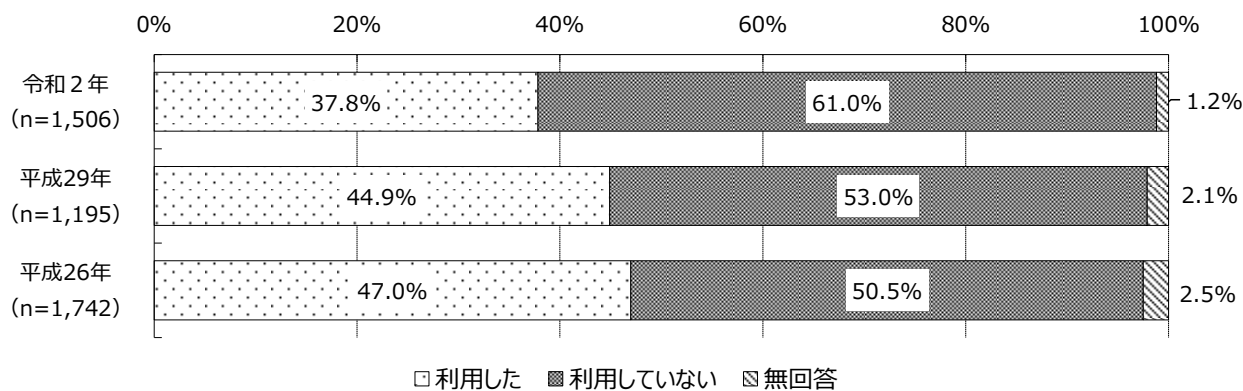
1)全体

過去1年間に、目黒区立の図書館を利用したか尋ねたところ、「利用していない」の割合が61.0%、「利用した」の割合が37.8%となっている。

図表 176 目黒区立図書館の利用有無



図表 177 目黒区立図書館の利用有無（経年変化）



注釈) 平成29年以前は、「利用したことがある」「利用したことがない」の選択肢となっている。

	利用した	利用していない	無回答
令和2年 (n=1,506)	37.8%	61.0%	1.2%
平成29年 (n=1,195)	44.9%	53.0%	2.1%
平成26年 (n=1,742)	47.0%	50.5%	2.5%

2) 性年齢別

80代以上女性で「利用していない」の割合が最も高くなっている。

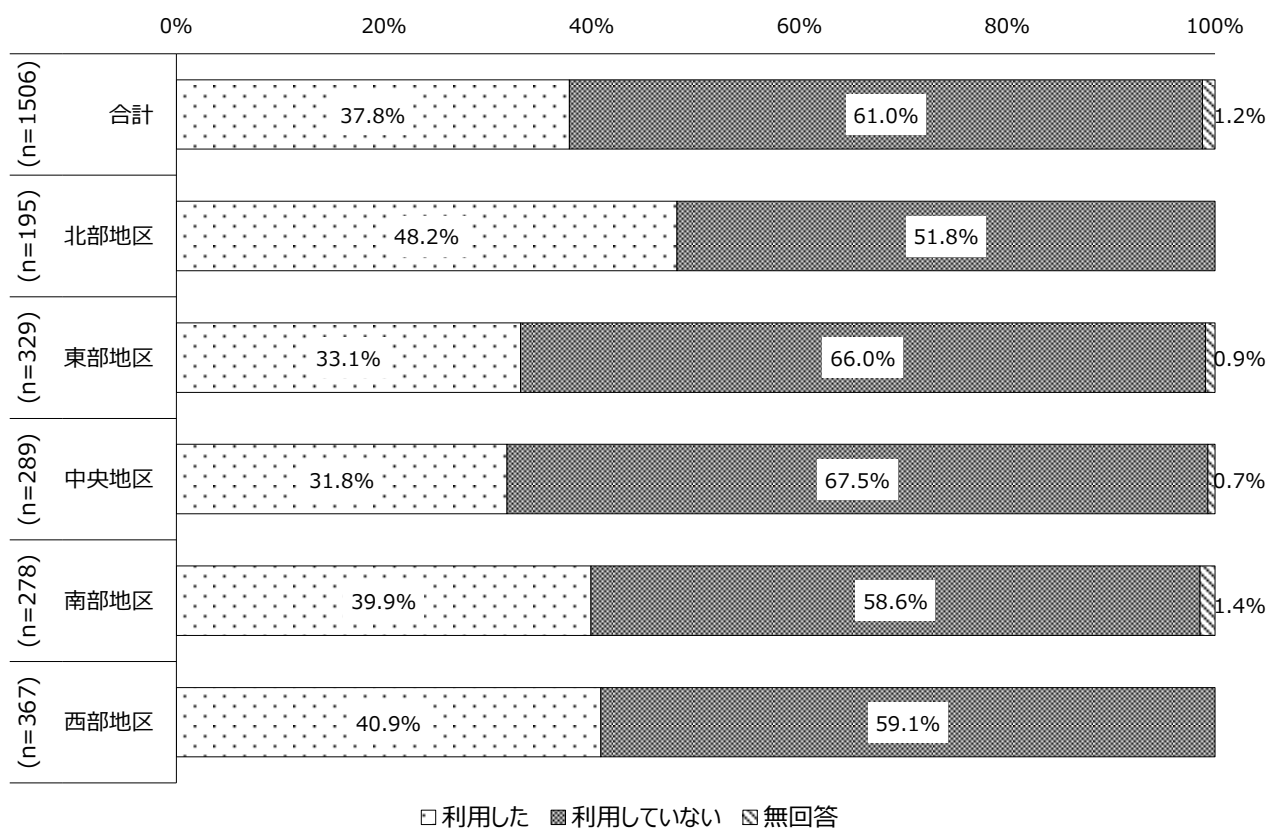
図表 178 目黒区立図書館の利用有無（性年齢別）

		利用した	利用していない	無回答
(n=1506)	合計	37.8%	61.0%	1.2%
(n=596)	男性計	38.3%	60.9%	0.8%
(n=61)	10・20代男性	31.1%	67.2%	1.6%
(n=90)	30代男性	33.3%	66.7%	0.0%
(n=124)	40代男性	47.6%	52.4%	0.0%
(n=114)	50代男性	36.0%	64.0%	0.0%
(n=82)	60代男性	43.9%	53.7%	2.4%
(n=81)	70代男性	34.6%	63.0%	2.5%
(n=44)	80代以上男性	34.1%	65.9%	0.0%
(n=867)	女性計	38.2%	61.4%	0.5%
(n=90)	10・20代女性	36.7%	63.3%	0.0%
(n=130)	30代女性	43.1%	56.9%	0.0%
(n=183)	40代女性	42.1%	57.4%	0.5%
(n=163)	50代女性	43.6%	56.4%	0.0%
(n=102)	60代女性	32.4%	67.6%	0.0%
(n=116)	70代女性	43.1%	55.2%	1.7%
(n=83)	80代以上女性	13.3%	85.5%	1.2%

3) 地区別

東部地区、中央地区で「利用していない」の割合がやや高くなっている。

図表 179 目黒区立図書館の利用有無（地区別）



		利用した	利用していない	無回答
(n=1506)	合計	37.8%	61.0%	1.2%
(n=195)	北部地区	48.2%	51.8%	0.0%
(n=329)	東部地区	33.1%	66.0%	0.9%
(n=289)	中央地区	31.8%	67.5%	0.7%
(n=278)	南部地区	39.9%	58.6%	1.4%
(n=367)	西部地区	40.9%	59.1%	0.0%

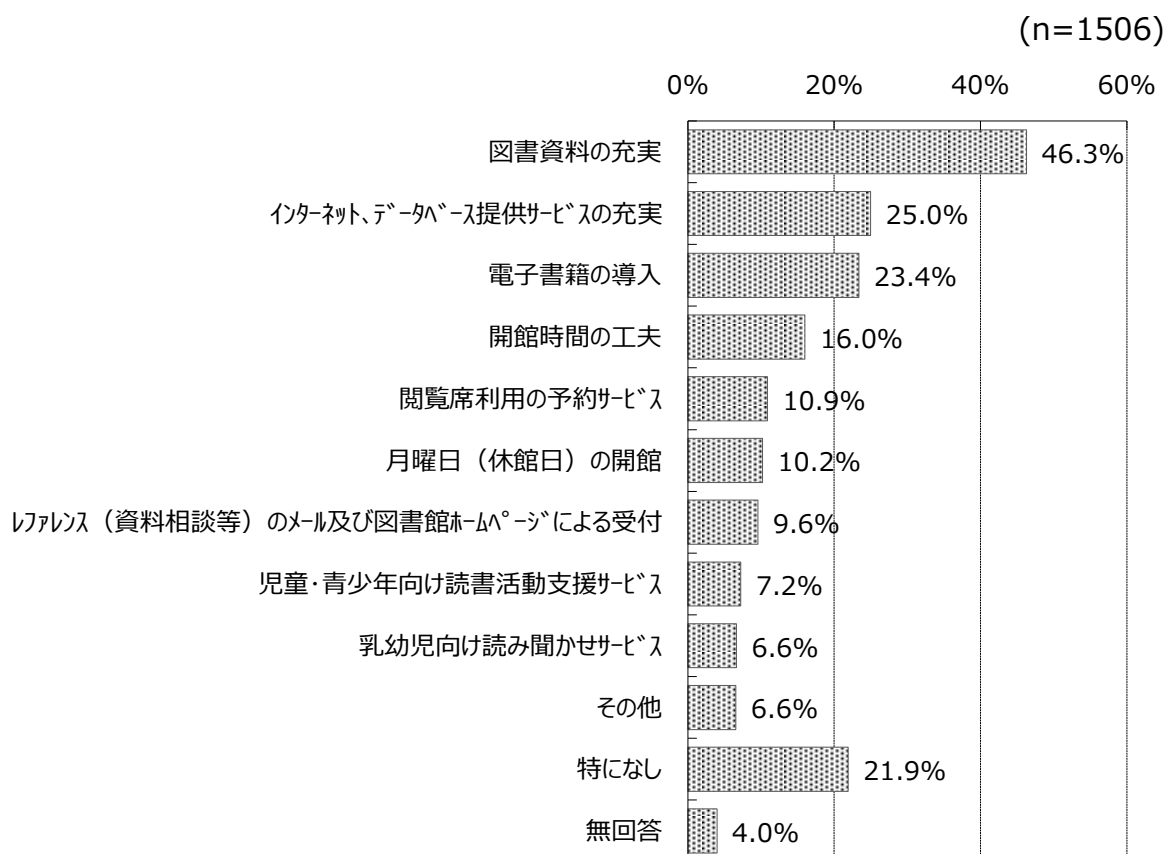
⑦区立図書館に期待するサービス

問41 今後の区立図書館に期待するサービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1) 全体

今後の区立図書館に期待するサービスを尋ねたところ、「図書資料の充実」の割合が最も高く46.3%となっている。次いで、「インターネット、データベース提供サービスの充実(25.0%)」、「電子書籍の導入(23.4%)」となっている。

図表 180 区立図書館に期待するサービス



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 性年齢別

30代及び50代の男性では、「インターネット、データベース提供サービスの充実」の割合が他の性年齢と比較して高くなっている。また、10～30代男性で「電子書籍の導入」、30代女性で「乳幼児向け読み聞かせサービス」の割合が、他の性年齢と比較して高くなっている。

図表 181 区立図書館に期待するサービス（性年齢別）

		図書資料の充実	電子書籍の導入	ウェブサイトのメール及び図書館ホームページによる受付	乳幼児向け読み聞かせサービス	児童・青少年向け読書活動支援サービス	閲覧席利用の予約サービス
(n=1506)	合計	46.3%	23.4%	9.6%	6.6%	7.2%	10.9%
(n=596)	男性計	48.5%	27.3%	10.6%	5.2%	7.9%	10.4%
(n=61)	10・20代男性	52.5%	41.0%	13.1%	3.3%	1.6%	9.8%
(n=90)	30代男性	53.3%	42.2%	13.3%	11.1%	7.8%	20.0%
(n=124)	40代男性	48.4%	33.1%	7.3%	6.5%	15.3%	10.5%
(n=114)	50代男性	51.8%	32.5%	11.4%	4.4%	3.5%	7.9%
(n=82)	60代男性	47.6%	18.3%	18.3%	3.7%	7.3%	13.4%
(n=81)	70代男性	44.4%	8.6%	4.9%	3.7%	8.6%	2.5%
(n=44)	80代以上男性	34.1%	0.0%	4.5%	0.0%	6.8%	6.8%
(n=867)	女性計	45.6%	21.3%	9.1%	7.7%	7.2%	11.2%
(n=90)	10・20代女性	40.0%	28.9%	6.7%	4.4%	3.3%	18.9%
(n=130)	30代女性	52.3%	33.1%	6.2%	19.2%	9.2%	11.5%
(n=183)	40代女性	52.5%	31.1%	12.6%	4.9%	8.2%	12.6%
(n=163)	50代女性	52.8%	23.3%	14.1%	3.7%	5.5%	14.7%
(n=102)	60代女性	43.1%	6.9%	5.9%	10.8%	8.8%	6.9%
(n=116)	70代女性	37.9%	7.8%	4.3%	9.5%	7.8%	5.2%
(n=83)	80代以上女性	25.3%	6.0%	9.6%	1.2%	6.0%	6.0%

		インターネット、データベース提供サービスの充実	月曜日の開館	開館時間の工夫	その他	特になし	無回答
(n=1506)	合計	25.0%	10.2%	16.0%	6.6%	21.9%	4.0%
(n=596)	男性計	32.0%	10.9%	17.6%	5.9%	18.8%	2.9%
(n=61)	10・20代男性	32.8%	8.2%	19.7%	8.2%	11.5%	0.0%
(n=90)	30代男性	42.2%	10.0%	17.8%	4.4%	10.0%	0.0%
(n=124)	40代男性	33.1%	8.9%	23.4%	8.9%	12.1%	0.8%
(n=114)	50代男性	40.4%	14.0%	21.1%	3.5%	18.4%	1.8%
(n=82)	60代男性	37.8%	13.4%	17.1%	4.9%	22.0%	1.2%
(n=81)	70代男性	14.8%	12.3%	8.6%	7.4%	29.6%	8.6%
(n=44)	80代以上男性	6.8%	6.8%	6.8%	2.3%	40.9%	13.6%
(n=867)	女性計	20.5%	9.9%	15.3%	7.3%	23.9%	3.7%
(n=90)	10・20代女性	25.6%	6.7%	16.7%	8.9%	21.1%	0.0%
(n=130)	30代女性	28.5%	4.6%	8.5%	9.2%	15.4%	0.8%
(n=183)	40代女性	21.3%	9.3%	17.5%	8.7%	19.1%	1.1%
(n=163)	50代女性	33.1%	16.0%	25.2%	5.5%	17.8%	0.6%
(n=102)	60代女性	12.7%	8.8%	14.7%	7.8%	30.4%	0.0%
(n=116)	70代女性	6.9%	9.5%	8.6%	7.8%	35.3%	10.3%
(n=83)	80代以上女性	4.8%	13.3%	10.8%	1.2%	38.6%	19.3%

(11) 広報・ホームページ

- 区民が区の情報を入手する手段としては、「めぐろ区報 (48.7%)」の割合が最も高く、次いでスマートフォンやパソコンによってホームページを閲覧するという人がそれぞれ 30%弱であった。めぐろ区報の入手場所については、「新聞の折り込み (38.2%)」が圧倒的に多く、高齢になるほどその割合は高い。
- 目黒区ホームページに満足している人は 27.3%であり、満足していない人の中からは、「情報が探しにくい (56.6%)」という声も聞かれた。

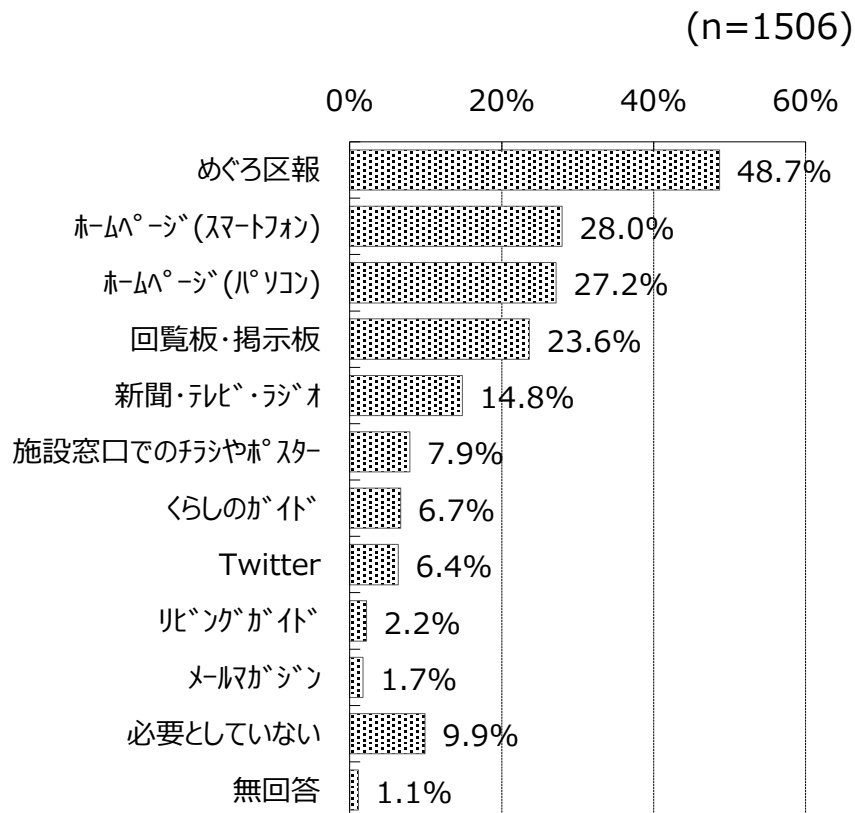
①区の情報入手するための手段

問42 あなたは、日ごろ必要としている区の情報やお知らせを、どのように入手していますか (あてはまるものすべてに○)

1) 全体

日頃必要とする区の情報やお知らせを、どのように入手しているか尋ねたところ、「めぐろ区報」の割合が最も高く 48.7%となっている。次いで、「ホームページ (スマートフォン) (28.0%)」、「ホームページ (パソコン) (27.2%)」となっている。

図表 182 区の情報入手するための手段



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 性年齢別

男女とも60代以上で「めぐろ区報」、70代以上で「回覧版・掲示板」、「新聞・テレビ・ラジオ」の割合が他の性年齢と比較して高くなっている。また、70代女性では、「施設窓口でのチラシやポスター」の割合も高い。40～60代男性及び50代女性は「ホームページ（パソコン）」、30～40代女性では「ホームページ（スマートフォン）」の割合が高くなっている。なお、10～30代男性、10・20代女性では「必要としていない」の割合が高くなっている。

図表 183 区の情報入手するための手段（性年齢別）

		めぐろ区報	くらしのガイド*	リビングガイド*	施設窓口でのチラシやポスター	回覧板・掲示板	ホームページ（パソコン）
(n=1506)	合計	48.7%	6.7%	2.2%	7.9%	23.6%	27.2%
(n=596)	男性計	47.8%	7.2%	2.9%	5.7%	22.8%	33.4%
(n=61)	10・20代男性	14.8%	0.0%	4.9%	4.9%	8.2%	14.8%
(n=90)	30代男性	24.4%	6.7%	4.4%	5.6%	11.1%	31.1%
(n=124)	40代男性	39.5%	6.5%	3.2%	1.6%	11.3%	39.5%
(n=114)	50代男性	49.1%	9.6%	1.8%	5.3%	23.7%	54.4%
(n=82)	60代男性	67.1%	9.8%	2.4%	7.3%	22.0%	36.6%
(n=81)	70代男性	69.1%	6.2%	0.0%	7.4%	45.7%	21.0%
(n=44)	80代以上男性	86.4%	11.4%	4.5%	13.6%	56.8%	9.1%
(n=867)	女性計	49.3%	6.3%	1.8%	9.8%	24.1%	23.6%
(n=90)	10・20代女性	8.9%	2.2%	0.0%	4.4%	10.0%	14.4%
(n=130)	30代女性	21.5%	2.3%	1.5%	8.5%	15.4%	20.8%
(n=183)	40代女性	36.1%	4.9%	1.6%	5.5%	16.9%	35.5%
(n=163)	50代女性	50.3%	5.5%	0.0%	8.0%	15.3%	39.9%
(n=102)	60代女性	72.5%	8.8%	2.0%	8.8%	31.4%	23.5%
(n=116)	70代女性	90.5%	13.8%	6.0%	25.9%	44.8%	7.8%
(n=83)	80代以上女性	77.1%	8.4%	2.4%	9.6%	48.2%	2.4%

		ホームページ（スマートフォン）	メールマガジン	Twitter	新聞・テレビ・ラジオ	必要としていない	無回答
(n=1506)	合計	28.0%	1.7%	6.4%	14.8%	9.9%	1.1%
(n=596)	男性計	23.5%	2.3%	6.7%	13.6%	11.4%	0.8%
(n=61)	10・20代男性	32.8%	0.0%	13.1%	4.9%	29.5%	0.0%
(n=90)	30代男性	31.1%	1.1%	12.2%	5.6%	24.4%	0.0%
(n=124)	40代男性	33.9%	4.0%	9.7%	5.6%	10.5%	0.8%
(n=114)	50代男性	28.9%	2.6%	4.4%	8.8%	4.4%	1.8%
(n=82)	60代男性	13.4%	4.9%	3.7%	12.2%	6.1%	1.2%
(n=81)	70代男性	6.2%	1.2%	1.2%	30.9%	4.9%	1.2%
(n=44)	80代以上男性	2.3%	0.0%	0.0%	47.7%	2.3%	0.0%
(n=867)	女性計	31.7%	1.4%	6.5%	15.5%	8.9%	0.8%
(n=90)	10・20代女性	27.8%	1.1%	15.6%	8.9%	42.2%	0.0%
(n=130)	30代女性	49.2%	0.8%	14.6%	5.4%	13.1%	1.5%
(n=183)	40代女性	45.4%	0.0%	7.7%	6.0%	7.7%	0.5%
(n=163)	50代女性	38.7%	3.7%	4.9%	12.3%	4.3%	0.0%
(n=102)	60代女性	24.5%	2.0%	0.0%	15.7%	0.0%	1.0%
(n=116)	70代女性	8.6%	1.7%	0.9%	35.3%	0.0%	0.0%
(n=83)	80代以上女性	6.0%	0.0%	0.0%	37.3%	1.2%	3.6%

②広報紙「めぐろ区報」の入手場所

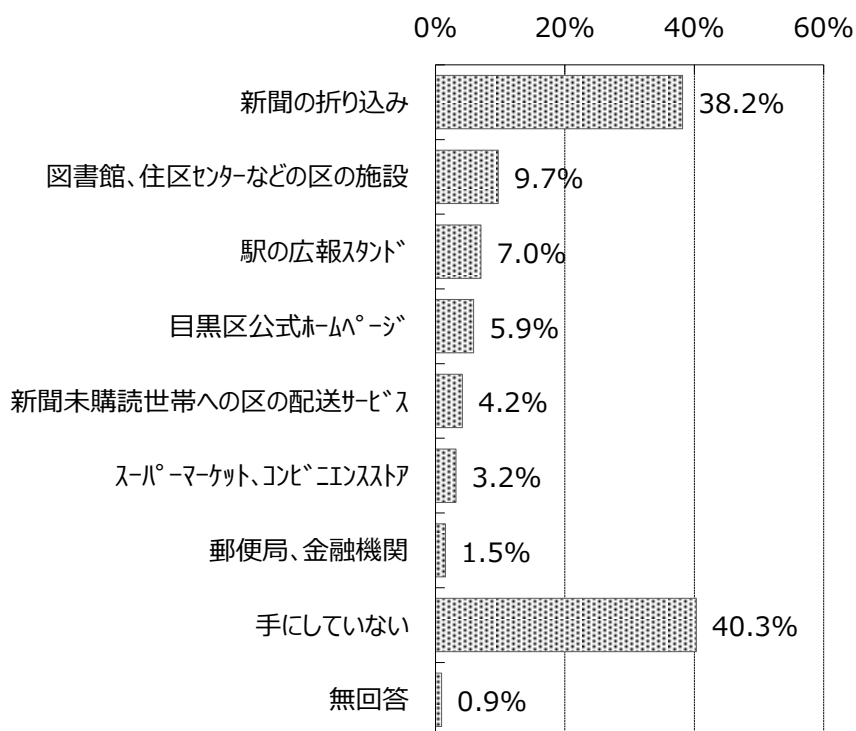
問43 区では、広報紙「めぐろ区報」を毎月3回（5日、15日、25日）発行しています。あなたは、主にどこで広報紙を手に入れていますか。
（あてはまるもの2つまでに○）

1)全体

広報紙「めぐろ区報」を入手する場所を尋ねたところ、「手にしていない」の割合が最も高く40.3%となっている。次いで、「新聞の折り込み（38.2%）」、「図書館、住区センターなどの区の施設（9.7%）」となっている。

図表 184 広報誌「めぐろ区報」の入手場所

(n=1506)



2) 性年齢別

60代以上の男女で「新聞の折り込み」の割合が高くなっている。一方、10～40代の男女では「手にしていない」の割合が高くなっている。

図表 185 広報誌「めぐろ区報」の入手場所（性年齢別）

		新聞の折り込み	駅の広報スタンド	図書館、住区センターなどの区の施設	郵便局、金融機関	スーパーマーケット、コンビニエンスストア
(n=1506)	合計	38.2%	7.0%	9.7%	1.5%	3.2%
(n=596)	男性計	36.6%	6.4%	9.7%	1.3%	3.0%
(n=61)	10・20代男性	18.0%	1.6%	6.6%	0.0%	6.6%
(n=90)	30代男性	13.3%	7.8%	8.9%	0.0%	1.1%
(n=124)	40代男性	22.6%	6.5%	8.9%	0.0%	1.6%
(n=114)	50代男性	33.3%	12.3%	7.0%	1.8%	4.4%
(n=82)	60代男性	56.1%	8.5%	13.4%	4.9%	1.2%
(n=81)	70代男性	61.7%	1.2%	14.8%	2.5%	6.2%
(n=44)	80代以上男性	75.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
(n=867)	女性計	39.0%	7.5%	9.8%	1.7%	3.3%
(n=90)	10・20代女性	14.4%	2.2%	1.1%	0.0%	2.2%
(n=130)	30代女性	9.2%	5.4%	3.8%	0.8%	2.3%
(n=183)	40代女性	25.7%	7.7%	10.4%	0.5%	2.7%
(n=163)	50代女性	42.3%	7.4%	12.3%	1.2%	2.5%
(n=102)	60代女性	54.9%	6.9%	8.8%	2.9%	8.8%
(n=116)	70代女性	66.4%	13.8%	18.1%	6.0%	3.4%
(n=83)	80代以上女性	77.1%	8.4%	12.0%	1.2%	2.4%

		新聞未購読世帯への区の配送サービス	目黒区公式ホームページ	手にしていない	無回答
(n=1506)	合計	4.2%	5.9%	40.3%	0.9%
(n=596)	男性計	4.7%	6.7%	42.8%	0.2%
(n=61)	10・20代男性	3.3%	1.6%	67.2%	0.0%
(n=90)	30代男性	4.4%	1.1%	72.2%	0.0%
(n=124)	40代男性	5.6%	7.3%	55.6%	0.0%
(n=114)	50代男性	6.1%	9.6%	39.5%	0.0%
(n=82)	60代男性	3.7%	9.8%	19.5%	0.0%
(n=81)	70代男性	2.5%	7.4%	18.5%	1.2%
(n=44)	80代以上男性	6.8%	9.1%	9.1%	0.0%
(n=867)	女性計	3.8%	5.4%	39.8%	0.7%
(n=90)	10・20代女性	2.2%	3.3%	75.6%	0.0%
(n=130)	30代女性	3.1%	4.6%	73.1%	0.0%
(n=183)	40代女性	3.3%	6.6%	51.4%	0.5%
(n=163)	50代女性	3.7%	5.5%	35.0%	0.0%
(n=102)	60代女性	2.9%	8.8%	18.6%	2.0%
(n=116)	70代女性	5.2%	6.0%	4.3%	1.7%
(n=83)	80代以上女性	7.2%	1.2%	8.4%	1.2%

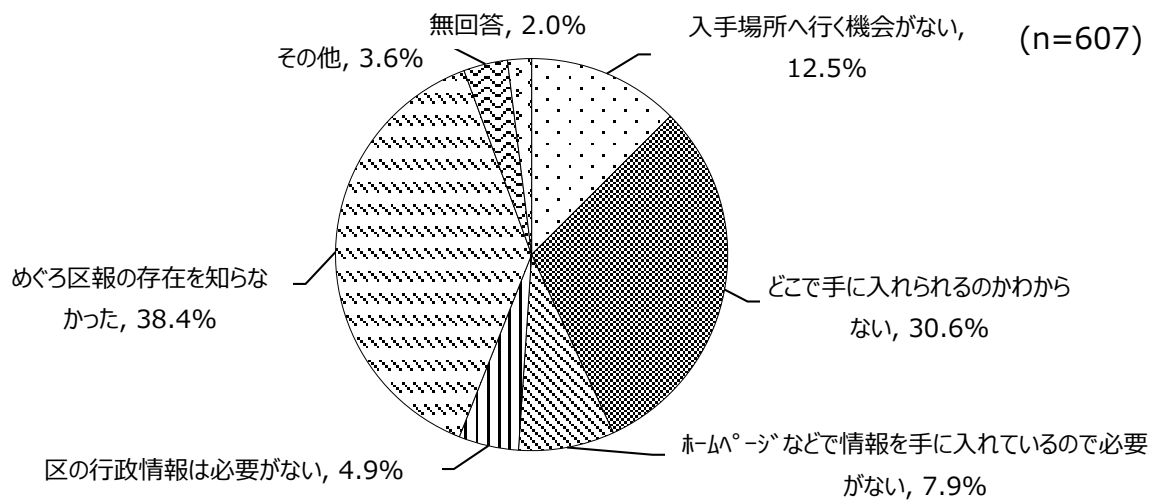
③「めぐろ区報」を入手しない理由

問43-1 あなたが、「めぐろ区報」を手にしていない理由は何ですか。
(あてはまるもの1つに○)

1) 全体

「めぐろ区報」を「手にしていない」と回答した人に理由を尋ねたところ、「めぐろ区報の存在を知らなかった」の割合が最も高く 38.4%となっている。次いで、「どこで手に入れられるのかわからない (30.6%)」、「入手場所へ行く機会がない (12.5%)」となっている。

図表 186 「めぐろ区報」を入手しない理由



2) 性年齢別

30代男性、10～30代女性で「めぐろ区報の存在を知らなかった」の割合が他の性年齢と比較して高く、10・20代女性では、「区の行政情報は必要がない」の割合も高くなっている。

また、60～70代男性、80代以上女性では「どこで手に入れられるのかわからない」の割合が他の性年齢と比較して高く、60代男性では「ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない」の割合も高くなっている。

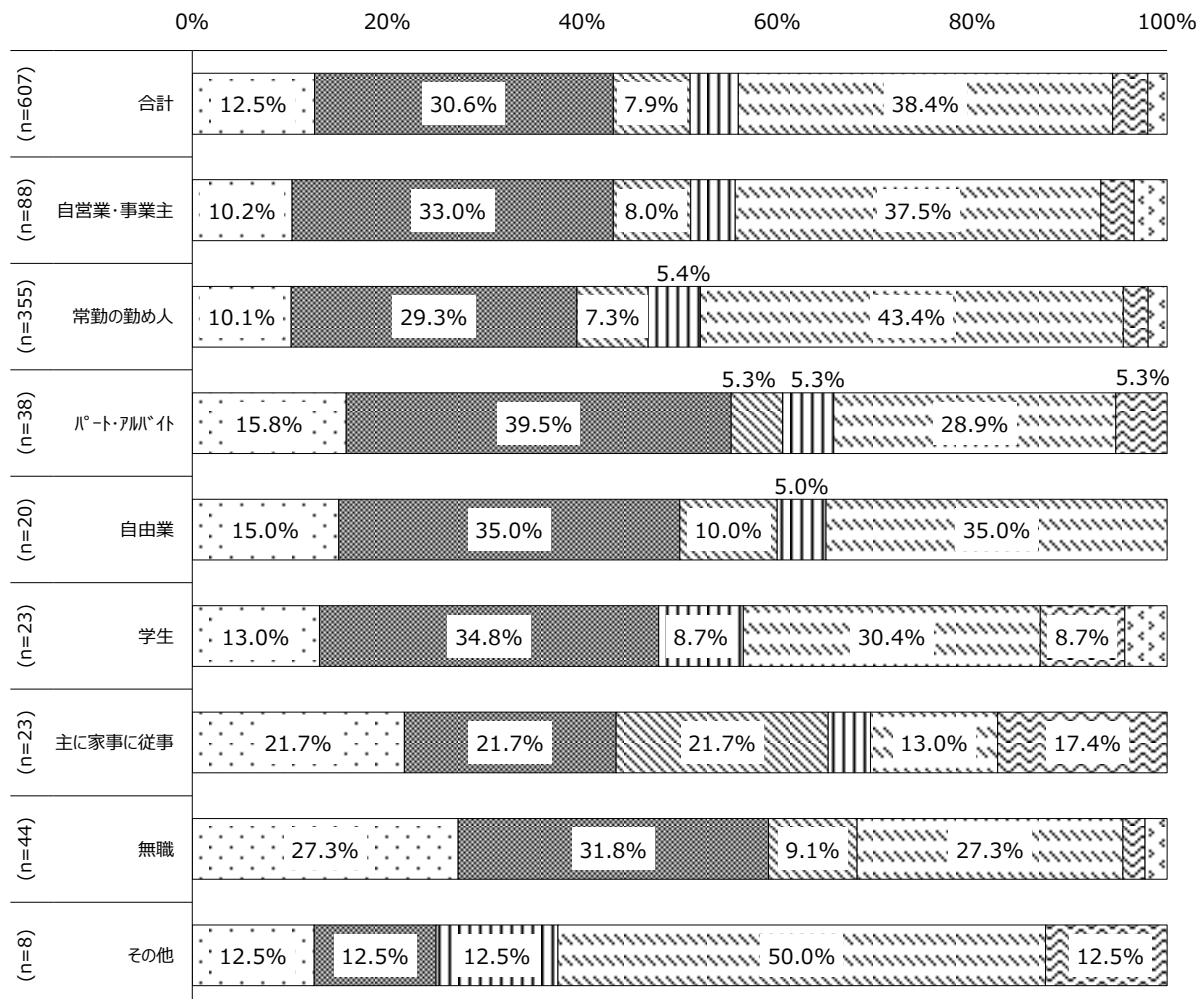
図表 187 「めぐろ区報」を入手しない理由（性年齢別）

		入手場所へ行く機会がない	どこで手に入れられるのかわからない	ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない	区の行政情報は必要がない	めぐろ区報の存在を知らなかった	その他	無回答
(n=607)	合計	12.5%	30.6%	7.9%	4.9%	38.4%	3.6%	2.0%
(n=255)	男性計	12.5%	34.5%	7.5%	4.3%	35.3%	3.5%	2.4%
(n=41)	10・20代男性	4.9%	36.6%	4.9%	7.3%	39.0%	4.9%	2.4%
(n=65)	30代男性	12.3%	26.2%	3.1%	3.1%	49.2%	1.5%	4.6%
(n=69)	40代男性	13.0%	36.2%	10.1%	4.3%	31.9%	2.9%	1.4%
(n=45)	50代男性	13.3%	31.1%	8.9%	4.4%	35.6%	4.4%	2.2%
(n=16)	60代男性	6.3%	56.3%	25.0%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%
(n=15)	70代男性	26.7%	46.7%	0.0%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%
(n=4)	80代以上男性	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
(n=345)	女性計	12.5%	27.5%	8.1%	5.5%	40.9%	3.8%	1.7%
(n=68)	10・20代女性	7.4%	14.7%	2.9%	14.7%	55.9%	2.9%	1.5%
(n=95)	30代女性	5.3%	32.6%	6.3%	2.1%	50.5%	2.1%	1.1%
(n=94)	40代女性	17.0%	30.9%	6.4%	4.3%	36.2%	4.3%	1.1%
(n=57)	50代女性	15.8%	26.3%	19.3%	5.3%	31.6%	0.0%	1.8%
(n=19)	60代女性	26.3%	26.3%	15.8%	0.0%	15.8%	15.8%	0.0%
(n=5)	70代女性	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%
(n=7)	80代以上女性	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%

3) 職業別

「主に家事に従事」で「ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない」の割合が、「無職」で「入手場所へ行く機会がない」の割合が高くなっている。また、「パート・アルバイト」で「どこに手に入れられるのかわからない」の割合がやや高くなっている。

図表 188 「めぐろ区報」を入手しない理由（職業別）



- 入手場所へ行く機会がない
- どこで手に入れられるのかわからない
- ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない
- 区の行政情報は必要がない
- めぐろ区報の存在を知らなかった
- その他
- 無回答

注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

職業	入手場所へ行く機会がない	どこで手に入れられるのかわからない	ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない	区の行政情報は必要がない	めぐろ区報の存在を知らなかった	その他	無回答
(n=607) 合計	12.5%	30.6%	7.9%	4.9%	38.4%	3.6%	2.0%
(n=88) 自営業・事業主	10.2%	33.0%	8.0%	4.5%	37.5%	3.4%	3.4%
(n=355) 常勤の勤め人	10.1%	29.3%	7.3%	5.4%	43.4%	2.5%	2.0%
(n=38) パート・アルバイト	15.8%	39.5%	5.3%	5.3%	28.9%	5.3%	0.0%
(n=20) 自由業	15.0%	35.0%	10.0%	5.0%	35.0%	0.0%	0.0%
(n=23) 学生	13.0%	34.8%	0.0%	8.7%	30.4%	8.7%	4.3%
(n=23) 主に家事に従事	21.7%	21.7%	21.7%	4.3%	13.0%	17.4%	0.0%
(n=44) 無職	27.3%	31.8%	9.1%	0.0%	27.3%	2.3%	2.3%
(n=8) その他	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	50.0%	12.5%	0.0%

④目黒区公式ホームページへの満足度

問44 あなたは、目黒区公式ホームページに満足していますか。

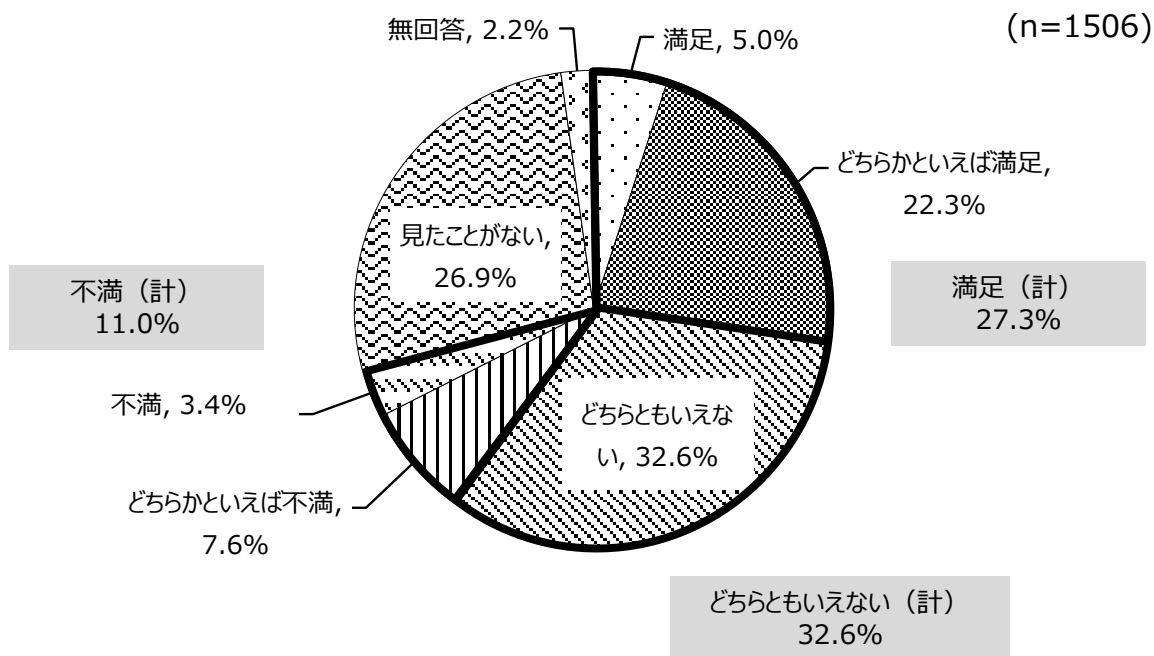
(あてはまるもの1つに○)

1)全体

目黒区ホームページへの満足度を尋ねたところ、「どちらともいえない」の割合が最も高く32.6%となっている。次いで、「見たことがない(26.9%)」、「どちらかといえば満足(22.3%)」となっている。

また、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせて『満足』、「どちらともいえない」を『どちらともいえない』、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせて『不満』とすると、それぞれ27.3%、32.6%、11.0%となり、『どちらともいえない』の割合が高い。

図表 189 目黒区ホームページへの満足度



2) 性年齢別

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合を見ると、50代女性ではやや高くなっている。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満』の割合を見ると、30代の男女でやや高くなっている。

図表 190 目黒区ホームページへの満足度（性年齢別）

		満足	どちらともいえない			不満	見たことがない	無回答
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	見たことがない	無回答
(n=1506)	合計	5.0%	22.3%	32.6%	7.6%	3.4%	26.9%	2.2%
(n=596)	男性計	6.2%	21.8%	34.9%	7.0%	4.5%	24.2%	1.3%
(n=61)	10・20代男性	8.2%	21.3%	18.0%	9.8%	3.3%	39.3%	0.0%
(n=90)	30代男性	4.4%	25.6%	31.1%	8.9%	11.1%	18.9%	0.0%
(n=124)	40代男性	5.6%	25.0%	36.3%	8.1%	5.6%	18.5%	0.8%
(n=114)	50代男性	5.3%	19.3%	50.0%	7.0%	1.8%	16.7%	0.0%
(n=82)	60代男性	7.3%	20.7%	40.2%	8.5%	4.9%	18.3%	0.0%
(n=81)	70代男性	9.9%	16.0%	28.4%	2.5%	2.5%	34.6%	6.2%
(n=44)	80代以上男性	2.3%	25.0%	25.0%	2.3%	0.0%	40.9%	4.5%
(n=867)	女性計	4.0%	23.4%	31.5%	8.3%	2.7%	28.3%	1.8%
(n=90)	10・20代女性	4.4%	17.8%	20.0%	6.7%	3.3%	47.8%	0.0%
(n=130)	30代女性	4.6%	19.2%	30.8%	16.9%	3.8%	23.8%	0.8%
(n=183)	40代女性	4.9%	24.6%	39.9%	8.2%	4.9%	16.9%	0.5%
(n=163)	50代女性	1.2%	30.7%	41.7%	10.4%	2.5%	13.5%	0.0%
(n=102)	60代女性	2.9%	25.5%	34.3%	4.9%	1.0%	30.4%	1.0%
(n=116)	70代女性	2.6%	25.0%	25.9%	4.3%	0.9%	33.6%	7.8%
(n=83)	80代以上女性	9.6%	14.5%	10.8%	2.4%	0.0%	57.8%	4.8%

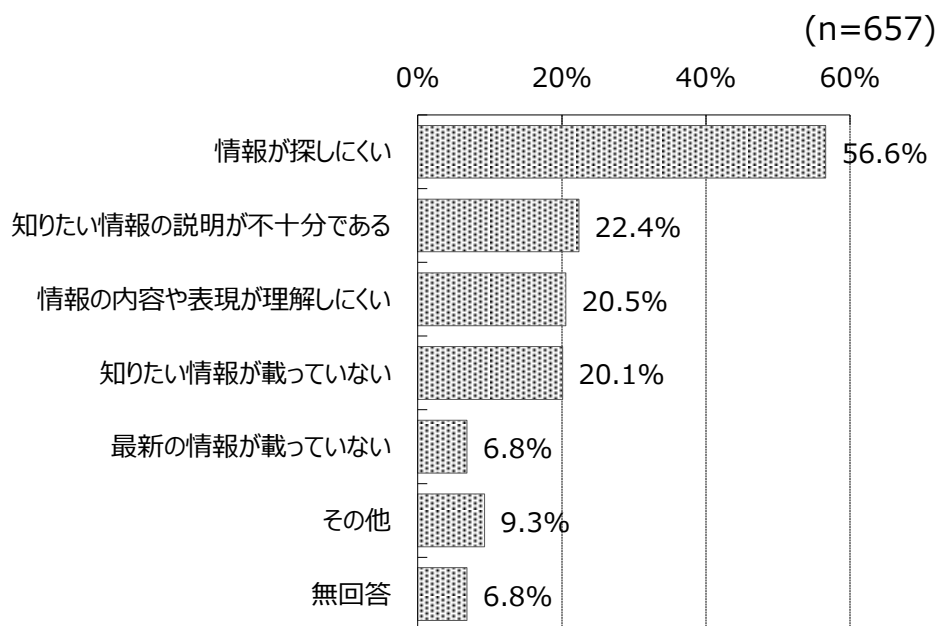
⑤目黒区公式ホームページに満足できない理由

問44-1 目黒区公式ホームページに満足できないのはどのような理由からですか。
(あてはまるものすべてに○)

1) 全体

目黒区ホームページに「不満」「どちらかと言えば不満」「どちらともいえない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「情報が探しにくい」の割合が最も高く56.6%となっている。次いで、「知りたい情報の説明が不十分である(22.4%)」、「情報の内容や表現が理解しにくい(20.5%)」となっている。

図表 191 目黒区ホームページに満足できない理由



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 性年齢別

30代男女では「情報が探しにくい」、40代の男性では「情報の内容や表現が理解しにくい」の割合が他の性年齢と比較して高くなっている。

また、60代及び80代以上の女性では、「最新の情報が載っていない」の割合がやや高くなっている。

図表 192 目黒区ホームページに満足できない理由（性年齢別）

		情報が探しにくい	知りたい情報の説明が不十分である	知りたい情報が載っていない	情報の内容や表現が理解しにくい	最新の情報が載っていない	その他	無回答
(n=657)	合計	56.6%	22.4%	20.1%	20.5%	6.8%	9.3%	6.8%
(n=277)	男性計	57.0%	22.0%	22.7%	21.7%	7.9%	7.6%	5.1%
(n=19)	10・20代男性	57.9%	15.8%	21.1%	21.1%	10.5%	5.3%	0.0%
(n=46)	30代男性	67.4%	28.3%	26.1%	26.1%	10.9%	10.9%	2.2%
(n=62)	40代男性	56.5%	22.6%	25.8%	30.6%	6.5%	8.1%	1.6%
(n=67)	50代男性	56.7%	20.9%	25.4%	19.4%	6.0%	9.0%	6.0%
(n=44)	60代男性	65.9%	18.2%	13.6%	13.6%	9.1%	4.5%	4.5%
(n=27)	70代男性	44.4%	18.5%	11.1%	18.5%	7.4%	0.0%	18.5%
(n=12)	80代以上男性	16.7%	33.3%	41.7%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%
(n=368)	女性計	57.3%	23.1%	18.8%	20.1%	6.3%	9.8%	7.6%
(n=27)	10・20代女性	59.3%	14.8%	29.6%	22.2%	7.4%	11.1%	0.0%
(n=67)	30代女性	70.1%	14.9%	10.4%	29.9%	4.5%	10.4%	1.5%
(n=97)	40代女性	61.9%	28.9%	17.5%	22.7%	3.1%	8.2%	5.2%
(n=89)	50代女性	58.4%	25.8%	20.2%	14.6%	5.6%	12.4%	4.5%
(n=41)	60代女性	43.9%	26.8%	22.0%	14.6%	12.2%	2.4%	12.2%
(n=36)	70代女性	33.3%	11.1%	13.9%	11.1%	8.3%	13.9%	36.1%
(n=11)	80代以上女性	54.5%	45.5%	45.5%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%

⑥目黒区公式ホームページの利便性向上に必要なこと

問44-2 目黒区公式ホームページの使い勝手をよくするために必要だと思うことがありましたらご記入ください。

1)全体

目黒区ホームページの利便性向上のために必要なことを尋ねた自由回答では、下記のような回答が得られた。

図表 193 目黒区ホームページ利便性向上のために必要なこと（一部抜粋、編集）

記述式の回答に123名から142件の意見が寄せられた。

<視認性について>【41件】

- ・ ホームページのデザインが古く、アクセスしたいと思わない
- ・ スマートフォンで閲覧した際にもっと見やすくしてほしい
- ・ デザインが地味である
- ・ 旗の色と合わせているのだろうが、紫ばかりで単調すぎるので目を引きにくい
- ・ サイトマップや見出し、検索（ページ内）をもっと分かりやすくしてほしい
- ・ 文字で説明より、イラストや図を入れるとわかりやすくなるのではないか
- ・ この世論調査もホームページのお知らせのポップが見つからないので、QRコードから入った。スマホが小さく読みづらいので、ホームページから入力したかった

<検索性について>【31件】

- ・ ページの深くまで入り込まないと、目的の情報にたどり着けない
- ・ キーワード検索をもっと充実させてほしい
- ・ 情報が全て横並びなので、時期や緊急度に応じて、コロナ情報、保育園情報など、今知りたい情報がもう少し見えやすいと良い
- ・ 子育て世代へのサポート／一人暮らし／経営者など目的別にわかる内容にする
- ・ 部局縦割りのサイト構成になっているように思い、わかりにくい
- ・ 関連情報の一元化が必要である
- ・ 住区センターの予約の際に、料金、部屋の内覧画像、設備などの情報が一つにまとまっておらず、予約しにくかった
- ・ コロナ対応や保育園の情報など、時期によってよく見るものをトップページにリンクを貼ってもらえると嬉しい

<分かりやすさについて>【7件】

- ・ 内容や説明文も専門的な言葉や難しい行政的表現が多く見られ理解が難しい場合があり、結局窓口へ行く事になり窓口業務の負担が減らないのではないか
- ・ 文字情報が多い
- ・ 役所独特の言葉なのか漢字の羅列が多く、分かりにくい表現が多い

<情報のアップデートについて> 【10件】

- ・ 目黒川の増水などの災害情報、又は、火災、事故のような情報をリアルタイムで載せてほしい
- ・ 何年も前から更新されていないページがある
- ・ 区のジムの利用時間がコロナで変わったのを書いて欲しい
- ・ 関連施設の情報共有、新しい情報の速い伝達

<情報の充実について> 【9件】

- ・ 区内のスポーツ施設への行き方、マップのわかりやすい表示を求める
- ・ バス便についても詳しく表示してほしい
- ・ 情報が知りたくて、ホームページにアクセスしても詳しいことまで書いてなくて、結局電話したりなど時間の無駄になってしまう
- ・ もっとよくある質問が充実していると良い

<利便性・使いやすさについて> 【15件】

- ・ 最終的な問い合わせ先を電話だけでなくチャット窓口も併設してほしい
- ・ 目黒区民のためのポータルアプリの開発をしてほしい
- ・ 自分の住んでいる住所に対するダイレクトな情報取得ができるようにしてほしい
(ハザードマップについて、目黒区全体のPDFでなく、郵便番号を入力するとピンポイントに情報が取得できる機能があるとよい)
- ・ マイナンバーカード発行時に待ち人数がWEBページで確認できたのは大変便利だった

<その他> 【30件】

- ・ ウェブサイトがあるとは知らなかった（英語での回答）
- ・ すぐにサーバーが落ちるため、必要なときに避難情報が見られない
- ・ 特に使いにくいと思ったことはなく、不便はない

(12) 自転車の安全利用について

- 自転車を利用していない人が52.7%であった。
- 利用者のうち、自転車が道路交通法で軽車両であることを知っているのは38.8%であった。
- 何らかの保険に加入している人は59.9%であった。一方、乗車時にヘルメットを着用している人は8.5%（着用しないときがある人も含む）にとどまった。

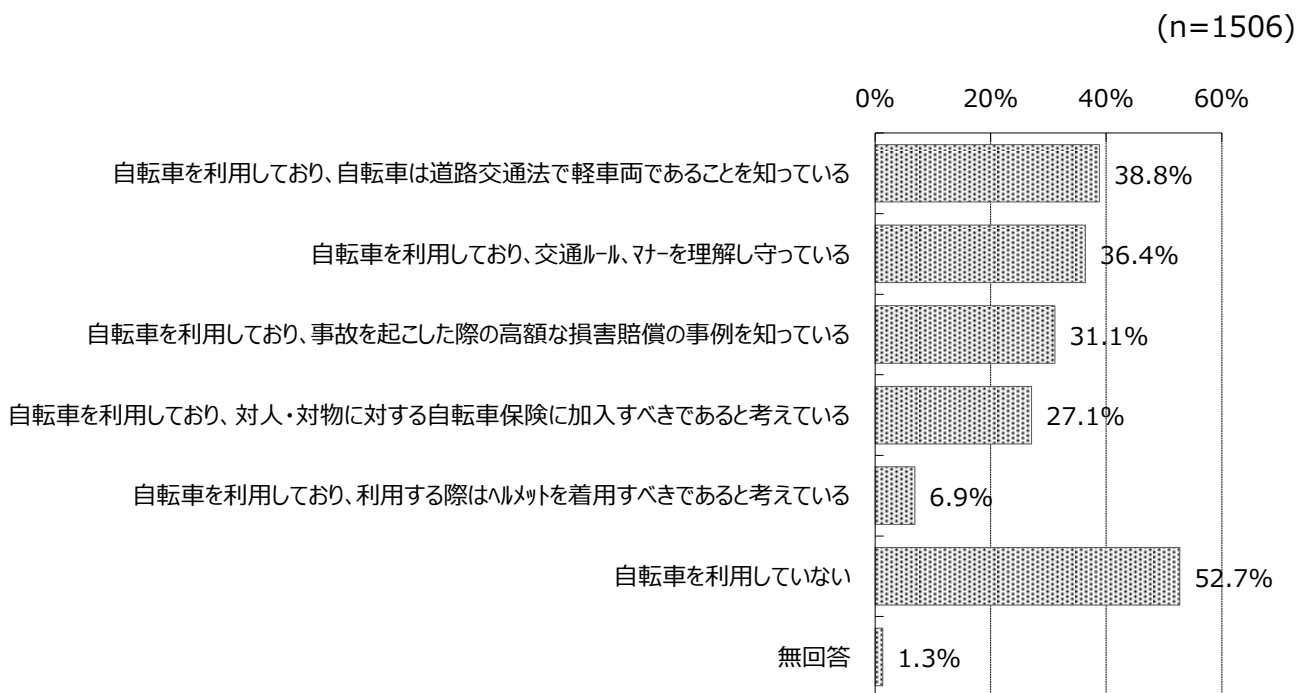
①自転車の安全利用

問45 あなたは自転車を安全に利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

1) 全体

自転車を安全に利用しているか尋ねたところ、「自転車を利用していない」という割合が最も高く52.7%となっている。次いで、「自転車を利用しており、自転車は道路交通法で軽車両であることを知っている（38.8%）」、「自転車を利用しており、交通ルール、マナーを理解し守っている（36.4%）」となっている。

図表 194 自転車の安全利用



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2)性年齢別

年代が上がるほど、自転車を利用していない割合が高い。また、男女で比較すると、相対的に女性の方が、自転車を利用していない割合が高い。

そのほかは概ね同様の傾向だが、相対的に40代で割合の高い項目が多く、自転車の安全利用についての意識が高いことが伺える。

図表 195 自転車の安全利用（性年齢別）

		利用しており、自転車は軽車両であることを知っている	利用しており、交通ルール、マナーを理解し守っている	利用しており、事故の高額な損害賠償の事例を知っている	利用しており、自転車保険に加入すべきと考えている	利用しており、ヘルメットを着用すべきと考えている	利用していない	無回答
(n=1506)	合計	38.8%	36.4%	31.1%	27.1%	6.9%	52.7%	1.3%
(n=596)	男性計	49.3%	46.0%	38.8%	33.4%	9.2%	42.8%	0.5%
(n=61)	10・20代男性	45.9%	52.5%	32.8%	21.3%	4.9%	37.7%	0.0%
(n=90)	30代男性	51.1%	43.3%	33.3%	30.0%	8.9%	41.1%	0.0%
(n=124)	40代男性	62.1%	58.9%	53.2%	46.8%	16.1%	26.6%	0.8%
(n=114)	50代男性	50.0%	45.6%	43.0%	36.8%	9.6%	43.9%	0.0%
(n=82)	60代男性	48.8%	43.9%	40.2%	37.8%	8.5%	50.0%	0.0%
(n=81)	70代男性	39.5%	32.1%	25.9%	21.0%	3.7%	54.3%	2.5%
(n=44)	80代以上男性	31.8%	36.4%	27.3%	25.0%	6.8%	61.4%	0.0%
(n=867)	女性計	32.1%	30.2%	26.2%	23.1%	5.7%	60.0%	1.2%
(n=90)	10・20代女性	32.2%	25.6%	14.4%	12.2%	1.1%	62.2%	0.0%
(n=130)	30代女性	36.9%	26.9%	24.6%	22.3%	10.0%	56.2%	0.8%
(n=183)	40代女性	42.6%	41.0%	36.1%	35.5%	9.8%	48.6%	0.5%
(n=163)	50代女性	33.1%	36.8%	33.7%	24.5%	6.1%	57.7%	0.0%
(n=102)	60代女性	33.3%	29.4%	27.5%	25.5%	3.9%	59.8%	2.0%
(n=116)	70代女性	26.7%	28.4%	25.0%	21.6%	1.7%	64.7%	1.7%
(n=83)	80代以上女性	4.8%	7.2%	4.8%	4.8%	1.2%	86.7%	4.8%

②自転車保険への加入状況

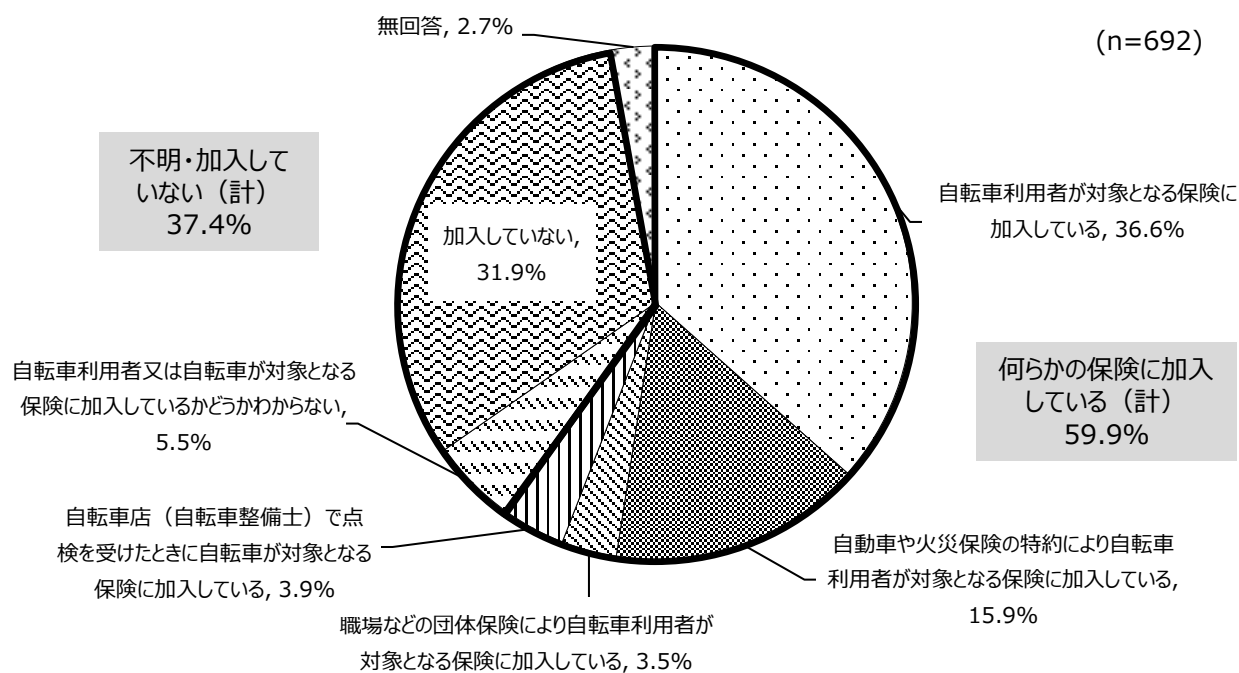
問45-1 あなたは自転車保険に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

1)全体

「自転車を利用していない」と回答した人以外に、自転車保険への加入状況を尋ねたところ、「自転車利用者が対象となる保険に加入している」の割合が最も高く36.6%となっている。次いで、「加入していない(31.9%)」、「自動車や火災保険の特約により自転車利用者が対象となる保険に加入している(15.9%)」となっている。

「自転車利用者が対象となる保険に加入している」、「自動車や火災保険の特約により自転車利用者が対象となる保険に加入している」、「職場などの団体保険により自転車利用者が対象となる保険に加入している」、「自転車店(自転車整備士)で点検を受けたときに自転車が対象となる保険に加入している」を合わせて『何らかの保険に加入している』、「自転車利用者又は自転車が対象となる保険に加入しているかどうか分からない」、「加入していない」を合わせて『不明・加入していない』とすると、『何らかの保険に加入している』の割合が59.9%、『加入していない、わからない』が37.4%となった。

図表 196 自転車保険への加入状況



2) 性年齢別

男性では相対的に 30～40 代と 60 代で何らかの保険に加入している割合が高く、女性では相対的に 60 代、80 代以上で加入している割合が高い。

図表 197 自転車保険への加入状況（性年齢別）

		何らかの保険に加入している				不明・加入していない		
		保険に加入している	自動車等の特約により保険に加入している	職場などの団体保険により保険に加入している	自転車店で点検を受けたときに保険に加入している	加入しているかどうかわからない	加入していない	無回答
(n=692)	合計	36.6%	15.9%	3.5%	3.9%	5.5%	31.9%	2.7%
(n=338)	男性計	34.0%	18.9%	3.6%	4.7%	6.2%	29.9%	2.7%
(n=38)	10・20代男性	34.2%	2.6%	10.5%	5.3%	10.5%	36.8%	0.0%
(n=53)	30代男性	47.2%	11.3%	1.9%	5.7%	7.5%	26.4%	0.0%
(n=90)	40代男性	34.4%	25.6%	4.4%	4.4%	7.8%	23.3%	0.0%
(n=64)	50代男性	31.3%	23.4%	3.1%	3.1%	4.7%	32.8%	1.6%
(n=41)	60代男性	29.3%	26.8%	2.4%	7.3%	0.0%	29.3%	4.9%
(n=35)	70代男性	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	5.7%	42.9%	8.6%
(n=17)	80代以上男性	23.5%	17.6%	0.0%	11.8%	5.9%	23.5%	17.6%
(n=337)	女性計	38.6%	13.1%	3.6%	3.3%	5.0%	33.8%	2.7%
(n=34)	10・20代女性	38.2%	8.8%	2.9%	0.0%	8.8%	41.2%	0.0%
(n=56)	30代女性	39.3%	8.9%	7.1%	3.6%	5.4%	32.1%	3.6%
(n=93)	40代女性	39.8%	16.1%	3.2%	4.3%	3.2%	30.1%	3.2%
(n=69)	50代女性	30.4%	18.8%	4.3%	4.3%	5.8%	34.8%	1.4%
(n=39)	60代女性	48.7%	10.3%	2.6%	5.1%	5.1%	28.2%	0.0%
(n=39)	70代女性	35.9%	7.7%	0.0%	0.0%	5.1%	43.6%	7.7%
(n=7)	80代以上女性	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%

③自転車利用時のヘルメット着用

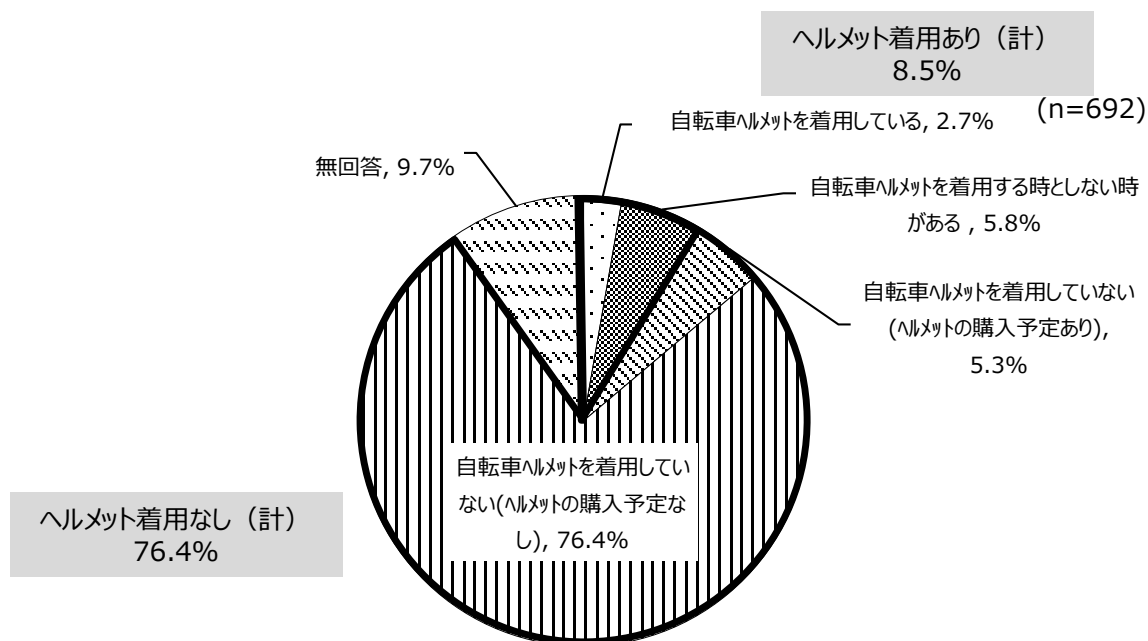
問45-2 あなたは自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。
(あてはまるもの1つに○)

1)全体

自転車を利用する際にヘルメットを着用しているか尋ねたところ、「自転車ヘルメットを着用していない(ヘルメットの購入予定なし)」の割合が最も高く76.4%となっている。次いで、「自転車ヘルメットを着用する時としない時がある(5.8%)」となっている。

また、「自転車ヘルメットを着用している」と「自転車ヘルメットを着用する時としない時がある」を合わせて『ヘルメット着用あり』、「自転車ヘルメットを着用していない(ヘルメットの購入予定あり)」と「自転車ヘルメットを着用していない(ヘルメットの購入予定なし)」を合わせて『ヘルメット着用なし』とすると、『ヘルメット着用あり』が8.5%、『ヘルメット着用なし』が76.4%となり、『ヘルメット着用予定なし』の割合が高い。

図表 198 自転車利用時のヘルメット着用



2)性年齢別

「着用している」と「着用する時としない時がある」を合わせた『ヘルメット着用あり』の割合を見ると、男性の30代や50代で高くなっている。

図表 199 自転車利用時のヘルメット着用（性年齢別）

		ヘルメット着用あり		ヘルメット着用なし		
		着用している	着用する時としない時がある	着用していない(購入予定あり)	着用していない(購入予定なし)	無回答
(n=692)	合計	2.7%	5.8%	5.3%	76.4%	9.7%
(n=338)	男性計	4.1%	8.3%	5.9%	74.6%	7.1%
(n=38)	10・20代男性	0.0%	7.9%	10.5%	81.6%	0.0%
(n=53)	30代男性	13.2%	7.5%	5.7%	67.9%	5.7%
(n=90)	40代男性	1.1%	8.9%	2.2%	85.6%	2.2%
(n=64)	50代男性	4.7%	15.6%	1.6%	65.6%	12.5%
(n=41)	60代男性	4.9%	4.9%	12.2%	68.3%	9.8%
(n=35)	70代男性	2.9%	2.9%	8.6%	68.6%	17.1%
(n=17)	80代以上男性	0.0%	0.0%	11.8%	82.4%	5.9%
(n=337)	女性計	1.2%	3.3%	4.2%	80.4%	11.0%
(n=34)	10・20代女性	0.0%	0.0%	0.0%	94.1%	5.9%
(n=56)	30代女性	1.8%	7.1%	0.0%	85.7%	5.4%
(n=93)	40代女性	1.1%	3.2%	6.5%	77.4%	11.8%
(n=69)	50代女性	1.4%	2.9%	5.8%	79.7%	10.1%
(n=39)	60代女性	0.0%	2.6%	5.1%	82.1%	10.3%
(n=39)	70代女性	2.6%	0.0%	5.1%	69.2%	23.1%
(n=7)	80代以上女性	0.0%	14.3%	0.0%	71.4%	14.3%

(13) プラスチック資源の分別

- プラスチック製の容器や包装は、『資源』として分別して出している」が多数で71.5%であった。
- プラ容器等を資源として分別しやすくするためには、「プラ容器等を分別するときの方法をより分かりやすく周知する」ことを求める割合が多く、61.4%であった。
- また、現在「燃やすごみ」として回収している「容器以外のプラ製品」について、どのような回収方法が望ましいと思うか尋ねたところ、『資源として回収すべき』の割合が52.2%であった。

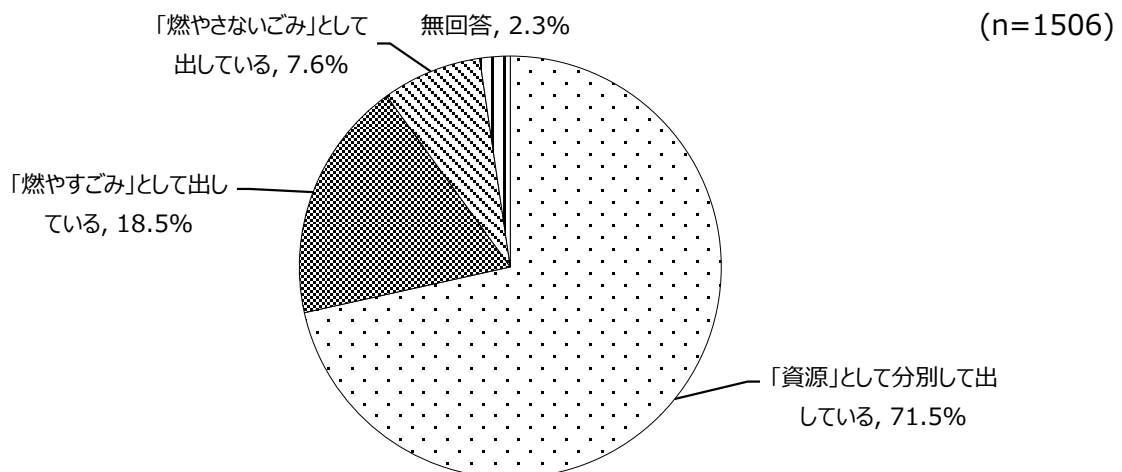
① プラ容器等の処分方法

問46 あなたは、ごみを出すとき、プラスチック製の「容器」や「包装」（プラマークのあるもの。以下「プラ容器等」という）をどのように処分していますか。（あてはまるもの1つに○）

1) 全体

ごみを出すとき、プラスチック製の容器や包装（プラマークのあるもの、以降「プラ容器等」という）をどのように処分しているか尋ねたところ、『資源』として分別して出している」の割合が最も高く71.5%となっている。次いで、『燃やすごみ』として出している（18.5%）、『燃やさないごみ』として出している（7.6%）」となっている。

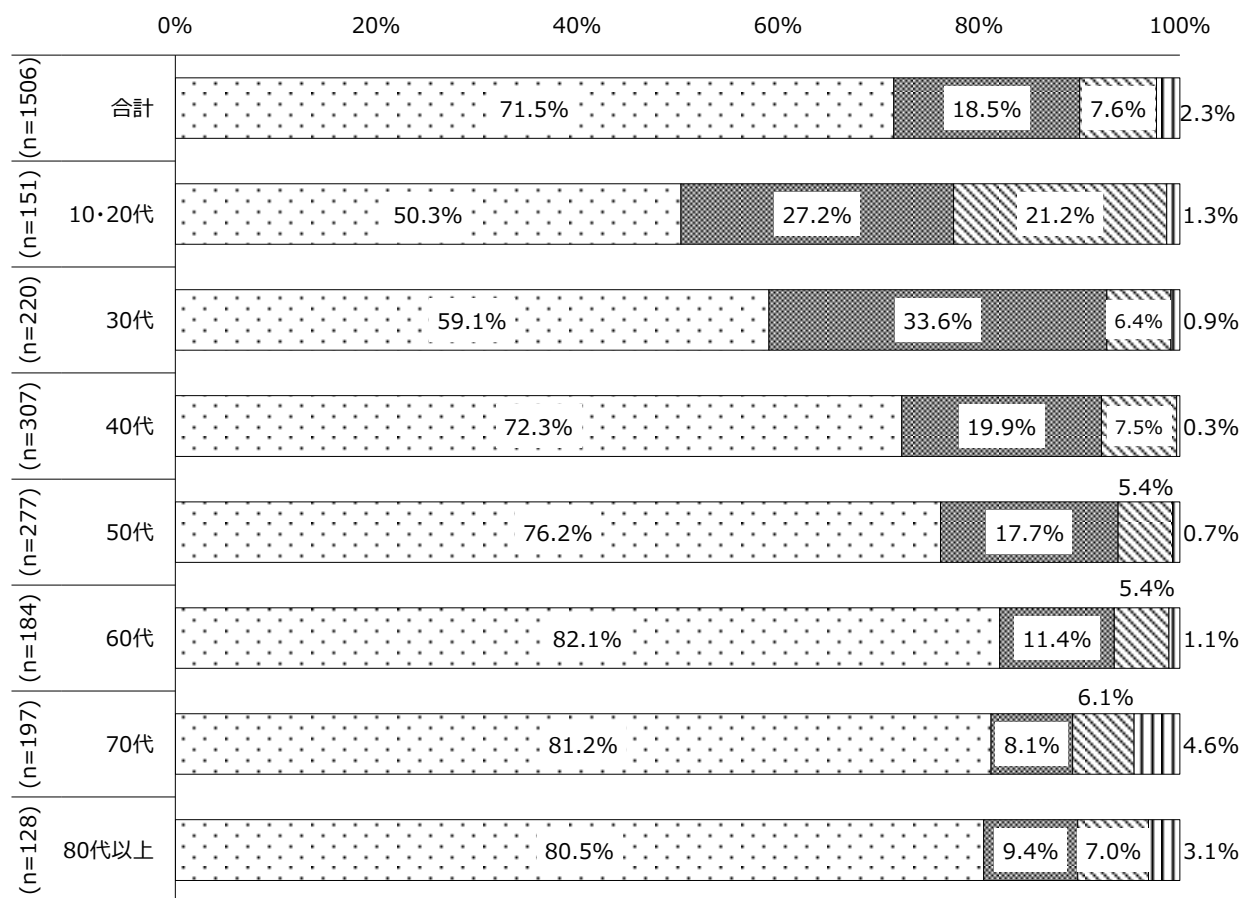
図表 200 プラ容器等の処分方法



2) 年齢別

年齢が上がるほど、「『資源』として分別して出している」割合が高い傾向がある。

図表 201 プラ容器等の処分方法（年齢別）



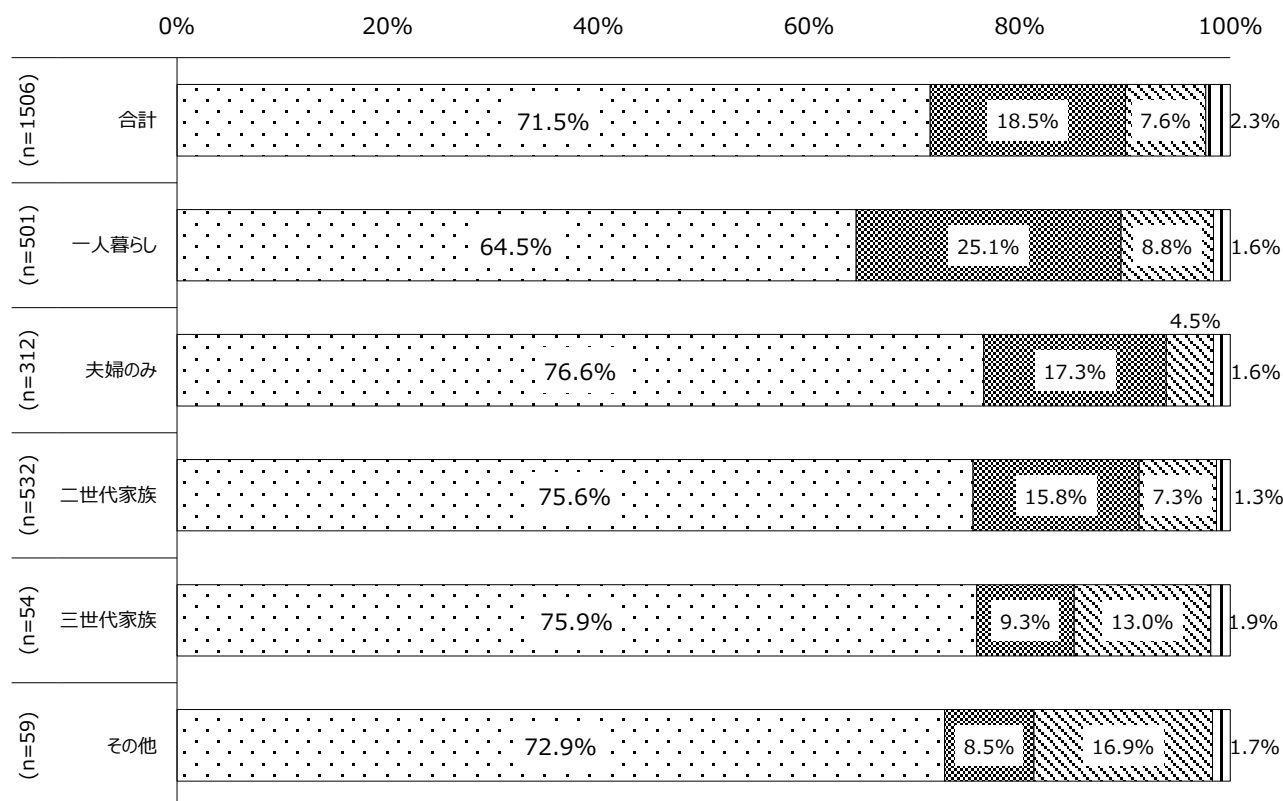
□「資源」として分別して出している ■「燃やすごみ」として出している ▨「燃やさないごみ」として出している ▩無回答

		「資源」として分別して出している	「燃やすごみ」として出している	「燃やさないごみ」として出している	無回答
(n=1506)	合計	71.5%	18.5%	7.6%	2.3%
(n=151)	10・20代	50.3%	27.2%	21.2%	1.3%
(n=220)	30代	59.1%	33.6%	6.4%	0.9%
(n=307)	40代	72.3%	19.9%	7.5%	0.3%
(n=277)	50代	76.2%	17.7%	5.4%	0.7%
(n=184)	60代	82.1%	11.4%	5.4%	1.1%
(n=197)	70代	81.2%	8.1%	6.1%	4.6%
(n=128)	80代以上	80.5%	9.4%	7.0%	3.1%

3) 世帯構成別

「一人暮らし」では「『燃やすごみ』として出している」割合がやや高い。

図表 202 プラ容器等の処分方法（世帯構成別）



□「資源」として分別して出している ▨「燃やすごみ」として出している ▩「燃やさないごみ」として出している □無回答

		「資源」として分別して出している	「燃やすごみ」として出している	「燃やさないごみ」として出している	無回答
(n=1506)	合計	71.5%	18.5%	7.6%	2.3%
(n=501)	一人暮らし	64.5%	25.1%	8.8%	1.6%
(n=312)	夫婦のみ	76.6%	17.3%	4.5%	1.6%
(n=532)	二世世代家族	75.6%	15.8%	7.3%	1.3%
(n=54)	三世世代家族	75.9%	9.3%	13.0%	1.9%
(n=59)	その他	72.9%	8.5%	16.9%	1.7%

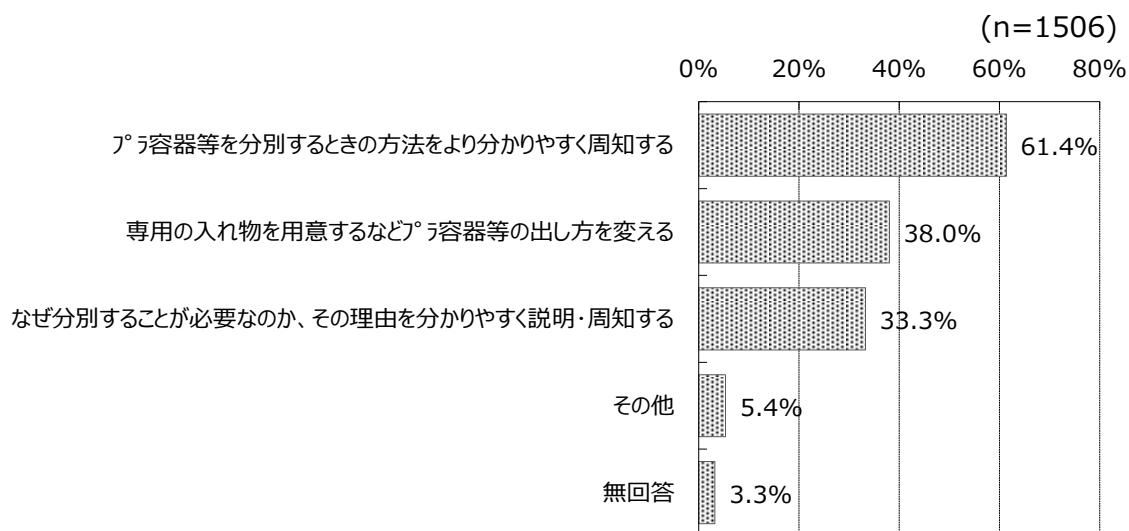
②プラ容器等を資源として分別しやすくする方法

問47 あなたは、プラ容器等について、どのようにしたら資源として分別しやすくなると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1)全体

プラ容器等を資源として分別しやすくするための方法について尋ねたところ、「プラ容器等を分別するときの方法をより分かりやすく周知する」の割合が最も高く61.4%となっている。次いで、「専用の入れ物を用意するなどプラ容器等の出し方を変える（38.0%）」、「なぜ分別することが必要なのか、その理由を分かりやすく説明・周知する（33.3%）」となっている。

図表 203 プラ容器等を資源として分別しやすくする方法

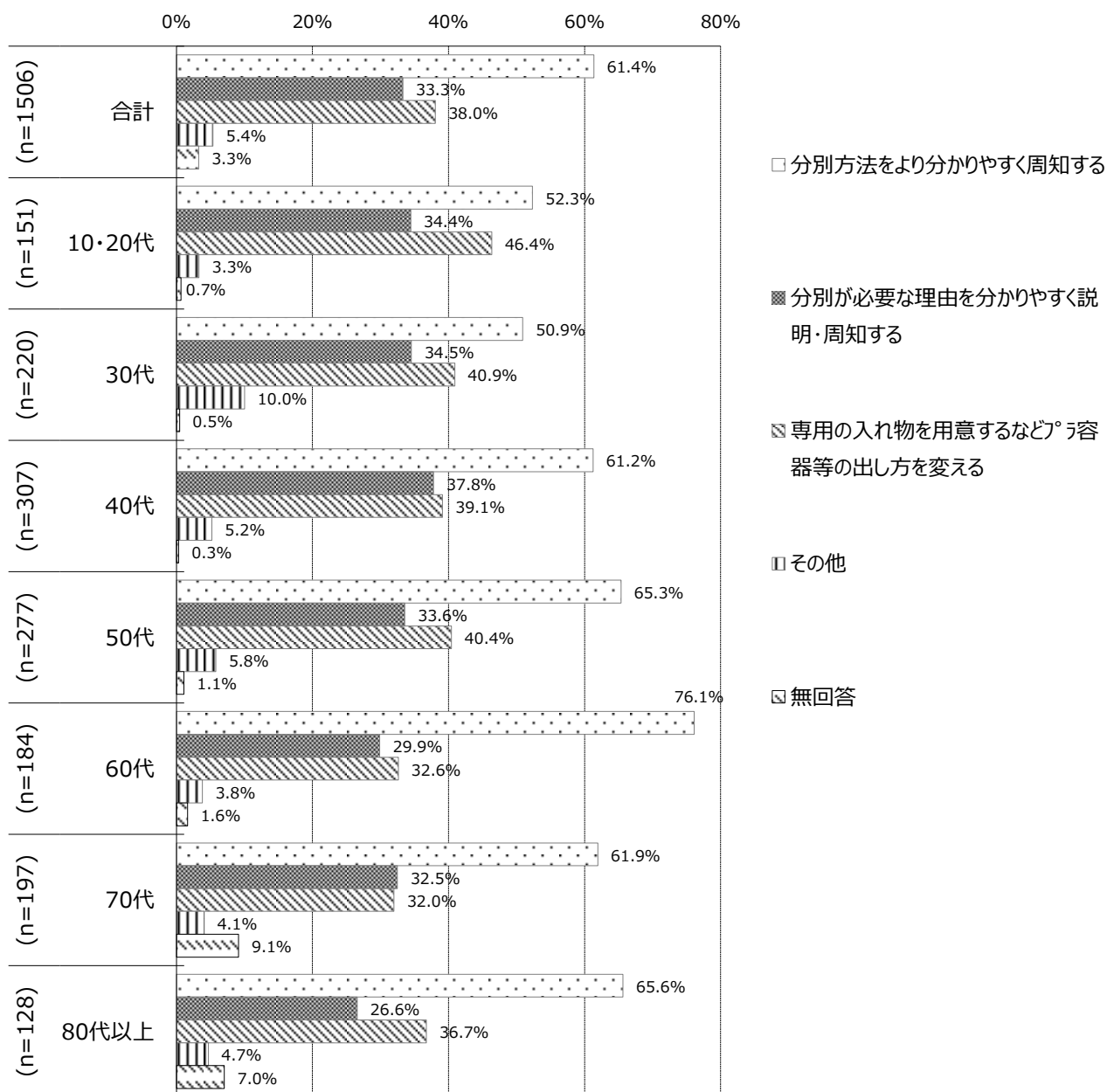


注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 年齢別

10・20代は相対的に「専用の入れ物を用意するなどプラ容器等の出し方を変える」の割合が高い。また30～60代では、年齢が上がるほど「分別方法をより分かりやすく周知する」の割合が高くなっている。

図表 204 プラ容器等を資源として分別しやすくする方法（年齢別）



③プラ容器等以外のプラスチック製品の望ましい回収方法

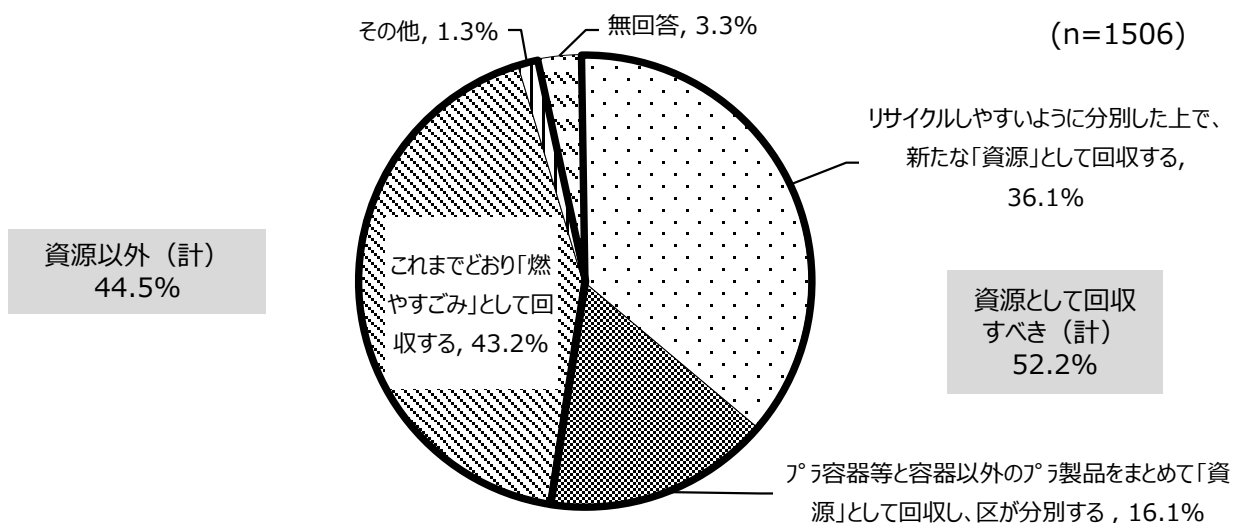
問48 区では、プラ容器等以外のプラスチック製品（文房具、日用品、おもちゃなど。以下「容器以外のプラ製品」という）を「燃やすごみ」として回収していますが、あなたはどのような回収方法が望ましいと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

1)全体

現在は「燃やすごみ」として回収している「容器以外のプラ製品」について、どのような回収方法が望ましいと思うか尋ねたところ、「これまでどおり『燃やすごみ』として回収する」の割合が最も高く43.2%となっている。次いで、「リサイクルしやすいように分別した上で、新たな『資源』として回収する(36.1%)」、「プラ容器等と容器以外のプラ製品をまとめて『資源』として回収し、区が分別する(16.1%)」となっている。

また、「リサイクルしやすいように分別した上で、新たな『資源』として回収する」と「プラ容器等と容器以外のプラ製品をまとめて『資源』として回収し、区が分別する」を合わせて『資源として回収すべき』とし、「これまでどおり『燃やすごみ』として回収する」と「その他」を合わせて『資源以外』とすると、『資源として回収すべき』が52.2%であり、半分以上を占めた。

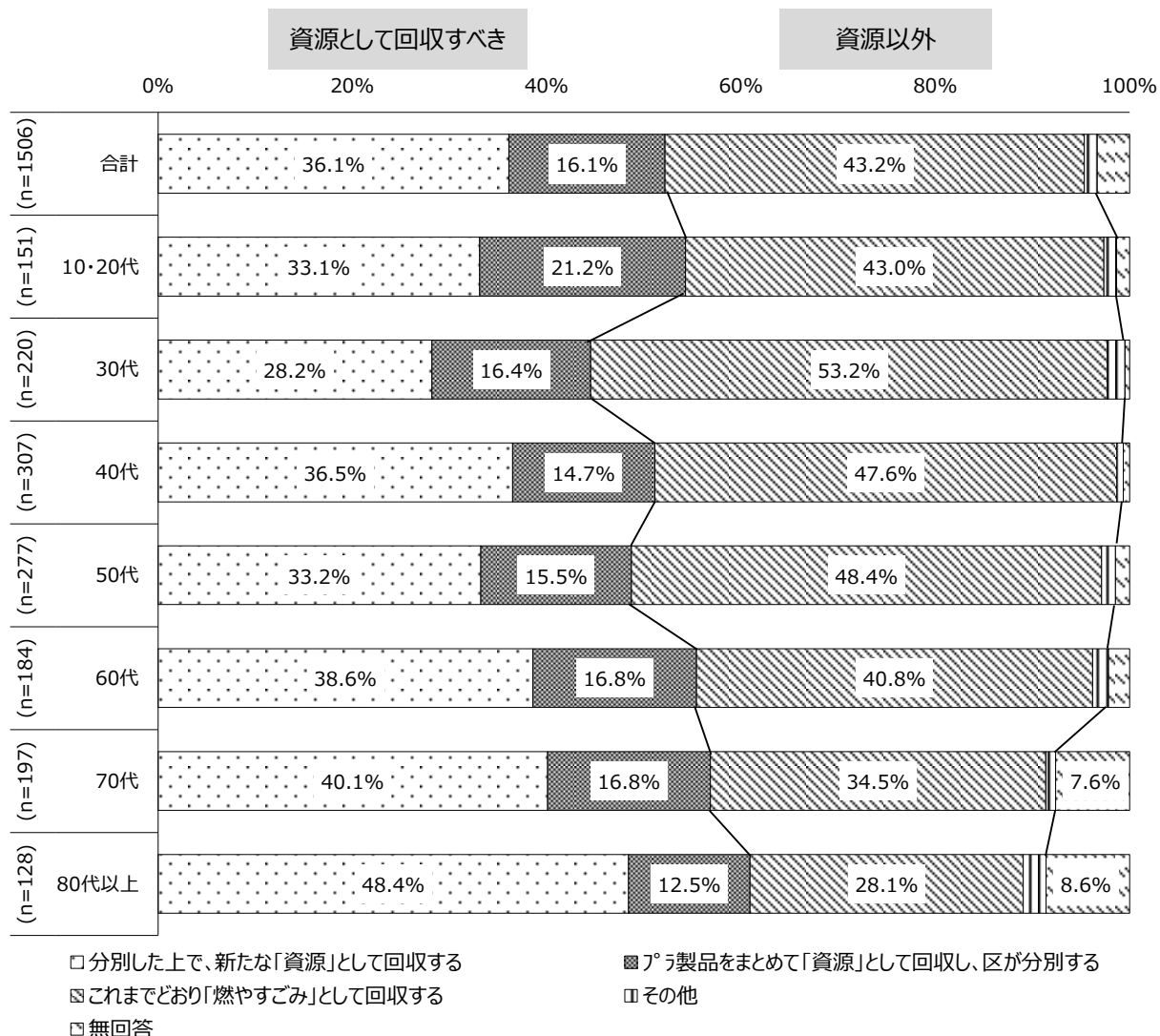
図表 205 容器以外のプラ製品の回収方法



2) 年齢別

60代以上の『高年層』で「分別した上で、新たな『資源』として回収する」と回答した割合が高い。

図表 206 容器以外のプラ製品の回収方法（年齢別）



注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

	分別した上で、新たな「資源」として回収する	プラスチック製品をまとめて「資源」として回収し、区が分別する	これまでどおり「燃やすごみ」として回収する	その他	無回答
(n=1506) 合計	36.1%	16.1%	43.2%	1.3%	3.3%
(n=151) 10・20代	33.1%	21.2%	43.0%	1.3%	1.3%
(n=220) 30代	28.2%	16.4%	53.2%	1.8%	0.5%
(n=307) 40代	36.5%	14.7%	47.6%	0.7%	0.7%
(n=277) 50代	33.2%	15.5%	48.4%	1.4%	1.4%
(n=184) 60代	38.6%	16.8%	40.8%	1.6%	2.2%
(n=197) 70代	40.1%	16.8%	34.5%	1.0%	7.6%
(n=128) 80代以上	48.4%	12.5%	28.1%	2.3%	8.6%

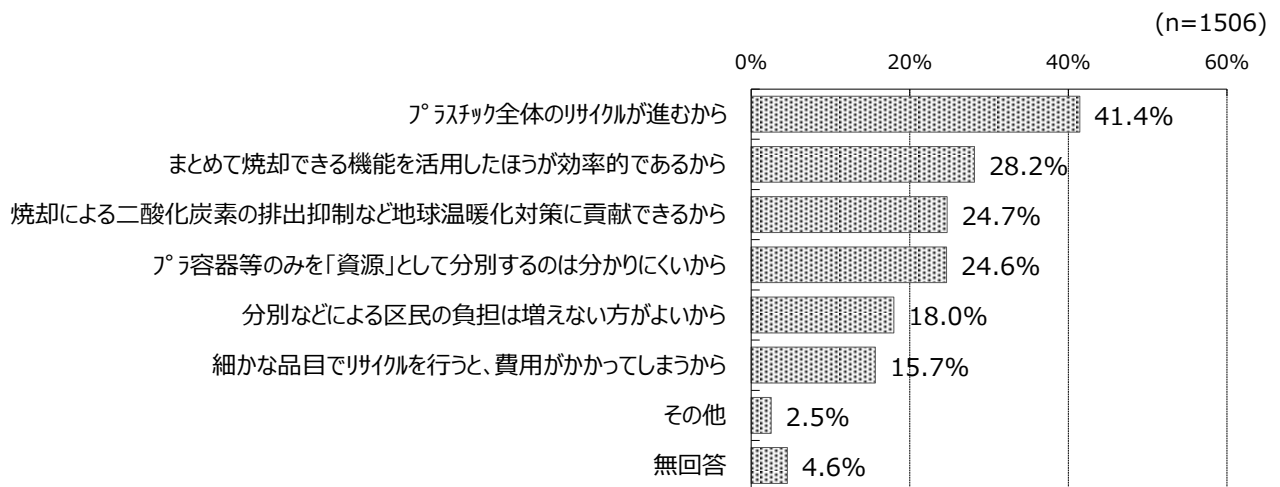
④ 問48のように考えた理由

問48-1 問48の回答について、そのようにお考えの理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1)全体

問48のように考えた理由を尋ねたところ「プラスチック全体のリサイクルが進むから」の割合が最も高く41.4%となっている。次いで、「まとめて焼却できる機能を活用したほうが効率的であるから(28.2%)」、「焼却による二酸化炭素の排出抑制など地球温暖化対策に貢献できるから(24.7%)」となっている。

図表 207 問48のように考えた理由



注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

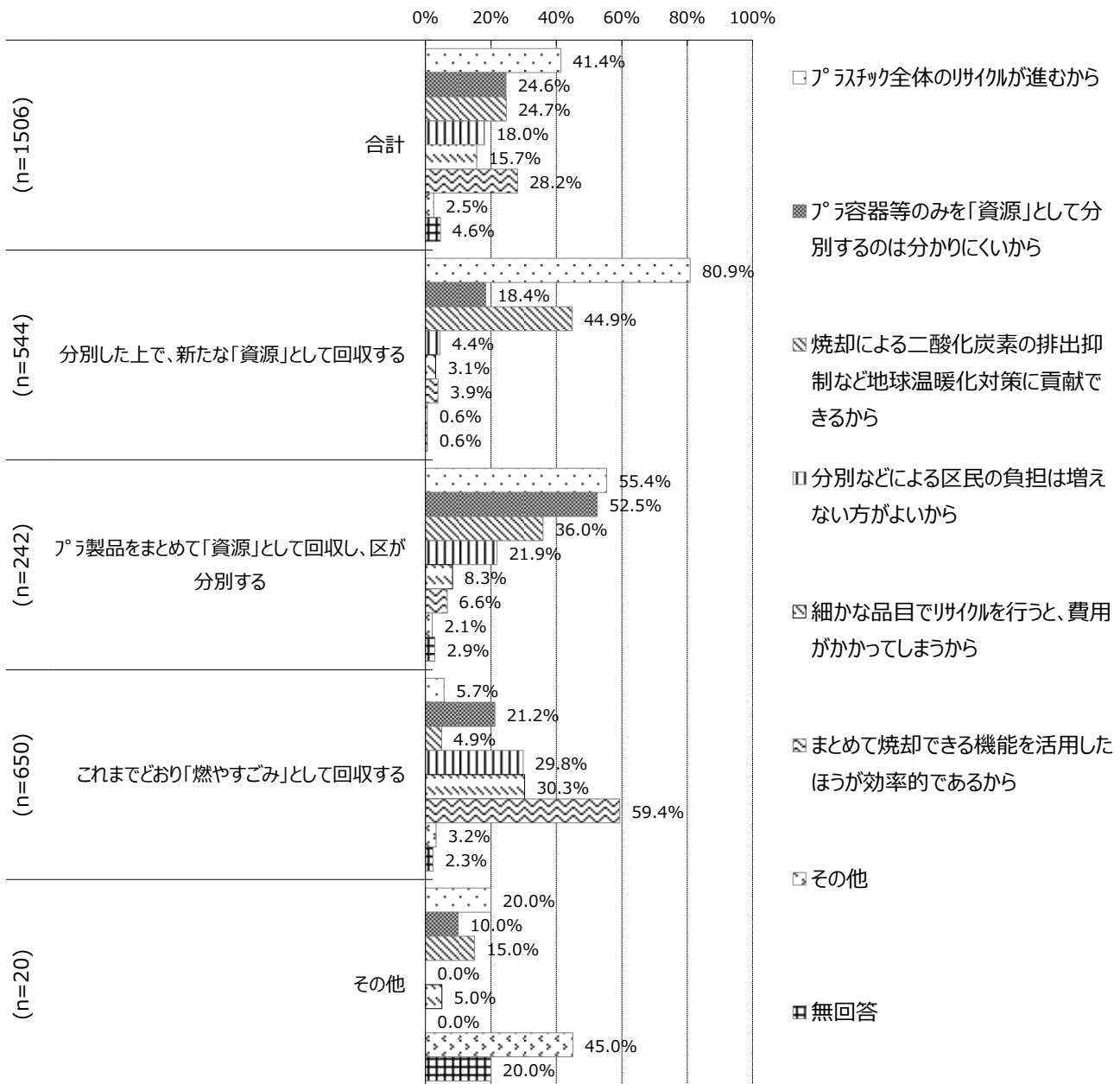
2)問48の回答別

問48のように考えた理由を尋ねたところ、「分別した上で、新たな『資源』として回収する」と回答した人においては、「プラスチック全体のリサイクルが進むから」「焼却による二酸化炭素の排出抑制など地球温暖化対策に貢献できるから」の割合が高い。

「プラ製品をまとめて『資源』として回収し、区が分別する」と回答した人においては、「プラスチック全体のリサイクルが進むから」「プラ容器等のみを『資源』として分別するのは分かりにくいから」の割合が高い。

「これまでどおり『燃やすごみ』として回収する」と回答した人においては、「まとめて焼却できる機能を活用したほうが効率的であるから」の割合が高い。

図表 208 問48のように考えた理由（問48の回答別）



(14) 区の施策について

- 今後 10 年の間に、目黒区の施策としてどのような取組を重視していくべきか尋ねたところ、「重要である」の割合は、とくに「安全・安心」の各施策で 58～73%、「子ども・教育」（ただし、「生涯学習の充実」を除く）にて 56～58%と、高い割合を示した。
- 「重要である」、「まあ重要である」の割合を合わせると、「安全・安心」分野ではほぼ 90%以上、「都市環境」分野では 80～90%、「子ども・教育」分野と「保健・医療・福祉」ではほぼ 80%前後となっており、高い割合を示した。
- 特に優先すべき施策を尋ねたところ、やはり「安全・安心」分野の施策に回答が集まっており、「災害に強い街づくり（53.9%）」、「震災、風水害などへの備え（39.4%）」、「日常生活の安全・安心（32.7%）」が上位 3 位となった。

図表 209 施策一覧

	区分	主な施策
安全・安心	災害に強い街づくり	道路・橋りょう等の都市基盤の整備、建築物の不燃化・耐震化の促進など
	震災、風水害などへの備え	避難所整備、防災訓練の充実、意識啓発など
	日常生活の安全・安心	特殊詐欺被害の防止、生活安全パトロールの推進、消費者被害の防止など
子ども・教育	子育て支援の充実	保育サービスの充実、放課後の居場所づくり、育児相談、児童虐待防止など
	学校教育の充実	学校施設の整備・更新、学力の向上、豊かな心の育成など
	生涯学習の充実	生涯学習講座の実施、社会教育活動の支援、図書館の充実など
保健・医療・福祉	健康寿命の延伸	健康づくりの推進、健診・保健指導の実施など
	保健・医療体制の充実	感染症対策、在宅療養の支援、食品衛生・環境衛生の推進など
	地域で支え合う福祉活動	地域における支え合いの仕組みづくり、見守り活動の推進など
	高齢者福祉の推進	高齢者福祉施設の整備、在宅サービスの充実、社会参加の場づくりなど
	障害者福祉の推進	障害者福祉施設の整備、自立・社会参加の支援など
	生活の安定と自立支援	生活援助、就労相談の実施など
都市環境	環境にやさしい街づくり	地球温暖化対策、大気・水質の汚染対策など
	循環型社会の構築	ごみの減量化、省資源・リサイクルの推進など
	魅力ある街並みの整備	都市景観の整備、都市計画、地区計画など
	暮らしやすい街づくり	放置自転車対策、道路の無電柱化、空き家対策、バリアフリーの推進など
	みどり豊かな街づくり	公園整備、緑化の推進、生物多様性の確保など
	親しみのある水辺の整備	河川の水質浄化、川沿いの通路、環境の整備など
	交通の安全性・利便性の向上	交通安全対策、自転車の走行環境の整備、地域交通の支援など
地域活性化	地域の商・工業の振興	商店街の活性化支援、創業者支援、融資あっせんなど
	観光まちづくりの推進	観光資源の活用、来訪者への情報提供の充実、多言語対応の推進など
	芸術文化の振興	コンサート、展覧会の開催、芸術文化活動の支援など
	スポーツを楽しむ環境の充実	スポーツ教室の開催、スポーツ・レクリエーションの支援など
	コミュニティ活動の促進	町会・自治会、住区住民会議活動、ボランティア活動への支援など
	自治体、大学、企業等との交流の促進	他の自治体の市民との交流、地域の大学、企業等の連携など
行政運営	多様性を認め合う地域社会の実現	人権尊重、男女平等・共同参画の推進、外国人住民への支援など
	デジタルガバメントの推進	各種手続のデジタル化、情報セキュリティ対策など
	効率的な行政運営	行政内部の事務の I C T 活用、民間活力の活用、職員の人材育成など
	適切な公共施設サービスの提供	区有施設の見直しの推進など
	区民との情報共有の推進	情報公開、オープンデータの推進など
	区政への区民参画の推進	行政検討に先立つ区民提案づくりの機会の充実など

①今後10年の間に、目黒区の施策として重視すべき取組

問49 今後10年の間に、目黒区の施策としてどのような取組を重視していくべきだと思いますか。（施策の区分ごとに、あてはまるもの1つに○）

1)全体

今後10年の間に、目黒区の施策としてどのような取組を重視していくべきか尋ねたところ、次のような結果となった。「重要である」の割合は、特に「安全・安心」の分野や、「子ども・教育」（ただし、「生涯学習の充実」を除く）分野にて高くなっている。「重要である」「まあ重要である」の割合を合わせると、前述の2分野に加え、「保健・医療・福祉」「都市環境」分野でも高い。

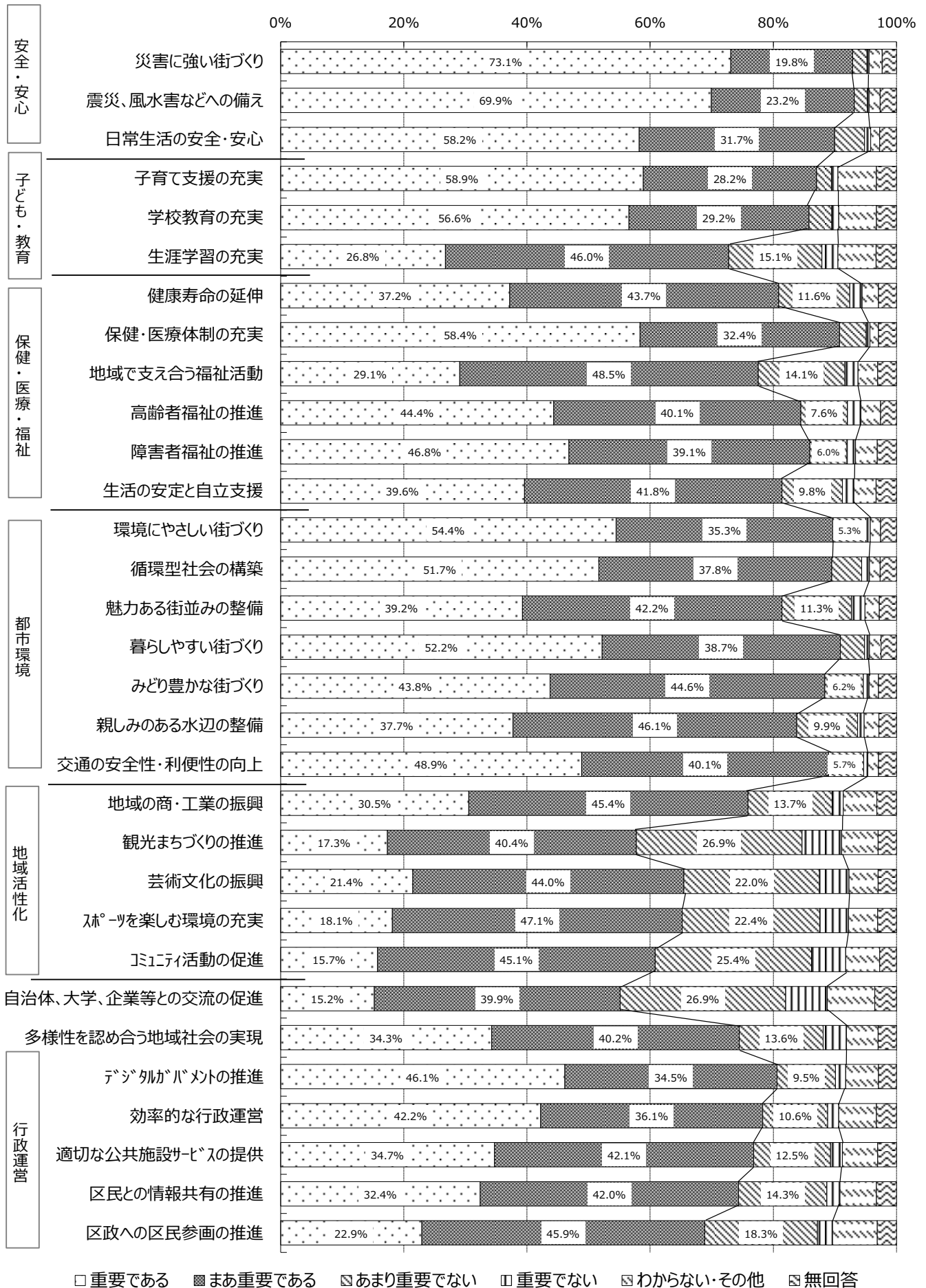
図表 210 今後10年で重視すべき取組（データテーブル）

(n=1506)

区分		重要である	まあ重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない・その他	無回答
安心安全	災害に強い街づくり	73.1%	19.8%	2.3%	0.3%	2.1%	2.3%
	震災、風水害などへの備え	69.9%	23.2%	2.1%	0.3%	1.8%	2.7%
	日常生活の安全・安心	58.2%	31.7%	4.8%	1.0%	1.5%	2.7%
子ども教育	子育て支援の充実	58.9%	28.2%	2.4%	1.1%	6.2%	3.3%
	学校教育の充実	56.6%	29.2%	3.7%	1.1%	6.1%	3.3%
	生涯学習の充実	26.8%	46.0%	15.1%	2.6%	6.2%	3.3%
保健医療福祉	健康寿命の延伸	37.2%	43.7%	11.6%	2.0%	2.7%	2.9%
	保健・医療体制の充実	58.4%	32.4%	4.3%	0.6%	1.4%	2.9%
	地域で支え合う福祉活動	29.1%	48.5%	14.1%	2.1%	3.2%	3.1%
	高齢者福祉の推進	44.4%	40.1%	7.6%	2.2%	3.2%	2.6%
	障害者福祉の推進	46.8%	39.1%	6.0%	1.4%	3.5%	3.1%
都市環境	生活の安定と自立支援	39.6%	41.8%	9.8%	1.9%	3.6%	3.3%
	環境にやさしい街づくり	54.4%	35.3%	5.3%	0.7%	1.7%	2.6%
	循環型社会の構築	51.7%	37.8%	4.8%	1.3%	1.7%	2.7%
	魅力ある街並みの整備	39.2%	42.2%	11.3%	2.2%	2.3%	2.8%
	暮らしやすい街づくり	52.2%	38.7%	3.9%	0.8%	1.9%	2.5%
	みどり豊かな街づくり	43.8%	44.6%	6.2%	0.9%	1.5%	2.9%
地域活性化	親しみのある水辺の整備	37.7%	46.1%	9.9%	1.1%	2.4%	2.9%
	交通の安全性・利便性の向上	48.9%	40.1%	5.7%	0.7%	1.7%	2.9%
	地域の商・工業の振興	30.5%	45.4%	13.7%	1.8%	5.4%	3.2%
	観光まちづくりの推進	17.3%	40.4%	26.9%	6.4%	5.9%	3.0%
	芸術文化の振興	21.4%	44.0%	22.0%	4.8%	4.7%	3.0%
	スポーツを楽しむ環境の充実	18.1%	47.1%	22.4%	4.6%	4.7%	3.1%
行政運営	コミュニティ活動の促進	15.7%	45.1%	25.4%	5.6%	5.5%	2.7%
	自治体、大学、企業等との交流の促進	15.2%	39.9%	26.9%	6.8%	7.7%	3.5%
	多様性を認め合う地域社会の実現	34.3%	40.2%	13.6%	3.8%	5.1%	3.0%
	デジタルガバナメントの推進	46.1%	34.5%	9.5%	1.7%	5.3%	2.9%
	効率的な行政運営	42.2%	36.1%	10.6%	1.8%	6.1%	3.3%
	適切な公共施設サービスの提供	34.7%	42.1%	12.5%	1.9%	5.7%	3.1%
行政運営	区民との情報共有の推進	32.4%	42.0%	14.3%	2.1%	5.9%	3.3%
	区政への区民参画の推進	22.9%	45.9%	18.3%	2.5%	7.2%	3.1%

図表 211 今後 10 年で重視すべき取組 (グラフ)

(n=1506)



□重要である ■まあ重要である ▨あまり重要でない □重要でない ▨わからない・その他 ▨無回答

注釈) グラフの 5.0%以下のデータラベルは非表示

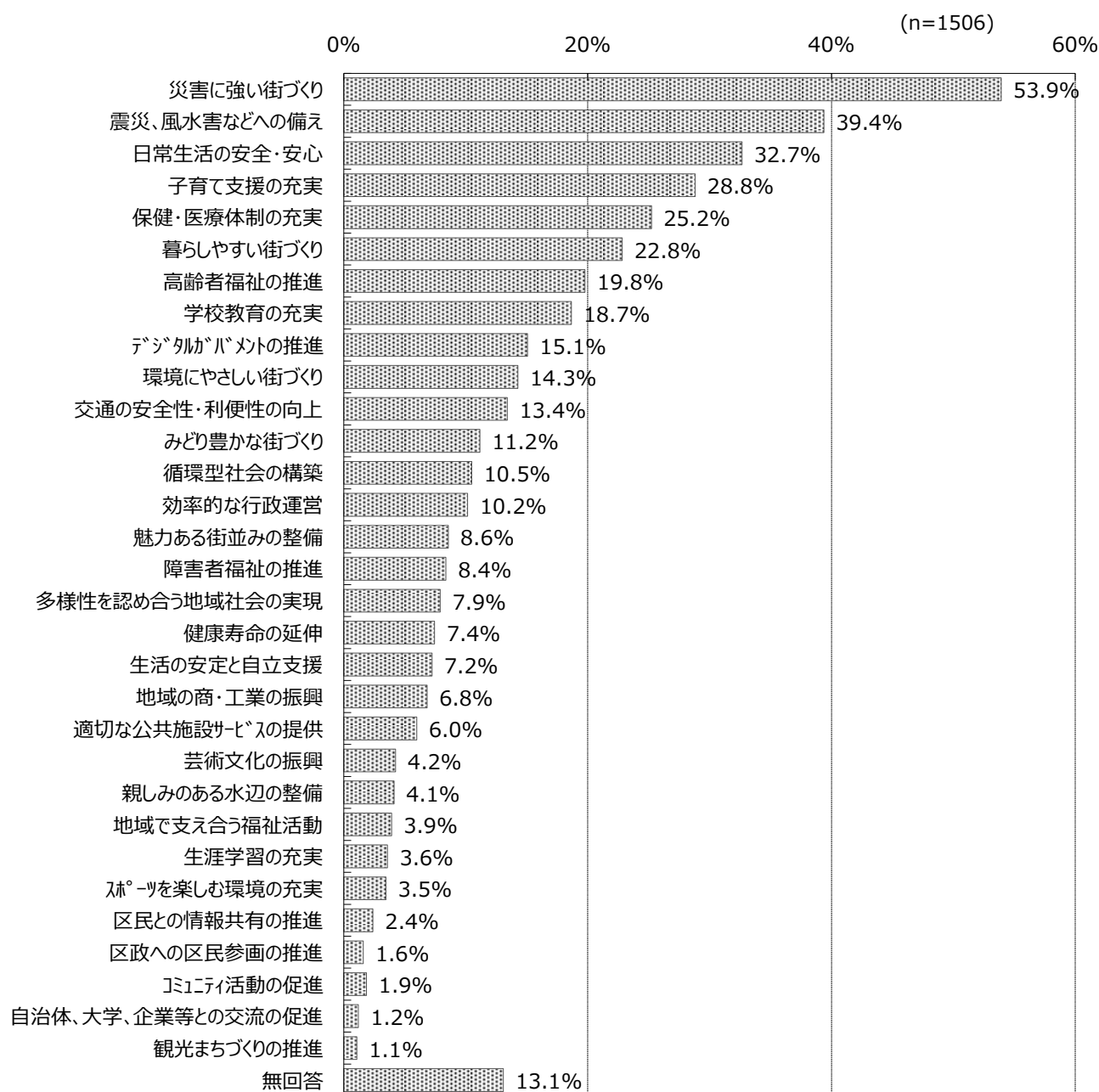
②特に優先すべき施策

問50 問49の施策(1~31)のうち、どの施策を特に優先すべきだと思いますか。
(あてはまる施策の番号を5つまで記入)

1)全体

前問の取組のうち、目黒区の施策として特に優先すべきものを尋ねたところ、「災害に強い街づくり」の割合が最も高く53.9%となっている。次いで、「震災、風水害などへの備え(39.4%)」、「日常生活の安全・安心(32.7%)」となっている。

図表 212 特に優先すべき施策



以降では、回答結果をより詳細に把握するため、特に優先すべき施策について、クロス集計により細分化した上で見ていく。表の中では、便宜上、施策名を短縮して表示している。短縮表示と元の施策との対応は以下の通りである。

図表 213 短縮表示（以降で出てくるもののみ）

短縮表示	元の施策名
災害	災害に強い街づくり
震災	震災、風水害などへの備え
日常生活	日常生活の安全・安心
子育て	子育て支援の充実
学校教育	学校教育の充実
保健・医療	保健・医療体制の充実
高齢者福祉	高齢者福祉の推進
暮らしやすい街	暮らしやすい街づくり
みどり	みどり豊かな街づくり
交通	交通の安全性・利便性の向上
多様性	多様性を認め合う地域社会の実現
デジタルガバメント	デジタルガバメントの推進

2)性別（上位5項目）

性別で大きな傾向の差はなく、いずれも「災害」「震災」「日常生活」「子育て」が上位4位までを占めている。

図表 214 特に優先すべき施策（性別上位5項目）

	n数	1位	2位	3位	4位	5位
合計	1506	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		53.9%	39.4%	32.7%	28.8%	25.2%
男性	596	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		53.5%	34.1%	33.2%	32.2%	26.5%
女性	867	災害	震災	日常生活	子育て	暮らしやすい街
		55.4%	43.7%	33.0%	27.3%	25.0%

3)年齢別（上位5項目）

いずれの年代も「災害」が1位になっているが、10～40代では「子育て」が上位に、30代では「学校教育」が5位に入っている。50代以上では「高齢者福祉」が5位以内に入っており、特に70代以上では順位が高くなっている。また、10・20代では「デジタルガバメント」が5位に入っている点も特徴的である。

図表 215 特に優先すべき施策（年齢別上位5項目）

	n数	1位	2位	3位	4位	5位
合計	1506	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		53.9%	39.4%	32.7%	28.8%	25.2%
10・20代	136	災害	子育て	震災	日常生活	デジタルガバメント
		53.6%	43.7%	37.7%	31.8%	23.2%
30代	220	災害	子育て	震災	日常生活	学校教育
		54.1%	48.2%	39.1%	35.9%	30.0%
40代	307	災害	震災	子育て	日常生活	暮らしやすい街
		59.9%	43.3%	36.2%	35.2%	28.7%
50代	277	災害	震災	日常生活	保健・医療	高齢者福祉
		58.1%	51.3%	36.1%	30.3%	23.5%
60代	184	災害	震災	日常生活	保健・医療	高齢者福祉
		57.1%	39.7%	37.0%	28.3%	25.5%
70代	197	災害	震災	高齢者福祉	日常生活	保健・医療
		46.7%	31.0%	27.4%	25.4%	24.4%
80代以上	128	災害	高齢者福祉	日常生活／保健・医療	震災	暮らしやすい街
		44.5%	32.8%	24.2%	23.4%	21.9%

4) 性年齢別

ほとんどの性年齢で「災害」が1位だが、10～30代男性では「子育て」が1位となっている。60代以上の男性においては、「保健・医療」が2位となっている。

また、10～30代男性で「デジタルガバメント」が5位以内に入っている点は、女性とは傾向が異なっている。

図表 216 特に優先すべき施策（性年齢別上位5項目）

	n数	1位	2位	3位	4位	5位
合計	1506	災害 53.9%	震災 39.4%	日常生活 32.7%	子育て 28.8%	保健医療 25.2%
10・20代男性	54	子育て 50.8%	災害 39.3%	デジタルガバメント 36.1%	日常生活 27.9%	震災／保健・医療／暮らしやすい街 23.0%
30代男性	90	災害／子育て 45.6%	震災 34.4%	日常生活 32.2%	学校教育 30.0%	暮らしやすい街／デジタルガバメント 23.3%
40代男性	124	災害 56.5%	子育て 43.5%	日常生活 39.5%	震災／学校教育 29.8%	暮らしやすい街 22.6%
50代男性	114	災害 60.5%	震災 52.6%	日常生活 37.7%	保健・医療 28.9%	子育て 21.9%
60代男性	82	災害 64.6%	日常生活／保健・医療 37.8%	震災 35.4%	高齢者福祉 23.2%	子育て／暮らしやすい街 18.3%
70代男性	81	災害 49.4%	震災／保健・医療 29.6%	高齢者福祉 25.9%	日常生活 22.2%	学校教育 21.0%
80代以上男性	44	災害 50.0%	保健・医療 34.1%	高齢者福祉 31.8%	日常生活 25.0%	子育て 22.7%
10・20代女性	8	災害 63.3%	震災 47.8%	子育て 38.9%	日常生活 34.4%	保健・医療／暮らしやすい街 20.0%
30代女性	130	災害 60.0%	子育て 50.0%	震災 42.3%	日常生活 38.5%	学校教育 30.0%
40代女性	183	災害 62.3%	震災 52.5%	暮らしやすい街 32.8%	日常生活 32.2%	子育て 31.1%
50代女性	163	災害 56.4%	震災 50.3%	日常生活 35.0%	保健・医療 31.3%	高齢者福祉 28.8%
60代女性	102	災害 51.0%	震災 43.1%	日常生活 36.3%	高齢者福祉 27.5%	暮らしやすい街 21.6%
70代女性	116	災害 44.8%	震災 31.9%	高齢者福祉 28.4%	日常生活 27.6%	暮らしやすい街 23.3%
80代以上女性	83	災害 42.2%	高齢者福祉 33.7%	震災 26.5%	日常生活 24.1%	暮らしやすい街 22.9%

5) 地区別

いずれの地域においても、4位までは同様の結果となった。中央地区のみ、5位が「保健・医療」に代わって「暮らしやすい街」となった。

図表 217 特に優先すべき施策（地区別上位5項目）

	n数	1位	2位	3位	4位	5位
合計	1506	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		53.9%	39.4%	32.7%	28.8%	25.2%
北部地区	195	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		54.9%	40.0%	33.8%	28.2%	26.7%
東部地区	329	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		53.5%	39.8%	35.3%	29.8%	24.6%
中央地区	289	災害	震災	日常生活	子育て	暮らしやすい街
		55.4%	40.1%	33.6%	29.1%	27.7%
南部地区	278	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		56.5%	38.5%	30.9%	29.1%	27.7%
西部地区	367	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		54.0%	40.9%	32.4%	30.2%	25.9%

6) 職業別

「自営業・事業主」や「常勤の勤め人」、「学生」では「子育て」が比較的高い割合となっており、「学生」や「自由業」では「暮らしやすい街」が3位と4位に入っている。「学生」では、「デジタルガバメント」も5位となっている。

図表 218 特に優先すべき施策（職業別上位5項目）

	n数	1位	2位	3位	4位	5位
合計	1506	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		53.9%	39.4%	32.7%	28.8%	25.2%
自営業・事業主	217	災害	震災	子育て	日常生活	学校教育
		58.5%	39.6%	30.9%	30.4%	23.0%
常勤の勤め人	628	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		57.6%	44.4%	36.8%	34.9%	27.5%
パート・アルバイト	139	災害	震災	保健・医療	日常生活	子育て
		48.9%	41.0%	30.9%	29.5%	25.9%
自由業	36	災害	震災	日常生活	暮らしやすい街	子育て／みどり／交通／多様性
		52.8%	50.0%	33.3%	27.8%	19.4%
学生	44	災害	震災、子育て	暮らしやすい街	日常生活、学校教育	デジタルガバメント
		47.7%	31.8%	29.5%	25.0%	20.5%
主に家事に従事	131	災害	震災	日常生活／高齢者福祉	学校教育	子育て／保健・医療
		53.4%	35.9%	26.0%	25.2%	22.9%
無職	224	災害	高齢者福祉	日常生活	震災	保健・医療
		46.9%	31.7%	31.3%	29.9%	26.3%
その他	37	災害	日常生活	学校教育	震災、交通	子育て／高齢者福祉
		64.9%	40.5%	35.1%	29.7%	24.3%

7) 世帯構成別

「一人暮らし」でのみ「暮らしやすい街」が5位に入っており、「一人暮らし」以外では「子育て」が5位以内に入っている。「二世世代家族（親と子ども）」では、「学校教育」が5位に入っている。

図表 219 特に優先すべき施策（世帯構成別上位5項目）

	n数	1位	2位	3位	4位	5位
合計	1506	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		53.9%	39.4%	32.7%	28.8%	25.2%
一人暮らし	501	災害	震災	日常生活	保健・医療	暮らしやすい街
		54.9%	43.7%	35.7%	25.7%	23.4%
夫婦のみ	312	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		55.4%	37.5%	30.1%	28.5%	27.2%
二世世代家族	532	災害	震災	子育て	日常生活	学校教育
		53.9%	37.6%	37.2%	31.6%	30.3%
三世世代家族	54	災害	震災	子育て	日常生活	保健・医療
		50.0%	38.9%	35.2%	29.6%	27.8%
その他	59	災害	日常生活	震災	子育て	保健・医療
		59.3%	44.1%	39.0%	32.2%	30.5%

8) 居住年数別

「5年未満」では「学校教育」、「5～9年」では「暮らしやすい街」、「20年以上」で「高齢者福祉」が入っている点が、全体の傾向とやや異なる点である。

図表 220 特に優先すべき施策（居住年数別上位5項目）

	n数	1位	2位	3位	4位	5位
合計	1506	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		53.9%	39.4%	32.7%	28.8%	25.2%
5年未満	239	災害	震災	子育て	日常生活	学校教育／保健・医療
		57.7%	43.1%	41.4%	31.4%	23.0%
5～9年	240	災害	震災	子育て	日常生活	暮らしやすい街
		55.0%	40.8%	37.1%	33.8%	30.4%
10～19年	280	災害	震災	日常生活	子育て	保健・医療
		58.6%	40.4%	38.6%	32.9%	27.9%
20年以上	721	災害	震災	日常生活	高齢者福祉	保健・医療
		51.2%	37.9%	30.8%	26.4%	25.5%

(15) その他

- 各種行政手続や相談などでオンライン化を求めるものは、「住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等申請」の割合が最も高く74.1%となった。
- 今後の区有施設について取り組むべき方策に関しては、「施設の複合化・集約化により類似する機能をまとめ、施設数を減らしていく方がよい」の割合が46.7%で高い。
- また、区有施設の管理・運営に係る民間活力の活用については、「施設の性質に応じて区の直接管理・運営と民間活力の有効活用を使い分けるべきである」の割合が56.0%となっている。

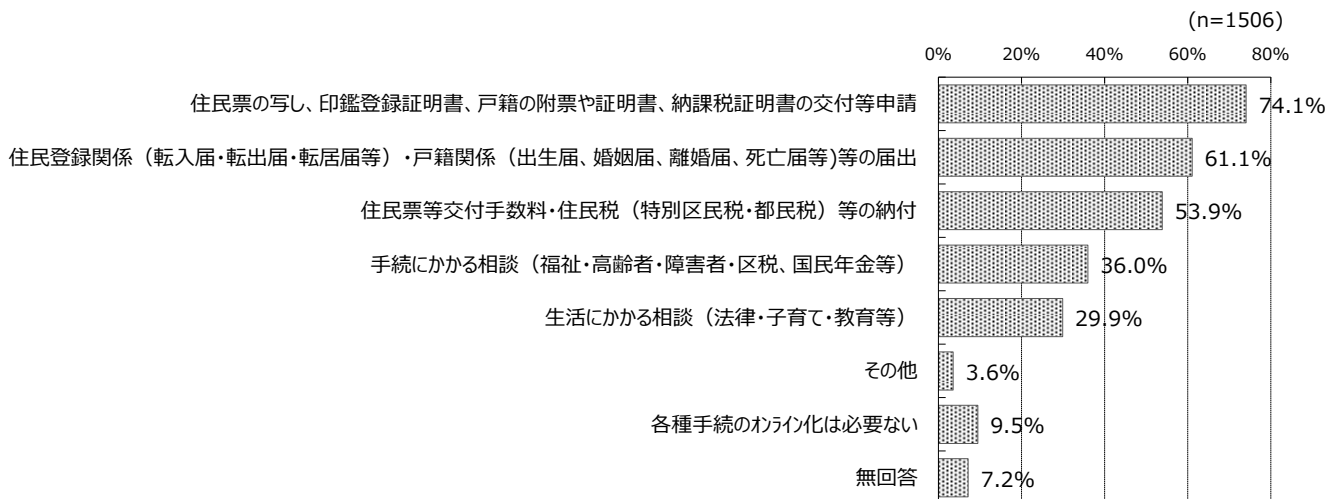
①オンライン化を希望する行政手続

問51 行政手続のオンライン化について、各種行政手続や相談などで、オンライン化した方がよいと思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1)全体

各種行政手続や相談などで、オンライン化したほうがよいと思うものを尋ねたところ、「住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等申請」の割合が最も高く74.1%となっている。次いで、「住民登録関係（転入届・転出届・転居届等）・戸籍関係（出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等）等の届出（61.1%）」、「住民票等交付手数料・住民税（特別区民税・都民税）等の納付（53.9%）」となっている。

図表 221 オンライン化を希望する行政手続

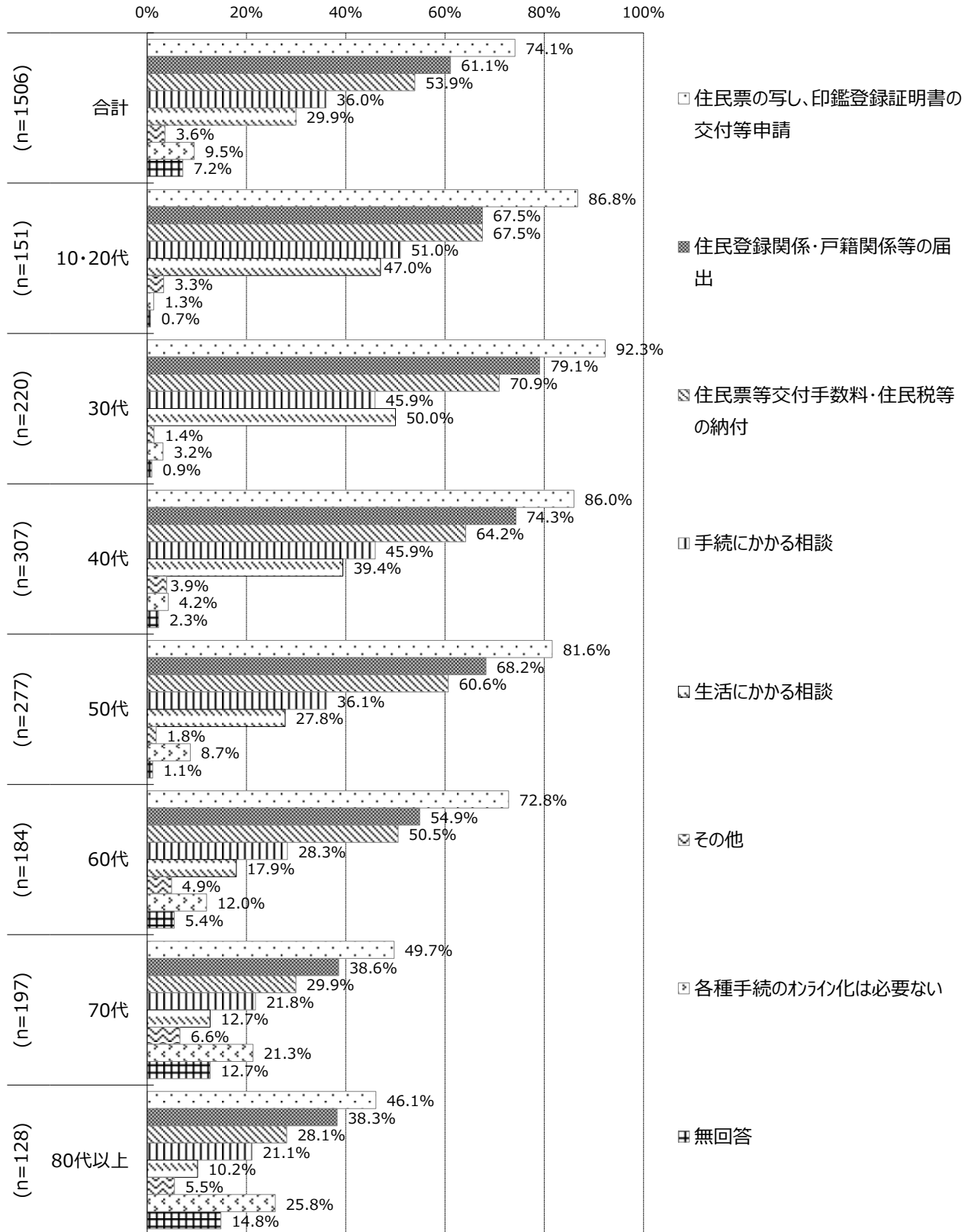


注釈) 単純集計のグラフのみ、回答割合の高かった選択肢順に並び替えている。

2) 年齢別

若い年代においてオンライン化のニーズが大きい傾向がある。70代以上になると、「各種手続きのオンライン化は必要ない」が20%以上で他の年代と比較すると相対的に高い。

図表 222 オンライン化を希望する行政手続（年齢別）



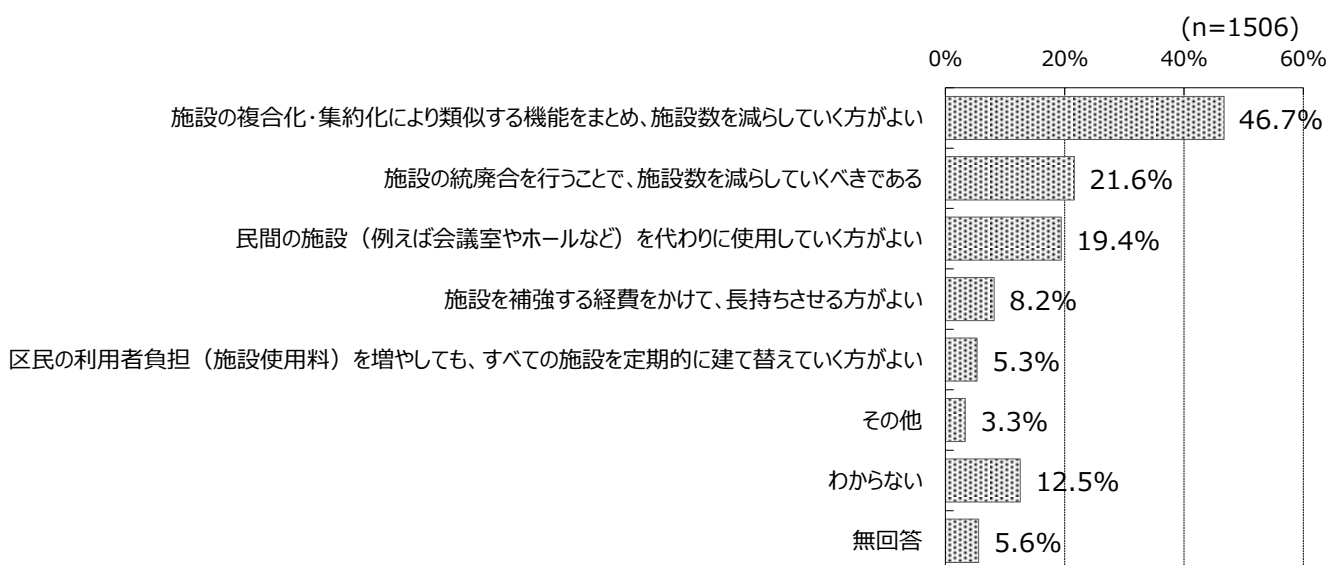
②区有施設について取り組むべき方策

問52 今後すべての区有施設を現状のまま維持・管理・運営することができず、施設にかかる経費を抑制する必要があるが見込まれます。あなたは、区有施設に関し区が今後取り組むべき方策として、何を重視すべきだと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

1)全体

今後、区有施設にかかる経費を抑制する必要があるが見込まれることをふまえ、区有施設に関して区が取り組むべき方策を尋ねたところ、「施設の複合化・集約化により類似する機能をまとめ、施設数を減らしていく方がよい」の割合が最も高く46.7%となっている。次いで、「施設の統廃合を行うことで、施設数を減らしていくべきである(21.6%)」、「民間の施設(例えば会議室やホールなど)を代わりに使用していく方がよい(19.4%)」となっている。

図表 223 区有施設について取り組むべき方策



③民間活力を用いた区有施設の管理・運営への考え方

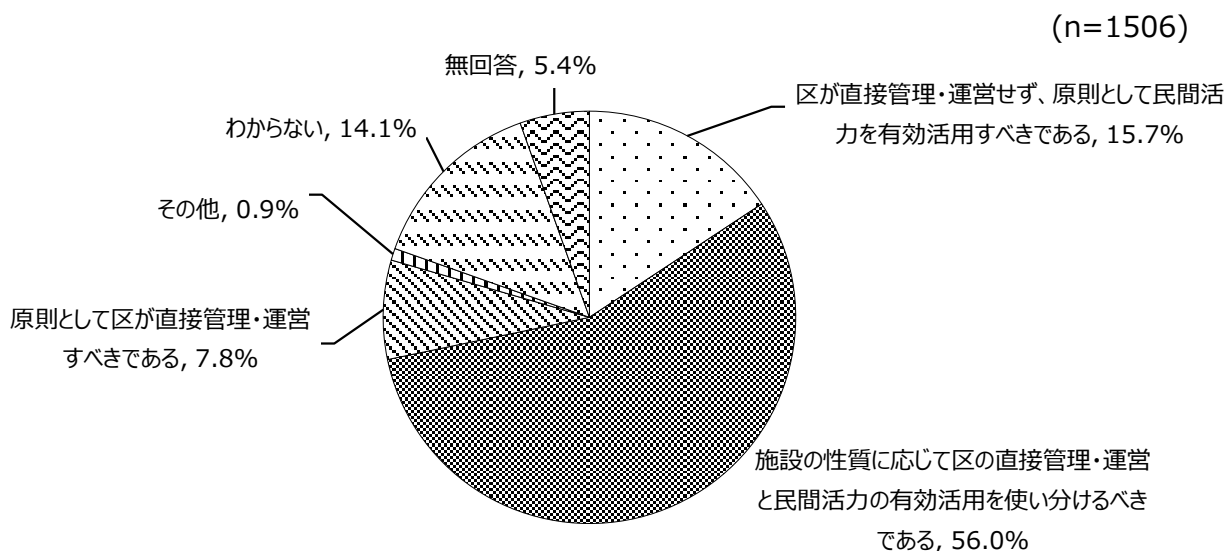
問53 区では、現在、区有施設への委託や指定管理制度の導入などにより民間活力を活用して、区有施設の管理・運営を行っています。あなたは、こうした民間活力の活用についてどのように考えますか。（あてはまるもの1つに○）

1)全体

民間活力の活用（委託や指定管理者制度の導入等）により、区有施設の管理・運営を行うことについて考えを尋ねたところ、「施設の性質に応じて区の直接管理・運営と民間活力の有効活用を使い分けるべきである」の割合が最も高く56.0%となっている。次いで、「区が直接管理・運営せず、原則として民間活力を有効活用すべきである（15.7%）」、「わからない（14.1%）」となっている。

「区が直接管理・運営せず、原則として民間活力を有効活用すべきである」と「施設の性質に応じて区の直接管理・運営と民間活力の有効活用を使い分けるべきである」を合わせた、何らかの形で民間活力を有効活用すべきと考える人の合計は、71.7%となっている。

図表 224 民間活力の活用による区有施設の管理・運営への考え



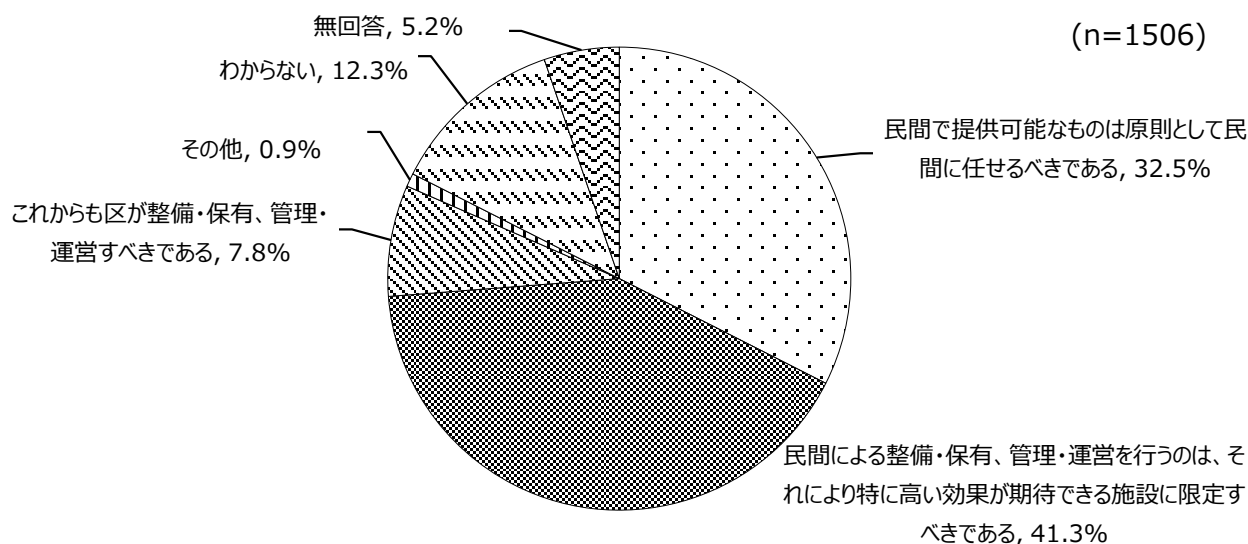
④民間活力を用いた区有施設の整備・保有への考え方

問54 今後、老朽化した区有施設の更新（建て替えや大規模改修）や新しい施設整備において、民間が施設を整備・保有し、区からの委託などにより民間が施設を管理・運営することも想定されます。あなたは、こうした整備・運営手法についてどのように考えますか。（あてはまるもの1つに○）

1)全体

老朽化した区有施設の更新（建て替えや大規模改修）や新しい施設整備において、民間活力を活用して整備し、その後も民間が施設を管理・運営することも想定される。このような整備・運営手法についての考えを尋ねたところ、「民間による整備・保有、管理・運営を行うのは、それにより特に高い効果が期待できる施設に限定すべきである」の割合が最も高く41.3%となっている。次いで、「民間で提供可能なものは原則として民間に任せるべきである（32.5%)」、「わからない（12.3%)」となっている。

図表 225 民間活力を用いた区有施設の整備・保有への考え方



附表

第46回 目黒区世論調査

～ご協力のお願い～

日頃から目黒区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

目黒区では、区民の皆様からのご意見・ご要望を区政に反映させ、公平で透明な区政運営を推進していくため、3年ごとに「目黒区世論調査」を実施しています。

調査にあたっては、目黒区に住民登録をされている満18歳以上の方の中から無作為に3,000名の方を調査対象者として抽出させていただきました。

調査結果は、今後の区政運営に活用させていただくもので、「こういう意見が何%」というようにまとめますので、個人のお名前が公表されることは一切ありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年10月

目黒区企画経営部区民の声課

ご回答期限：令和2年10月30日（金）まで

《回答にあたっての留意点、回答方法につきましては次のページをご覧ください》

※この調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問合せ先 **目黒区 企画経営部 区民の声課**

〒152-8573 東京都目黒区上目黒二丁目19番15号
電話 5722-9416（月～金曜日 8:30～17:00）
FAX 5722-9395

回答にあたってのお願い

- ・封筒のあて名のご本人がお答えください。
- ・ご本人が記入できない場合は、ご家族などが代筆することもできます。
- ・回答は、郵送またはインターネット（電子申請）により行うことができます。
- ・いずれかの方法で令和2年10月30日までにご回答ください。

郵送で回答する場合

- ・ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- ・お答えは、問1から順に質問ごとに用意した答えの中から、あてはまる番号に○をつけてください。（一部、の中に数字を記入していただくものもあります。）
- ・一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は説明文に従ってお答えください。
- ・お答えが「その他」にあてはまる場合には、（）内に具体的に内容をご記入ください。
- ・ご記入いただいた調査票は、令和2年10月30日までに、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。
- ・返信用封筒には、お名前・ご住所などを記入しないでください。

インターネット（電子申請）で回答する場合（文面は日本語のみです。）

- ・パソコン、スマートフォン、携帯電話から回答できます。
- ・目黒区公式ホームページ (<https://www.city.meguro.tokyo.jp/>) のトップページの「お知らせ」にある『第46回目黒区世論調査を実施しています』のURLから「電子申請」サイトにお入りください。
- ・携帯電話の方は、右記のQRコードを読み取るとログイン画面が開きます。
- ・下記の調査票IDおよびパスワードを入力しログインすると、回答サイトに入ることができます。

【調査票ID(《ID》)・パスワード(《パスワード》)】

※ このID・パスワードは無作為に配付していますので、個人を特定するものではありません。
どなたがどのID・パスワードであるかは照合できません。

- ・入力フォームが表示されましたら、説明に従って、順にお答えください。

■ 目黒区での居住について

問1 あなたは、目黒区に住んで何年になりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 5年未満 2. 5～9年 3. 10～19年 4. 20年以上

問2 あなたが、目黒区に住んでいる理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 通勤・通学に便利、交通の便がよいから
2. 昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから
3. 親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから
4. 社宅や官舎などがあったから
5. 身近な商店街など買い物に便利だから
6. 緑の多い落ち着いた住環境だから
7. 目黒区のイメージがよいから
8. 地域コミュニティなど近隣の人間関係がよいから
9. 公園や街路樹がよく整備されているから
10. 保健・医療施設などがよく整備されているから
11. 集会施設や文化施設などがよく整備されているから
12. 小中学校など子どもの教育環境がよいから
13. 高齢者福祉サービスなどの内容がよいから
14. 保育園など子育て支援サービスの内容がよいから
15. リサイクル活動や環境対策が進んでいるから
16. その他(具体的に

)

問3 あなたは、目黒区に今後も住みたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ずっと住んでいたい 2. 当分の間は住んでいたい
3. あまり住んでいたくない 4. できれば引っ越したい

(問3で「3」「4」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問3-1 あまり住んでいたくない・できれば引っ越したいと思うのは、主にどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家賃相場が高いから
2. 通勤・通学に不便、交通の便が悪いから
3. 身近な商店街などの買い物環境が不十分だから
4. スーパーや商店街における、日用品の物価が高いから
5. 住環境や治安に不満を感じるから
6. 保健・医療体制に不満を感じるから
7. 集会施設や文化施設などに不満を感じるから
8. 小中学校など子どもの教育環境に不満を感じるから
9. 高齢者福祉サービスなどの内容に不満を感じるから
10. 保育園など子育て支援サービスの内容に不満を感じるから
11. 東京都心部は新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という)拡大の危険性が高いから
12. リモートワークやオンライン授業の進展により、東京都心部に居住する必要性が低くなったから
13. その他(具体的に

)

問4 今後の住環境においては、どのようなことが重要だと思いますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

1. 住居の広さ
2. 住居設備の充実
3. 家賃の安さ
4. 身近な商店街などの買い物環境
5. 通学先や通勤先への交通アクセス
6. 周辺環境の良さ(緑が豊か、など)
7. 地域コミュニティのつながり、地域活動の活発さ
8. その他(具体的に)

■ 暮らし向き・仕事

問5 あなたの暮らし向き(経済状況)は、昨年の今ごろと比べてどうですか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 非常に苦しくなった | 2. 苦しくなった |
| 3. 変わらない | 4. 楽になった |
| 5. 非常に楽になった | |

(問5で「1」「2」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問5-1 暮らし向きが苦しくなったのは、主にどのような理由からですか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 営業不振などで給料や収益が増えない、または減った(新型コロナ感染拡大に起因)
2. 営業不振などで給料や収益が増えない、または減った(新型コロナ感染拡大以外に起因)
3. 失業、退職、病気などで働けなくなった、または働き手が減った(新型コロナ感染拡大に起因)
4. 失業、退職、病気などで働けなくなった、または働き手が減った(新型コロナ感染拡大以外に起因)
5. 自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた
6. 教育費が増えた(5.以外)
7. 家族が増えて、毎日の生活費が増えた
8. 結婚、出産、病気など特別な出費があった
9. 家や自動車、電化製品などの出費が増えた
10. 新型コロナ防止のための出費が増えた
11. 年金の支給額が減少した
12. その他(具体的に)

問6 あなたの勤務先での、テレワーク導入状況についてお答えください。

(あてはまるもの1つに○)

1. 基本的にテレワーク
2. テレワーク中心で、時々出勤(テレワークが50%以上)
3. 出勤中心で、定期的にテレワーク(出勤が50%以上)
4. 基本的に出勤
5. 自営業である、または勤めていない

(問6で「1」～「4」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問6-1 今後、新型コロナの感染拡大が収束した場合に、あなたご自身のテレワークに対するご意向をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 基本的にテレワークがよい
2. テレワーク中心で、時々出勤がよい(テレワークが50%以上)
3. 出勤中心で、定期的にテレワークがよい(出勤が50%以上)
4. 基本的に出勤がよい

■ 防災

問7 あなたは、災害への備えとして、ご家庭でどのようなことを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 飲料水や非常食を常備している
2. 携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している
3. 貴重品等をまとめて、非常時に持ち出せるようにしている
4. 家具が転倒しないよう、固定している
5. 避難経路や避難場所を確認している
6. 災害発生時の安否確認方法を家族で決めている
7. ハザードマップなど、国や目黒区からの防災に関する情報を収集している
8. その他(具体的に)

問8 区内で実施されている防災訓練に参加したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ある
2. ない

※防災訓練には目黒区総合防災訓練、目黒区総合水防訓練、目黒区夜間避難所運営訓練、地域の避難所運営訓練、地域の防災訓練(街かど防災訓練など)があります。

(問8で「2」に回答した方にお尋ねします。)

問8-1 防災訓練に参加していない理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 訓練があることを知らない
2. 仕事等で都合がつかない
3. 訓練に興味がない
4. 誰でも参加できるとは思っていなかった
5. その他(具体的に)

問9 あなたが災害情報を収集する手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 区ホームページ
2. 区Twitter
3. 防災行政無線
4. 広報車
5. エリアメール
6. テレビ
7. ラジオ
8. 区以外のホームページやSNSなど
9. その他(具体的に)

■ 地域活動・コミュニティ

問10 あなた(またはあなたの世帯)は、ご近所づきあいをしていますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. よくしている
2. 時々している
3. まったくしていない

問11 あなた(またはあなたの世帯)は、町会・自治会に加入していますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 加入している
2. 加入したことはない
3. 以前加入していた

(問11で「2」「3」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問11-1 町会・自治会に加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 加入方法がわからない	2. 加入の勧誘がない
3. 活動内容がわからない	4. 役員になりたくない
5. 時間的な余裕がない	6. 加入の必要性を感じない
7. 人間関係がわずらわしい	
8. その他(具体的に)

問12 町会・自治会や住区住民会議が行っている地域活動を知っていますか。

(あてはまるものそれぞれ1つに○)

町会・自治会	1. よく知っている	2. 知っている
	3. あまり知らない	4. まったく(ほとんど)知らない
住区住民会議	1. よく知っている	2. 知っている
	3. あまり知らない	4. まったく(ほとんど)知らない

※目黒区ではおよそ小学校区単位を「住区」と定め、住区ごとに「住区住民会議」という住民協議組織があります。

※「地域活動」とは、一定の範囲に居住する人たちが中心になって行う公益的な活動をいいます。(行政機関と共催するものも含まれます。)

問13 あなた(またはあなたの世帯)は、下記の間13-1に掲げるような地域活動に参加したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よく参加する	2. 参加したことがある	3. 参加したことがない
-----------	--------------	--------------

(問13で「1」「2」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問13-1 次の地域活動のうち、「あなたが参加している・参加したことがある分野」は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 防犯活動(地域安全パトロールなど)	
2. 防災活動(地域防災訓練など)	
3. 交通安全活動(交通安全教室、自転車点検など)	
4. 子育て支援活動(子育て相談や保育手伝いなど)	
5. 子どもの居場所づくり活動(キャンプや学校開放など)	
6. 福祉・介護支援活動(家事援助や介護、ひとり暮らし高齢者等の見守りなど)	
7. 地域の伝統継承(お祭り、もちつき大会など)	
8. 環境保全や美化活動(公園や緑道等の花壇の手入れ、地域清掃など)	
9. スポーツ活動(地域スポーツ大会・教室など)	
10. その他(具体的に)

問 14 次の地域活動のうち、新型コロナの影響が続く状況においても活動を維持してほしいものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 防犯活動(地域安全パトロールなど)
2. 防災活動(地域防災訓練など)
3. 交通安全活動(交通安全教室、自転車点検など)
4. 子育て支援活動(子育て相談や保育手伝いなど)
5. 子どもの居場所づくり活動(キャンプや学校開放など)
6. 福祉・介護支援活動(家事援助や介護、ひとり暮らし高齢者等の見守りなど)
7. 地域の伝統継承(お祭り、もちつき大会など)
8. 環境保全や美化活動(公園や緑道等の花壇の手入れ、地域清掃など)
9. スポーツ活動(地域スポーツ大会・教室など)
10. その他(具体的に)
11. 新型コロナの影響が続く状況下で維持してほしい活動はない

問 15 皆さんが地域活動に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 活動の必要性の周知
2. 活動参加の誘いやきっかけとなる機会の充実
3. 関心のある地域活動があること
4. 円滑かつ良好な人間関係
5. 地域活動への参加の自由度があること
6. ボランティア保険加入など補償制度の充実
7. その他(具体的に)
8. わからない

■ 運動・スポーツ

問 16 あなたは、新型コロナ感染拡大前の1年間に、1回30分以上の運動やスポーツをどのくらい行っていましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. ほぼ毎日行っていた | 2. 週に2～3回程度行っていた |
| 3. 週に1回程度行っていた | 4. 月に2～3回程度行っていた |
| 5. 年に数回程度行っていた | 6. 1年間、ほとんど行わなかった |

(問 16で「1」～「5」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問 16-1 どんな運動をしていましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 屋内球技(バレーボール、卓球、バドミントンなど)
2. 屋外球技(野球、ソフトボール、サッカー、テニスなど)
3. 武道(柔道、剣道、空手、弓道など)
4. 水泳(水中ウォーキング、水中エアロビクスを含む)
5. 野外活動(ウォーキング、ジョギング、登山、サイクリング、ゴルフなど)
6. 海洋スポーツ(ヨット、サーフィン、スキューバダイビングなど)
7. ダンス(社交ダンス、フォークダンス、民踊など)
8. 健康体操(ラジオ体操、音楽体操、エアロビクス、ヨガ、太極拳など)
9. ニュースポーツ(ゲートボール、輪投げ、グラウンドゴルフ、ティーボールなど)
10. 雪と氷のスポーツ(スキー、スノーボード、スケートなど)
11. その他(具体的に)

問 17 あなたは、新型コロナによる緊急事態宣言解除後から現在まで、1回30分以上の運動やスポーツをどのくらい行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. ほぼ毎日行っている | 2. 週に2～3回程度行っている |
| 3. 週に1回程度行っている | 4. 月に2～3回程度行っている |
| 5. 年に数回程度行っている | 6. ほとんど行わなかった |

(問17で「1」～「5」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問 17-1 どんな運動をしていましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 屋内球技 (バレーボール、卓球、バドミントンなど) |
| 2. 屋外球技 (野球、ソフトボール、サッカー、テニスなど) |
| 3. 武道 (柔道、剣道、空手、弓道など) |
| 4. 水泳 (水中ウォーキング、水中エアロビクスを含む) |
| 5. 野外活動 (ウォーキング、ジョギング、登山、サイクリング、ゴルフなど) |
| 6. 海洋スポーツ (ヨット、サーフィン、スキューバダイビングなど) |
| 7. ダンス (社交ダンス、フォークダンス、民踊など) |
| 8. 健康体操 (ラジオ体操、音楽体操、エアロビクス、ヨガ、太極拳など) |
| 9. ニュースポーツ (ゲートボール、輪投げ、グラウンドゴルフ、ティーボールなど) |
| 10. 雪と氷のスポーツ (スキー、スノーボード、スケートなど) |
| 11. その他 (具体的に) |

問 18 あなたは、新型コロナによる緊急事態宣言解除後から現在までの自分の運動量をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 足りている | 2. ほぼ足りている |
| 3. やや足りていない | 4. 足りていない |
| 5. わからない | |

問 19 あなたは、新型コロナ感染拡大がはじまってから、運動・スポーツを行う時にどのような感染症対策を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 実施前に検温している |
| 2. 実施中はマスクやフェイスガードをしている |
| 3. 実施中はソーシャルディスタンスを確保しており、他者と接触はしないようにしている |
| 4. 実施中は大きな声を出さない |
| 5. 消毒液を常備し、実施前後や実施中に手指消毒をしている |
| 6. 更衣室が密にならないように配慮するか、使用しないようにしている |
| 7. 実施後に使用した道具や施設の消毒を行っている |
| 8. 参加者の名簿 (氏名、連絡先) を整備し、何かあった時に連絡が取れるようにしている |
| 9. その他 (具体的に) |
| 10. 感染症対策は特に行っていない |

問 20 あなたは、今後どのような運動やスポーツをしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 屋内球技 (バレーボール、卓球、バドミントンなど) |
| 2. 屋外球技 (野球、ソフトボール、サッカー、テニスなど) |
| 3. 武道 (柔道、剣道、空手、弓道など) |
| 4. 水泳 (水中ウォーキング、水中エアロビクスを含む) |
| 5. 野外活動 (ウォーキング、ジョギング、登山、サイクリング、ゴルフなど) |
| 6. 海洋スポーツ (ヨット、サーフィン、スキューバダイビングなど) |
| 7. ダンス (社交ダンス、フォークダンス、民踊など) |
| 8. 健康体操 (ラジオ体操、音楽体操、エアロビクス、ヨガ、太極拳など) |
| 9. ニュースポーツ (ゲートボール、輪投げ、グラウンドゴルフ、ティーボールなど) |
| 10. 雪と氷のスポーツ (スキー、スノーボード、スケートなど) |
| 11. その他 (具体的に) |

問 21 あなたは、この1年間にスポーツの指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 日常的・定期的に行っている | 2. イベント・大会で不定期に行った |
| 3. 行っていない | 4. わからない |

■ 福祉・子育て

介護を必要とする高齢者等が増加する中、介護と育児が同時に直面する世帯(いわゆる「ダブルケア」)や障害のある子と要介護の親の世帯など、様々な課題を抱え、複合的な支援が必要な方が多くみられ、福祉の各分野を超えた包括的な支援が求められています。

問 22 あなたは、65歳以上の高齢者(障害のある方を含む)の介護をしていますか。

(あてはまるもの1つに○)

※ここでの「介護」は、別居しているご家族の介護を含みます。また、ヘルパー等の仕事での介護は含みません。

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

(問 22 で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問 22-1 あなたから見て、どなたの介護をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 父 | 3. 母 |
| 4. 配偶者の父 | 5. 配偶者の母 | 6. 祖父 |
| 7. 祖母 | 8. 子 | 9. 兄弟・姉妹 |
| 10. その他 (具体的に) | | |

問 23 あなたは、障害のある方(65歳以上の方及び小学生以下のお子さんを除く)の介護をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

※ここでの「介護」は、別居しているご家族の介護を含みます。また、ヘルパー等の仕事での介護は含みません。

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

(問 23 で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問 23-1 あなたから見て、どなたの介護をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 父 | 3. 母 |
| 4. 配偶者の父 | 5. 配偶者の母 | 6. 祖父 |
| 7. 祖母 | 8. 子 | 9. 兄弟・姉妹 |
| 10. その他(具体的に | |) |

問 24 あなたは、小学生以下のお子さんの育児をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

(問 24 で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問 24-1 あなたが育児をしているお子さんは次のいずれにあてはまりますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 就学前の乳幼児 | 2. 小学生 |
| 3. 障害や発達に不安のある就学前の乳幼児 | 4. 障害や発達に不安のある小学生 |

問 25 あなたが、介護や育児をする上で、不安なこと、困っていることは何ですか。または、あなたが今後、介護や育児をすることになった場合、どのようなことが心配ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 介護(または育児)と仕事の両立が難しい |
| 2. 介護と育児(ダブルケア)や複数の方の介護の両立が難しい |
| 3. 精神的に疲れる |
| 4. 身体的に疲れる |
| 5. 経済的にゆとりがない |
| 6. 十分な介護(または育児)ができない |
| 7. 自分の時間が少ない |
| 8. 相談できる相手や窓口がない |
| 9. 介護・障害者支援・育児のサービス内容や利用方法がわからない |
| 10. 家族等の支援が得られない(自分以外に介護等を分担できる家族や親族等がない) |
| 11. 介護等がいつまで続くのかわからない |
| 12. 緊急時の対応が不安 |
| 13. 介護・障害者支援・育児のサービスや施設の利用が難しい |
| 14. 新型コロナの影響で介護・障害者支援・育児のサービスや施設が休業・営業縮小している |
| 15. その他(具体的に |
| 16. わからない |
| 17. 特に不安はない |

問 26 新型コロナ感染拡大の影響を受けて、健康・福祉に関して困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 新型コロナ感染への不安から、病院に行くのにためらってしまう |
| 2. かかりつけ医や地域の病院がひっ迫しており、なかなか受診・入院できない |
| 3. 病院や福祉施設が休業しており、サポートを得られない |
| 4. 在宅医療・介護体制が手薄になっており、十分な支援が得られない |
| 5. 保健所がひっ迫しており、なかなか相談ができない |
| 6. その他(具体的に |
| 7. 特にない |

問 27 あなたは、安心して介護や育児をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. 介護（または育児）と仕事の両立に関する情報提供の充実
2. 介護や育児に関する情報提供の充実
3. 介護や育児に関する総合的な相談支援窓口の充実
4. 相談支援窓口の夜間・休日等開設時間の拡充
5. 介護や育児の費用負担の軽減（経済的支援）
6. 居住する地域の支援（地域による見守りや子育て支援等）
7. 介護者等が休養できるサービスの充実（ショートステイや一時預かりサービスなど）
8. 緊急時に利用できるサービスの充実（緊急ショートステイや一時預かりサービスなど）
9. 家族会や介護者の会など当事者や経験者同士が気軽に相談し合える場の充実
10. 介護・障害者支援・育児のサービスや施設の整備充実
11. その他（具体的に)
12. わからない
13. 特にない

■ 都市計画・街づくり

問 28 区では、今後取り組むべき街づくりの基本的な方向性を示す「目黒区都市計画マスタープラン」の改定を予定しています。そこで、20年後の目黒区の将来の街の姿として、最も望ましいのはどのようなものだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 安全で快適に住み続けられる街（住環境、防災、防犯）
2. すべての人が暮らしやすい街（道路網、歩行空間、バリアフリー）
3. 活力にあふれた個性ある街（産業、地域資源活用、街並み、個性）
4. うるおいのある環境に配慮した街（環境負荷軽減、水とみどりの保全創出）
5. 文化や歴史が感じられる街
6. その他（具体的に)
7. わからない

問 29 区では、「目黒区みどりの基本計画」を策定し、みどりの保全・創出・育成に努めています。そこで、魅力あるみどりのまちづくりのために、あなたが協力できること、やってみたいことは何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 自宅の庭や玄関などで植物を育てる
2. 屋上や壁面を緑化する
3. 庭に樹木を植える
4. 建て替えの際に樹木をできるだけ保全する
5. 公園や緑道などで花壇の世話や清掃などのボランティア活動に参加する
6. サクラ基金への寄付など、サクラの保全事業に参加する
7. みどりの普及啓発活動に参加する
8. 自然と親しむため、身近なみどりやいきものを観察・記録し、みんなと情報共有する
9. その他（具体的に)
10. 特にない

問 30 公園の魅力向上のために、あなたが必要だと思うことは何ですか。

(あてはまるもの1つに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 四季折々の花やみどりが感じられること |
| 2. 障害のある子もない子も誰もが一緒に遊べる環境づくり |
| 3. 健康遊具の設置など公園を利用した健康づくりができること |
| 4. 飲食店等の店舗があったりイベントが開催されたりすること |
| 5. 花壇づくりなど、土に触れることができること |
| 6. 災害時の避難場所としての活用や防災設備の充実 |
| 7. 自然観察や環境学習ができること |
| 8. ゲートボールやボール遊びなど、軽スポーツができる広場整備 |
| 9. その他(具体的に) |

問 31 「目黒のサクラ基金」について知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|------------|------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている | 3. 知らない |
|------------|------------|---------|

問 32 地域での桜の保全活動に参加したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. 参加したい | 2. 参加したくない | 3. どちらでもない |
|----------|------------|------------|

問 33 区では、野鳥をシンボルとした生物多様性豊かなまちづくりの基本計画である「ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画」を策定しています。あなたは「生物多様性」について知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|---------|
| 1. 意味を理解している | 2. 言葉は知っている | 3. 知らない |
|--------------|-------------|---------|

■ 地球温暖化対策

世界では新たな気候変動対策に関する「パリ協定」が発効され、国の「地球温暖化対策計画」において温室効果ガスの削減目標が定められています。

区では、「目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第2次計画)」に基づき地球温暖化対策を推進するとともに、大規模事業所としての「目黒区地球温暖化対策推進第3次実行計画(めぐろエコ・プランⅢ)」により温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

問 34 あなたは、生活の中で地球温暖化の問題を意識していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 大いに意識している | 2. 意識している |
| 3. あまり意識していない | 4. まったく意識していない |
| 5. わからない | |

問 35 あなたは、地球温暖化を防止するために、今後何を優先して行いたいと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. ごみの減量、リサイクル
2. 節電・節水などの省エネルギー行動
3. 環境に配慮した製品(省エネ家電など)の購入
4. 屋上緑化や身近なみどりを増やす
5. 自動車・自動二輪車の使用抑制
6. 太陽光発電システムなどの新エネルギー設備の設置
7. 住宅の省エネルギー性能を向上させるリフォーム・改築等
8. エネルギー使用量の「見える化」等によるエネルギー管理
9. 再生可能エネルギー由来の電力の購入
10. 環境学習講座や環境イベントへの参加
11. その他(具体的に)
12. 特にない

問 36 地球温暖化を防止するために、区に特に力を入れて取り組んでほしいと思うことは何ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. 日常生活や事業活動における省エネルギーに関する情報提供
2. 地球温暖化やその対策にかかる講演会の開催
3. 屋上緑化や壁面緑化等の導入にかかる助成
4. 新エネルギー・省エネルギー設備の導入にかかる助成
5. 学校での環境教育・学習の推進
6. 学校等の区有施設を環境配慮型施設に改築
7. 公共交通機関利用やエコドライブの普及、啓発
8. 環境にやさしい自動車の率先導入、普及、啓発
9. みどりの保全・創出への取組
10. 環境省が提唱する賢い選択を促す国民運動「クールチョイス」の普及、啓発
11. その他(具体的に)
12. 特にない
13. わからない

■ 生涯学習

区では、「目黒区生涯学習実施推進計画」を策定し、区民一人ひとりが生涯を通じて、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択し、生き生きと学び、学び合うことができる学習社会の実現に向け、生涯学習の基盤整備を進めています。

問 37 あなたは、新型コロナウイルス感染拡大前の1年間に、生涯学習活動を行いましたか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 生涯学習活動を行った
2. 活動したいと思ったができなかった、または活動したいと思わなかった

(問 37 で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問 37-1 どのような生涯学習活動を行いましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康・スポーツ (水泳、ヨガ、体操、ダンス、健康法など)
2. 趣味的なもの (楽器演奏、生け花、書道、絵画、陶芸、俳句、囲碁、将棋など)
3. 教養的なもの (文学、歴史、科学、語学、講演会など)
4. パソコン、インターネットなどIT に関係すること
5. 生活に役立つ技能に関すること (料理、編み物、和裁、洋裁など)
6. 暮らしに役立つ活動に関すること (消費生活、リサイクルなど)
7. 育児・教育に関すること
8. 自然体験など体験活動に関すること
9. 図書館の資料を利用して知識を得ること
10. その他 (具体的に)

(問 37 で「2」と回答した方にお尋ねします。)

問 37-2 あなたが生涯学習活動をできなかった、またはしなかった理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や家事、育児、介護などで忙しくて時間がない
2. 生涯学習活動をサポートする仕組みが整っていない
3. (講座などで) 自分が希望する内容・時期・時間帯がない
4. 生涯学習に関する情報が少ない
5. 一緒に活動したり学んだりする仲間がいない
6. 健康上の理由で活動が困難
7. 生涯学習に関心がない
8. その他 (具体的に)

問 38 あなたは、生涯学習の推進のために、どんなことが必要だと思いますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

1. 気軽に参加できる講座や関心のある講座がある
2. 講座やサークル活動内容などの情報が得やすい
3. 生涯学習活動に関心を持つ人が利用しやすい施設がある
4. 生涯学習活動をサポートする仕組みがある
5. 活動している人同士が交流できる機会がある
6. インターネットなどを使って、家庭でも生涯学習活動ができる環境が整っている
7. その他 (具体的に)

問 39 あなたは、新型コロナ感染拡大前の1年間に、「これまで学校や社会で得た知識や経験」を生かした地域の活動等 (例: 福祉施設でギターのコルソートをを行う、児童館でベーゴマや編み物を教える等) を行っていましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. 既に地域の活動等を行っている
2. 地域の活動等を行いたいと思っているが、方法がわからない
3. 地域の活動等を行いたいとは思わない
4. その他 (具体的に)

問 40 あなたは、この1年間に、目黒区立の図書館を利用しましたか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 利用した | 2. 利用していない |
|---------|------------|

問 41 今後の区立図書館に期待するサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 図書資料の充実
2. 電子書籍の導入
3. レファレンス（資料相談等）のメール及び図書館ホームページによる受付
4. 乳幼児向け読み聞かせサービス
5. 児童・青少年向け読書活動支援サービス
6. 閲覧席利用の予約サービス
7. インターネット、データベース提供サービスの充実
8. 月曜日（休館日）の開館
9. 開館時間の工夫
10. その他（具体的に
11. 特になし

■ 広報・ホームページ

問 42 あなたは、日ごろ必要としている区の情報やお知らせを、どのように入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. めぐる区報
2. 暮らしのガイド
3. リビングガイド
4. 施設窓口でのチラシやポスター
5. 回覧板・掲示板
6. ホームページ（パソコン）
7. ホームページ（スマートフォン）
8. メールマガジン
9. Twitter
10. 新聞・テレビ・ラジオ
11. 必要としていない

問 43 区では、広報紙「めぐる区報」を毎月3回（5日、15日、25日）発行しています。
あなたは、主にどこで広報紙を手に入れていますか。(あてはまるもの2つまでに○)

1. 新聞の折り込み
2. 駅の広報スタンド
3. 図書館、住区センターなどの区の施設
4. 郵便局、金融機関
5. スーパーマーケット、コンビニエンスストア
6. 新聞未購読世帯への区の配送サービス
7. 目黒区公式ホームページ
8. 手にしていない

(問43で「8」と回答した方にお尋ねします。)

問 43-1 あなたが、「めぐる区報」を手にしていない理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 入手場所へ行く機会がない
2. どこで手に入れられるのかわからない
3. ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない
4. 区の行政情報は必要がない
5. めぐる区報の存在を知らなかった
6. その他（具体的に

問 44 あなたは、目黒区公式ホームページに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満 |
| 5. 不満 | 6. 見たことがない |

(問44で「3」「4」「5」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問44-1 目黒区公式ホームページに満足できないのはどのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 情報が探しにくい | 2. 知りたい情報の説明が不十分である |
| 3. 知りたい情報が載っていない | 4. 情報の内容や表現が理解しにくい |
| 5. 最新の情報が載っていない | |
| 6. その他(具体的に |) |

問44-2 目黒区公式ホームページの使い勝手をよくするために必要だと思ふことがありましたらご記入ください。

--

■ 自転車の安全利用について

問 45 あなたは自転車を安全に利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 自転車を利用しており、自転車は道路交通法で軽車両であることを知っている |
| 2. 自転車を利用しており、交通ルール、マナーを理解し守っている |
| 3. 自転車を利用しており、事故を起こした際の高額な損害賠償の事例を知っている |
| 4. 自転車を利用しており、対人・対物に対する自転車保険に加入すべきであると考えている |
| 5. 自転車を利用しており、利用する際はヘルメットを着用すべきであると考えている |
| 6. 自転車を利用していない |

(問 45で「1」～「5」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問 45-1 あなたは自転車保険に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|---|
| 1. 自転車利用者が対象となる保険に加入している |
| 2. 自動車や火災保険の特約により自転車利用者が対象となる保険に加入している |
| 3. 職場などの団体保険により自転車利用者が対象となる保険に加入している |
| 4. 自転車店(自転車整備士)で点検を受けたときに自転車が対象となる保険に加入している |
| 5. 自転車利用者又は自転車が対象となる保険に加入しているかどうかわからない |
| 6. 加入していない |

(問45で「1」～「5」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問45-2 あなたは自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 自転車ヘルメットを着用している
2. 自転車ヘルメットを着用する時としない時がある
3. 自転車ヘルメットを着用していない(ヘルメットの購入予定あり)
4. 自転車ヘルメットを着用していない(ヘルメットの購入予定なし)

■ プラスチック資源の分別

問46 あなたは、ごみを出すとき、プラスチック製の「容器」や「包装」(プラマークのあるもの。以下「プラ容器等」という)をどのように処分していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 「資源」として分別して出している
2. 「燃やすごみ」として出している
3. 「燃やさないごみ」として出している

問47 あなたは、プラ容器等について、どのようにしたら資源として分別しやすくなると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. プラ容器等を分別するときの方法をより分かりやすく周知する
2. なぜ分別することが必要なのか、その理由を分かりやすく説明・周知する
3. 専用の入れ物を用意するなどプラ容器等の出し方を変える
4. その他(具体的に)

問48 区では、プラ容器等以外のプラスチック製品(文房具、日用品、おもちゃなど。以下「容器以外のプラ製品」という)を「燃やすごみ」として回収していますが、あなたはどのような回収方法が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. リサイクルしやすいように分別した上で、新たな「資源」として回収する
2. プラ容器等と容器以外のプラ製品をまとめて「資源」として回収し、区が分別する
3. これまでどおり「燃やすごみ」として回収する
4. その他(具体的に)

問48-1 問48の回答について、そのようにお考えの理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. プラスチック全体のリサイクルが進むから
2. プラ容器等のみを「資源」として分別するのは分かりにくいから
3. 焼却による二酸化炭素の排出が抑制されるなど地球温暖化対策に貢献できるから
4. 分別などによる区民の負担は増えない方がよいから
5. さらに細かな品目でリサイクルを行うと、費用がかかってしまうから
6. まとめて焼却できる機能があるのだから、それを活用したほうが効率的であるから
7. その他(具体的に)

■ 区の施策について

問49 今後10年の間に、目黒区の施策としてどのような取組を重視していくべきだと思いますか。（施策の区分ごとに、あてはまるもの1つに○）

施 策		重要である	まあ重要である	あまり重要でない	重要でない	・わ そ の 他 な い
(回答例)		①	2	3	4	5
区分	主な施策	重要度				
安全・安心	1. 災害に強い街づくり 道路・橋りょう等の都市基盤の整備、建築物の不燃化・耐震化の促進など	1	2	3	4	5
	2. 震災、風水害などへの備え 避難所整備、防災訓練の充実、意識啓発など	1	2	3	4	5
	3. 日常生活の安全・安心 特殊詐欺被害の防止、生活安全パトロールの推進、消費者被害の防止など	1	2	3	4	5
子ども・教育	4. 子育て支援の充実 保育サービスの充実、放課後の居場所づくり、育児相談、児童虐待防止など	1	2	3	4	5
	5. 学校教育の充実 学校施設の整備・更新、学力の向上、豊かな心の育成など	1	2	3	4	5
	6. 生涯学習の充実 生涯学習講座の実施、社会教育活動の支援、図書館の充実など	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	7. 健康寿命の延伸 健康づくりの推進、健診・保健指導の実施など	1	2	3	4	5
	8. 保健・医療体制の充実 感染症対策、在宅療養の支援、食品衛生・環境衛生の推進など	1	2	3	4	5
	9. 地域で支え合う福祉活動 地域における支え合いの仕組みづくり、見守り活動の推進など	1	2	3	4	5
	10. 高齢者福祉の推進 高齢者福祉施設の整備、在宅サービスの充実、社会参加の場づくりなど	1	2	3	4	5
	11. 障害者福祉の推進 障害者福祉施設の整備、自立・社会参加の支援など	1	2	3	4	5
	12. 生活の安定と自立支援 生活援助、就労相談の実施など	1	2	3	4	5
都市環境	13. 環境にやさしい街づくり 地球温暖化対策、大気・水質の汚染対策など	1	2	3	4	5
	14. 循環型社会の構築 ごみの減量化、省資源・リサイクルの推進など	1	2	3	4	5
	15. 魅力ある街並みの整備 都市景観の整備、都市計画、地区計画など	1	2	3	4	5

施 策		重要である	まあ重要である	重要でない	あまり重要でない	重要でない	・わ そ の 他 の 施 策 に 対 し て
区分	主な施策	重要度					
都市環境	16. 暮らしやすい街づくり	1	2	3	4	5	
	17. みどり豊かな街づくり	1	2	3	4	5	
	18. 親しみのある水辺の整備	1	2	3	4	5	
	19. 交通の安全性・利便性の向上	1	2	3	4	5	
地域活性化	20. 地域の商・工業の振興	1	2	3	4	5	
	21. 観光まちづくりの推進	1	2	3	4	5	
	22. 芸術文化の振興	1	2	3	4	5	
	23. スポーツを楽しむ環境の充実	1	2	3	4	5	
	24. コミュニティ活動の促進	1	2	3	4	5	
	25. 自治体、大学、企業等との交流の促進	1	2	3	4	5	
行政運営	26. 多様性を認め合う地域社会の実現	1	2	3	4	5	
	27. デジタルガバメントの推進	1	2	3	4	5	
	28. 効率的な行政運営	1	2	3	4	5	
	29. 適切な公共施設サービスの提供	1	2	3	4	5	
	30. 区民との情報共有の推進	1	2	3	4	5	
	31. 区政への区民参画の推進	1	2	3	4	5	

問 50 問 49 の施策（1～31）のうち、どの施策を特に優先すべきだと思いますか。
（あてはまる施策の番号を 5 つまで記入）

回答欄				

問51 行政手続のオンライン化について、各種行政手続や相談などで、オンライン化した方がよいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票や証明書、納課税証明書の交付等申請
2. 住民登録関係(転入届・転出届・転居届等)・戸籍関係(出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等)等の届出
3. 住民票等交付手数料・住民税(特別区民税・都民税)等の納付
4. 手続にかかる相談(福祉・高齢者・障害者・区税、国民年金等)
5. 生活にかかる相談(法律・子育て・教育等)
6. その他(具体的に)
7. 各種手続のオンライン化は必要ない

問52 今後すべての区有施設を現状のまま維持・管理・運営することができず、施設にかかる経費を抑制する必要がある見込まれます。あなたは、区有施設に関し区が今後取り組むべき方策として、何を重視すべきだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 施設の統廃合を行うことで、施設数を減らしていくべきである
2. 施設の複合化・集約化により類似する機能をまとめ、施設数を減らしていく方がよい
3. 施設を補強する経費をかけて、長持ちさせる方がよい
4. 民間の施設(例えば会議室やホールなど)を代わりに使用していく方がよい
5. 区民の利用者負担(施設使用料)を増やしても、すべての施設を定期的に建て替えていく方がよい
6. その他(具体的に)
7. わからない

問53 区では、現在、区有施設への委託や指定管理制度の導入などにより民間活力を活用して、区有施設の管理・運営を行っています。あなたは、こうした民間活力の活用についてどのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 区が直接管理・運営せず、原則として民間活力を有効活用すべきである
2. 施設の性質に応じて区の直接管理・運営と民間活力の有効活用を使い分けるべきである
3. 原則として区が直接管理・運営すべきである
4. その他(具体的に)
5. わからない

※指定管理者制度とは、従来、自治体や外郭団体に制限されていた一部の公共施設の管理運営に、社会福祉法人やNPO法人、株式会社などの民間事業者も参入できる制度。区では区民施設やスポーツ施設、福祉施設等の運営に導入しています。

問54 今後、老朽化した区有施設の更新(建て替えや大規模改修)や新しい施設整備において、民間が施設を整備・保有し、区からの委託などにより民間が施設を管理・運営することも想定されます。あなたは、こうした整備・運営手法についてどのように考えますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 民間で提供可能なものは原則として民間に任せるべきである
2. 民間による整備・保有、管理・運営を行うのは、それにより特に高い効果が期待できる施設に限定すべきである
3. これからも区が整備・保有、管理・運営すべきである
4. その他(具体的に)
5. わからない

■ あなた自身のことについて

問 55 あなたご自身についてお答えください。

(1) 性別 (あてはまるもの1つに○)

※この調査では、回答結果を統計的に処理するために性別の選択肢を「男性・女性」の二択としています。回答に当たっては、自分の自認する性別を選んでください。自認する性別がどちらでもない方は、住民登録上の性別をお答えください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) 年齢 (満年齢) (あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代 | 8. 80代以上 |

(3) お住まいの地区 (あてはまるもの1つに○)

地区名	該当する町丁名
1. 北部地区	駒場1~4丁目、青葉台1~4丁目、東山1~3丁目、大橋1~2丁目、上目黒1丁目1番・6~22番、2丁目46~49番、3丁目1~3番・6~44番、5丁目
2. 東部地区	上目黒1丁目2~5番・23~26番、2丁目1~45番、3丁目4~5番、中目黒1~4丁目、5丁目1~7番・22~23番、三田1~2丁目、目黒1~3丁目、下目黒1~6丁目、目黒本町1丁目
3. 中央地区	上目黒4丁目、中目黒5丁目8~21番・24~28番、目黒4丁目、中町1~2丁目、五本木1~3丁目、祐天寺1~2丁目、中央町1~2丁目、碑文谷5~6丁目、鷹番1~3丁目
4. 南部地区	目黒本町2~6丁目、原町1~2丁目、洗足1~2丁目、南1~2丁目、碑文谷1~4丁目
5. 西部地区	南3丁目、平町1~2丁目、大岡山1~2丁目、緑が丘1~3丁目、自由が丘1~3丁目、中根1~2丁目、柿の木坂1~3丁目、八雲1~5丁目、東が丘1~2丁目

(4) ご職業 (主なもの1つに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 自営業・事業主 | 2. 常勤の勤め人 |
| 3. パート・アルバイト | 4. 自由業 |
| 5. 学生 | 6. 主に家事に従事 |
| 7. 無職 | 8. その他 (具体的に) |

(5) 世帯の構成 (あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 二世帯家族 (親と子ども) | 4. 三世帯家族 (親と子どもと孫) |
| 5. その他 (具体的に) | |

(6) 配偶者（事実婚のパートナーを含む）（あてはまるもの1つに○）

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

（「1」と回答した場合にお答えください。）

1. 共働き（内職・パートを含む）をしている	2. 共働きではない
------------------------	------------

(7) ご家族には次に該当する方がいらっしゃいますか。（それぞれ1か2のどちらかに○）

	いる	いない
就学前の乳幼児	1	2
小・中学生	1	2
65歳以上の方（ご本人を含みます）	1	2

(8) お住まいの住宅の種類（あてはまるもの1つに○）

1. 一戸建持家	2. 分譲マンション
3. 一戸建借家	4. 賃貸の鉄筋アパート・マンション
5. 賃貸の木造アパート	6. 都営・区営住宅などの公営住宅
7. 社宅・公務員宿舎など	8. 同居・間借り・住み込みなど
9. その他（具体的に)

— 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。—

※ 返信用封筒に入れて、10月30日（金）までにご投函をお願いいたします。

第46回 目黒区世論調査

主要印刷物番号
2-45号

令和3年3月発行

発行 目黒区

編集 目黒区企画経営部 区民の声課

東京都目黒区上目黒二丁目19番15号

電話 03(5722)9416

調査委託先 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社